SONY

3-234-030-**03**(1)

ポータブルミニディスクレコーダー

取扱説明書/Operating Instructions

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

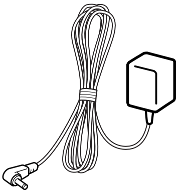
WALKMANは、ソニー株式会社の登録商標です。

MZ-R909

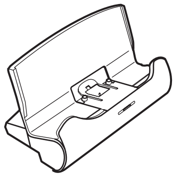
目次

付属品を確かめる

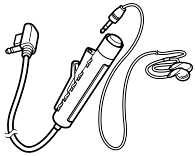
●ACパワーアダプター



●充電スタンド（組み立て後）



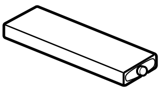
●リモコン付きヘッドホン



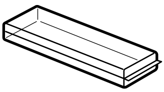
●キャリングポーチ



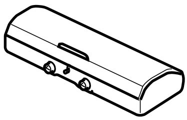
●充電式ニッケル水素電池 NH-14WM(A)



●充電池ケース（Battery carrying case）



●乾電池ケース（DC INジャックなし）



●取扱説明書
●保証書
●ソニーご相談窓口のご案内
●ACプラグアダプター (1)*
●光デジタルケーブル (1)*
＊ ワールドモデルのみ付属

安全のために

⚠危険

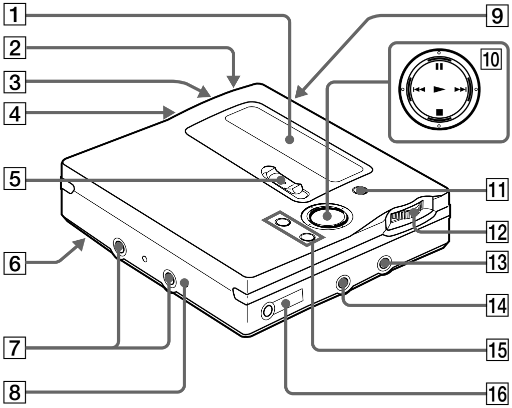
- 充電スタンドにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を置かないでください。充電スタンドの端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。
- 付属の充電式電池を持ち運ぶときは、必ず付属の充電池ケースに入れてください。ケースに入れずにコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、電池の＋と－がショートし、発熱することがあります。
- 乾電池や乾電池ケース、または本体の乾電池ケース用端子はコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しないでください。乾電池の＋と－、または乾電池ケースの端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- ポータブルミニディスクレコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償についてはご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
（お問い合わせ先　（社）私的録音補償金管理協会　Tel.03-5353-0336）

各部のなまえ

（　）内のページに詳しい説明があります。

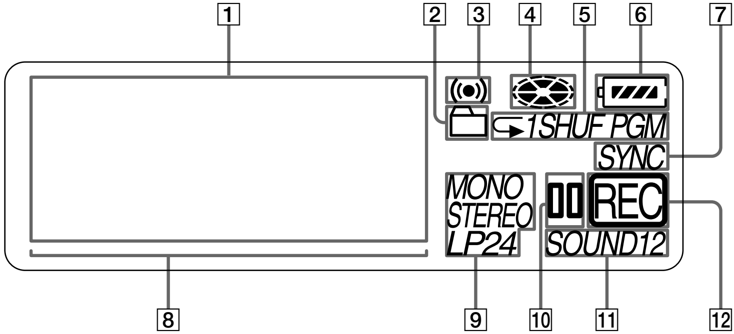
本体



1 表示窓（8、30、43、53、68）
2 T MARKボタン（36、53、65）
3 END SEARCHボタン（20、28、57）
4 電池入れ（16）
5 RECつまみ（20、25）
6 HOLDスイッチ（裏面）（17、71）
7 乾電池ケース取り付け端子（17）
8 DC IN 3Vジャック（16、19）
9 OPENボタン（17）
10 ►（再生／決定）ボタン（20、22、53）
▮▮（一時停止）ボタン（20、22、39、53、65）
⏮（早戻し）/⏭（早送り）ボタン（20、22、28、39、53、68）
■（停止）/CHGボタン（20、22、37、45、53）
11 GROUP/CANCELボタン（28、40、53、54）
12 ジョグダイヤル(MENU（メニュー）/ENTER（決定））（8、19、26、33、39、53、68）
13 LINE IN (OPT)ジャック（19、25）
14 MIC (PLUG IN POWER)ジャック*（31）
15 VOL＋*/－ボタン（22、53）
16 ☊/LINE OUTジャック（17、37、51）

* 凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

表示窓（本体）



1 文字情報表示部（8、34、43、50、68）
ディスク名や曲名、日付、エラー表示、曲番などが文字で表示されます。

2 グループ表示（28、40、54）

3 タイマー表示（68）

4 ディスク表示（30、43、50、68）
録音、再生、編集のとき、ディスクが回転していることを示します。

5 再生モード表示（43）
シャッフル再生、プログラム再生、リピート再生などの再生状態を表示します。

6 電池残量表示（72）
充電池や乾電池の残量の目安を表示します。

7 シンクロ録音表示（30）

8 レベル表示（43）

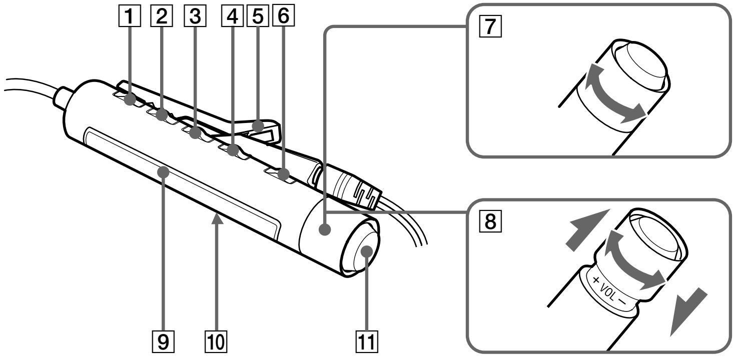
9 SPステレオ、LP2ステレオ/LP4ステレオ、モノラル表示（26）

10 一時停止表示

11 サウンド表示（45）
デジタルサウンドプリセットが選ばれていることを示します。

12 録音表示（20、33）
録音時に表示されます。録音一時停止のときは点滅します。

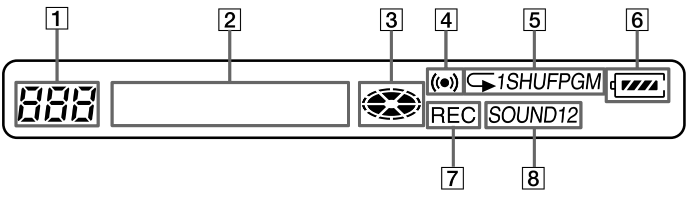
リモコン



1 DISPLAYボタン（28、35、39、50、55、69）
2 PLAYMODEボタン（42、44、55）
3 RPT/ENT（repeat（リピート）/enter（決定））ボタン（44）
4 SOUNDボタン（45）
5 クリップ
6 ❚❚（一時停止）ボタン（22、39、55、59）
7 回転つまみ（⏮/▶⏭）（22、28、39、46、55、69）
▶⏭：再生、早送り、頭出し
⏮：早戻し、頭出し
回す／回してそのままにして、再生、頭出し、早送り、早戻しをします。
再生音を聞かずに高速で早送りや早戻しもできます。
8 回転つまみ（VOL（音量）+/－）（22、55）
引いて回すと音量を調節できます。
9 表示窓（35、44、69）
10 HOLDスイッチ（17、71）
11 ■（停止）*ボタン（22、28、39、55、69）

* 機能によっては決定ボタンとしても働きます。

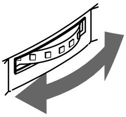
表示窓（リモコン）



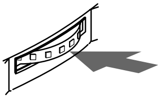
1 曲番表示部（35、44、69）
2 文字情報表示部（35、44、50、69）
3 ディスク表示（35、44、69）
4 タイマー表示（69）
5 再生状態表示（44）
6 電池残量表示（35、50、69）
7 録音表示（35）
8 サウンド表示（46）

ジョグダイヤルの使いかた

本機では、ジョグダイヤルを使って、停止時、録音時、再生時、編集時に様々な操作をすることができます。

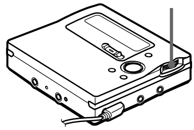


回して選択



押して確定

ジョグダイヤル



メニュー操作時の表示窓の見かた

ジョグダイヤルを押すと表示窓にメニューが表示されます。ジョグダイヤルを下方向に回すと表示は上方向に、上方向に回すと表示は下方向に１つずつずれます。メニューを選択するには、選びたいメニューが表示窓のまん中で点滅しているときにジョグダイヤルを押します。



ジョグダイヤルを上に回す　　ジョグダイヤルを下に回す

メニュー一覧（本体／リモコン）

メニューの機能

本体ではジョグダイヤルを押して、リモコンではDISPLAYボタンを2秒以上押してメニューに入ります。

本体メニュー*	リモコンメニュー*	機能
EDIT	EDIT	曲名やディスク名、グループ名をつけたり、曲を消したり、グループ編集したりできます（53〜64、66、67ページ）。
DISPLAY	—	曲の経過時間や残り時間などの表示を選べます（34、49ページ）。
PLAY MODE	—	シャッフル再生、リピート再生など、再生状態を選べます（42ページ）。
RecVolume	—	録音レベルの自動調節／手動調節を選べます（33ページ）。
REC MODE	—	録音モード（SPステレオ／LP2ステレオ／LP4ステレオ／モノラル）を選べます（26ページ）。

M-TIMER	M-TIMER	メロディタイマーの設定ができます（68、69ページ）。
AUDIO OUT	—	🎧/LINE OUT出力の設定を選べます（23、51ページ）。
SOUND	—	デジタルサウンドプリセットの設定を選べます（45ページ）。
—	SPEED	再生中に再生速度を変えることができます（47ページ）。
—	GROUP	グループモードのON/OFFを選べます（28、41ページ）。
PERSONAL	PERSONAL	パーソナルディスクメモリーへの登録／削除ができます（48、49ページ）。
SYNC REC	—	シンクロ録音のON/OFFを選べます（29ページ）。
TIME MARK	—	オートタイムトラックマークの設定を選べます（32ページ）。
MIC SENS	—	マイク感度を選べます（31ページ）。
—	SEARCH	インデックスサーチ（曲番や曲名を見ながら聞きたい曲を探す）またはタイムサーチ（経過時間を見ながら聞きたい場所を探す）を選べます（39ページ）。
OPTION	OPTION	• AVLS — AVLSのON/OFFを選べます（68、69ページ）。 • BEEP — リモコンの確認音を鳴らす／鳴らさないを選べます（70ページ）。
	—	• REC-Posi — 録音開始位置の設定を選べます（30ページ）。 • LP Stamp — MDLP録音時に曲名の先頭に「LP:」をつける／つけないを選べます（26ページ）。 • CONTRAST — 本体の画面の濃さを調節できます（71ページ）。 • CLOCK SET — 日付けと時刻を設定できます（36ページ）。

＊ グループモードのON/OFFや動作状況により、選べるメニューは異なります。詳しくは参照ページをご覧ください。

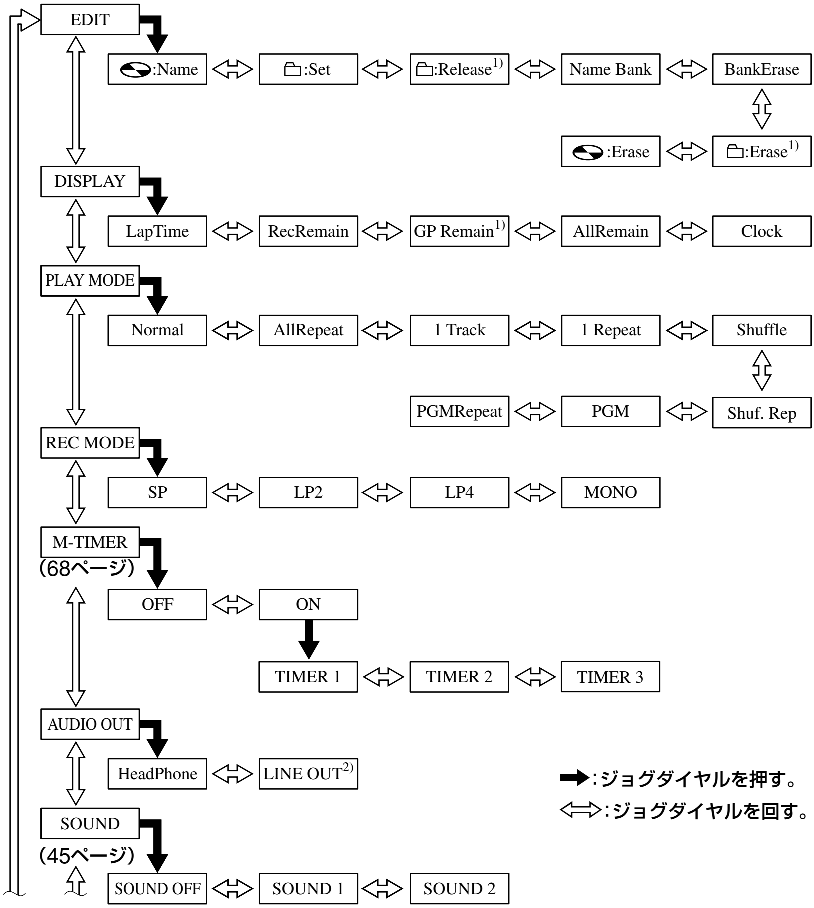
💡

リモコンのDISPLAY（35、50ページ）、PLAYMODE（44ページ）、RPT（リピート）（44ページ）、SOUND（46ページ）機能は各ボタンを操作してください。

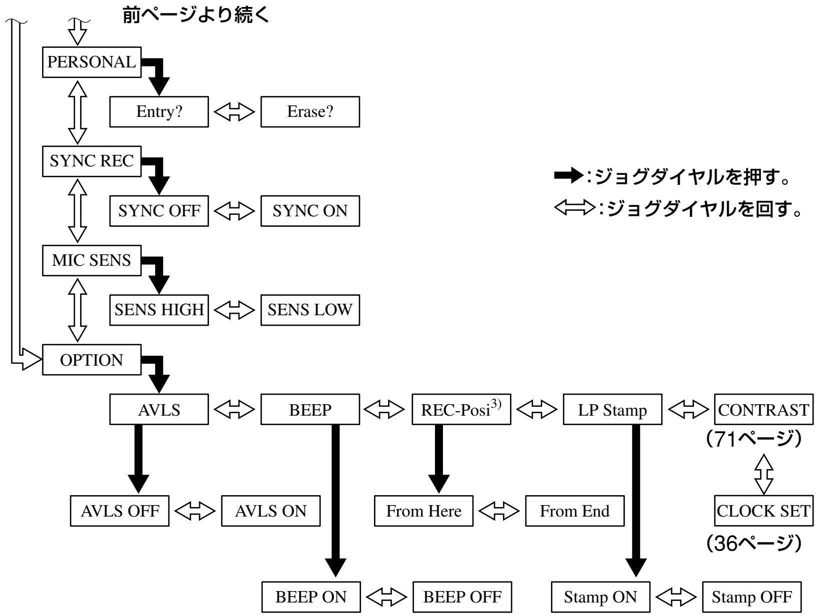
本体（ジョグダイヤル）の動作条件別メニュー一覧

本体のジョグダイヤルで選べるメニューの一覧です。操作について詳しくは14ページの表中の参照ページをご覧ください。ジョグダイヤルをくり返し回すとメニューの項目はくり返し表示されます。

停止中のメニュー



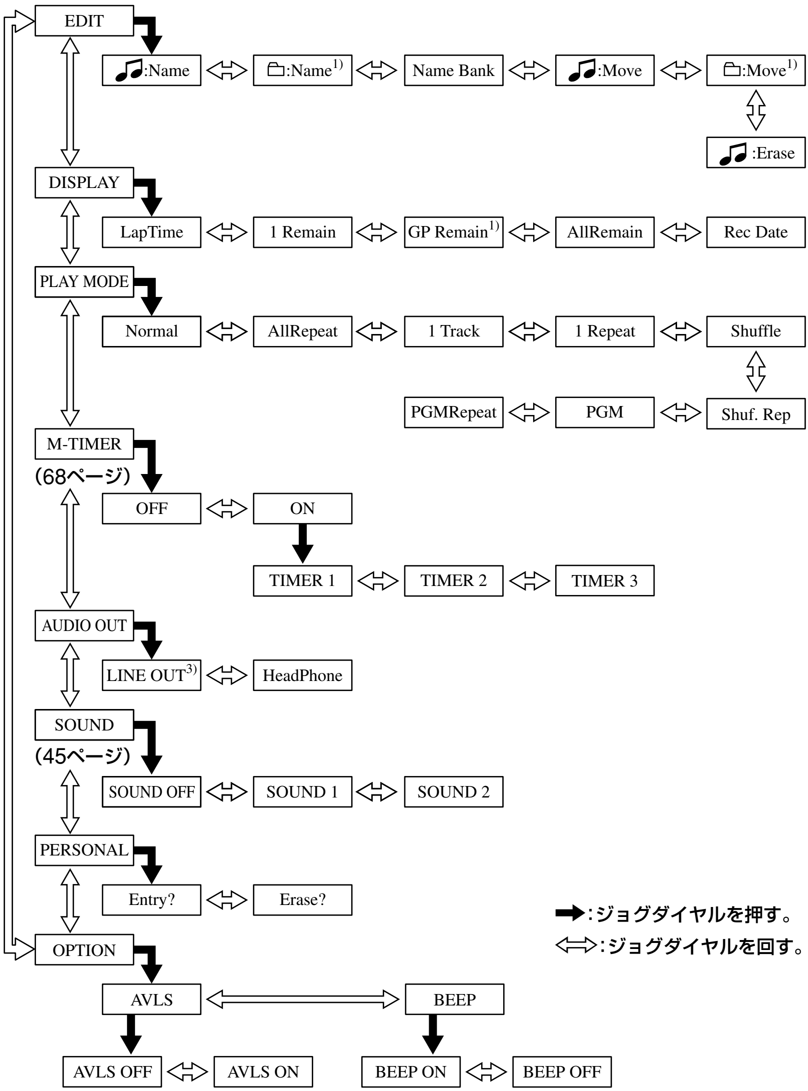
次ページへ続く



1) グループモードON時に再生して停止したときのみ表示されます。
2) ◯/LINE OUTジャックにリモコンプラグをつないでいるときは表示されません。
3) グループモードがOFFになっているときのみ選択できます。

操作の途中でやめたいときは、CANCELボタンを押してください。

再生中のメニュー

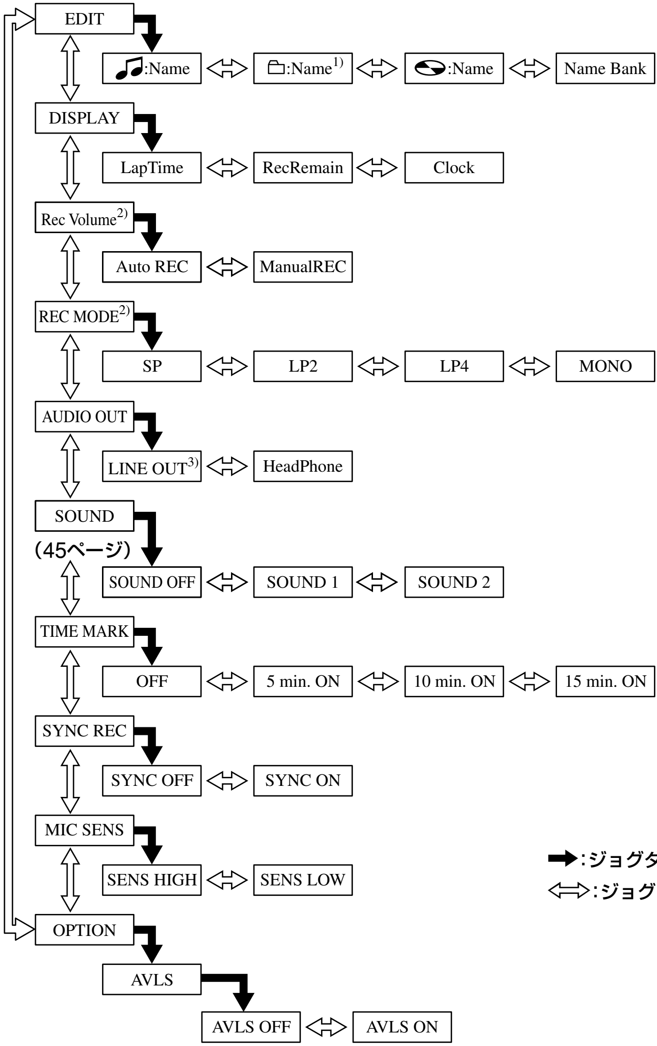


1) グループモードがONになっているときのみ表示されます。

2) ∩/LINE OUTジャックにリモコンをつないでいるときは表示されません。

操作の途中でやめたいときは、CANCELボタンを押してください。

録音中のメニュー



➡：ジョグダイヤルを押す。

⇔：ジョグダイヤルを回す。

1) グループモードがONになっているときのみ表示されます。

2) 録音一時停止中のみ表示されます。

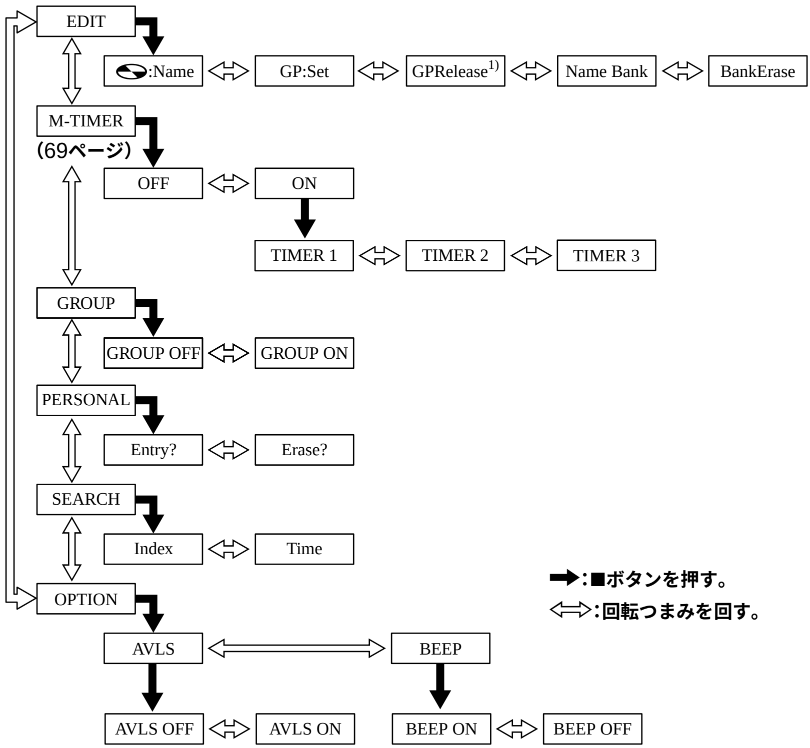
3) ∩/LINE OUTジャックにリモコンをつないでいるときは表示されません。

操作の途中でやめたいときは、CANCELボタンを押してください。

リモコンの動作条件別メニュー一覧

リモコンで選べるメニューの一覧です。メニューが表示されるまでDISPLAYボタンを押したままにします。回転つまみをくり返し回すとメニューの項目がくり返し表示されます。

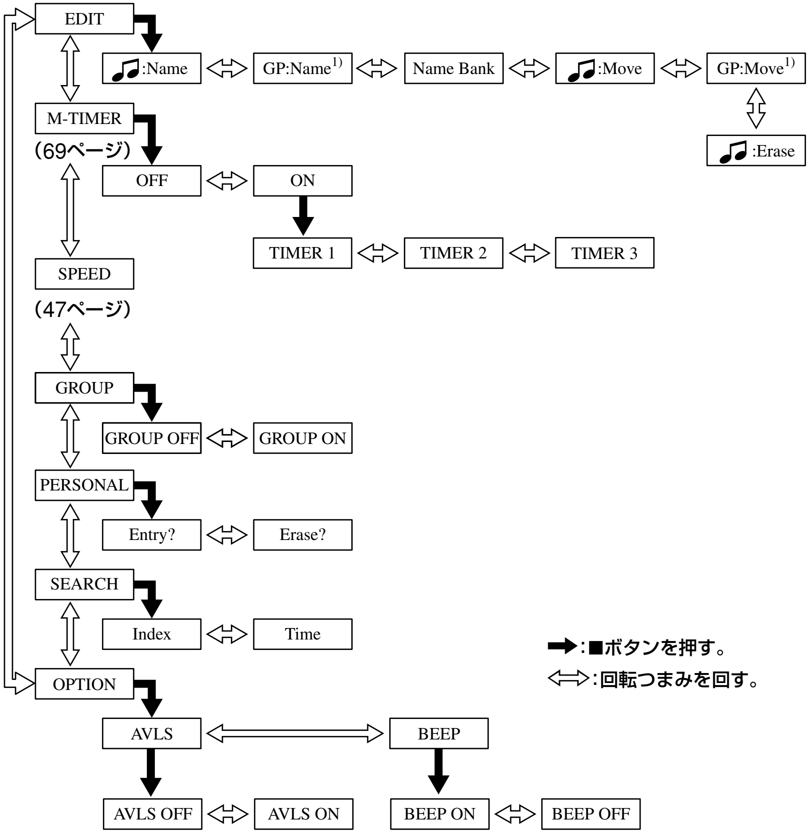
停止中のメニュー



1) **グループモードがONになっているときのみ表示されます。**

操作の途中でやめたいときは、DISPLAYボタンを2秒以上押してください。

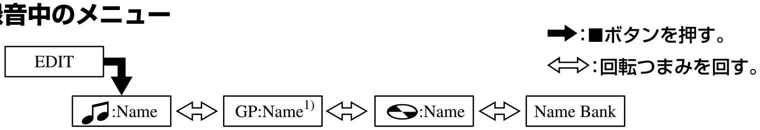
再生中のメニュー



1) グループモードがONになっているときのみ表示されます。

操作の途中でやめたいときは、DISPLAYボタンを2秒以上押してください。

録音中のメニュー



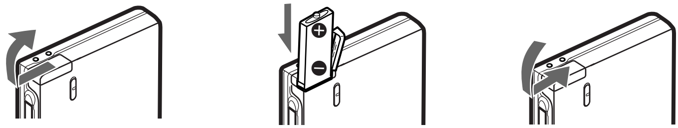
1) グループモードがONになっているときのみ表示されます。

操作の途中でやめたいときは、DISPLAYボタンを2秒以上押してください。

ここだけ読んでも使えます　電源を準備する

お買い上げ時には、まず充電式電池を充電してください。ただし、ACパワーアダプターをつなげば、充電しなくても使用できます。

1 充電式電池を入れる

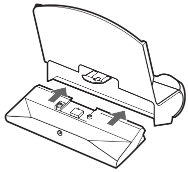


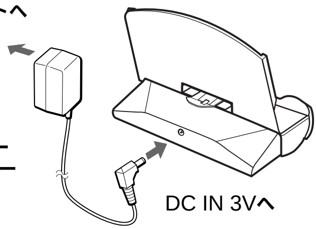
⊖側を奥にして入れてください。

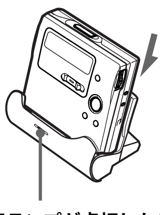
2 充電式電池を充電する

充電スタンドの組み立てかた

奥までしっかり差し込んでください。







本機に付属の充電式電池NH-14WM(A)を入れた後、付属の充電スタンドに置くだけで簡単に充電をすることができます。約6時間で充電が完了し、CHARGE（充電）ランプが消えます。

[!]

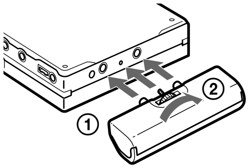
充電スタンドにのせるとき、または充電中は操作しないでください。誤動作や充電されない原因になります。

ワールドモデルをお買い上げのお客さまへ

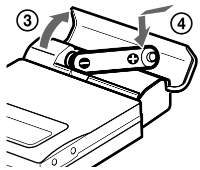
ACパワーアダプターがコンセントの形状と合わない場合は、ACプラグアダプターをお使いください。

アルカリ乾電池で使うときは

乾電池ケースを本体に取り付ける

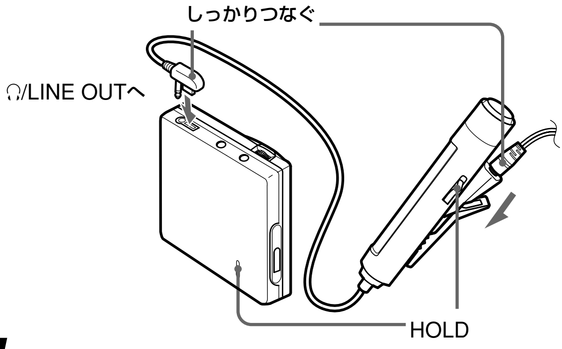


図のように必ず⊖側から入れる



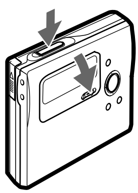
別売りのソニーアルカリ乾電池(単3形)を1本入れます。
充電式電池と一緒に使うと長時間使用できます。

3 リモコンをつなぎ、ホールドを解除する

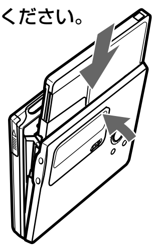


4 ミニディスクを入れる

録音するときは録音用のディスクを入れてください。



① **OPENボタンを押す。**
ふたが開きます。



② **図のようにディスクのラベル面をふた側にして矢印の向きに奥まで押し入れ、ふたを閉める。**

本体に付属のACパワーアダプターを直接つないで充電することもできます。
本体のDC IN 3Vジャックにスパワーアダプターをつなぎ、停止中に■/CHGボタンを押す。
「Charging」と▭表示が出て充電が始まります。放電しきった状態から充電が完了するまで約3時間30分かかります。▭表示が消えたら充電完了です。充電時間は充電式電池の使用状態により異なります。

ご注意

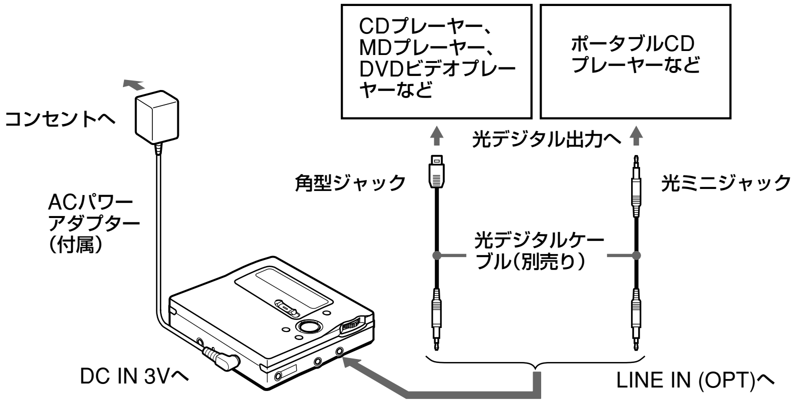
- 付属の充電スタンドは本機専用です。他機の充電はできません。
- 付属の充電スタンドでは、付属または指定の電池（NH-14WM(A)）以外は充電しないでください。
- 充電中は充電スタンドや充電式電池が熱くなりますが、危険はありません。
- 充電には必ず付属のACパワーアダプターをお使いください。
- お買い上げ時や長い間使わなかった充電式電池では、持続時間が短いことがあります。これは電池の特性によるもので、何回か充放電をくり返すと充分充電されるようになります。充電式電池は約300回充電できます。
- 充電式電池を充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、新しい充電式電池と取り換えてください。
- 長い間お使いにならないときは、ACパワーアダプターをコンセントから抜き、本体を充電スタンドからはずしてください。
- 本体に付属のACパワーアダプターを直接つないで充電する場合は、次の点に注意してください。
  — 充電が終了し、液晶表示が消えた後すぐに■/CHGボタンを押すと、再び充電が始まりますが、充電は完了していますので■/CHGボタンを押して停止させてください。
  — 充電中に他の操作を行うと、充電は解除されます。
- 充電スタンドのCHARGE（充電）ランプは、本体を充電スタンドに置いた時点から6時間後に消えます。途中で3秒以上はずした場合には、置き直した時点から6時間後に消えます。

ここだけ読んでも使えます

録音する

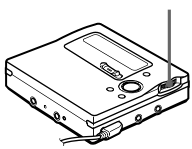
光デジタルケーブルを使って、光デジタル出力のあるDATデッキやBSチューナーなどとつないでデジタル録音ができます（「デジタル録音の制限について」（84ページ）もあわせてご覧ください）。録音はステレオになります。
アナログ録音をするときは「アナログ入力で録音する」（25ページ）をご覧ください。
曲をグループ内に録音するときは「「グループ機能」を使って録音する」（27ページ）をご覧ください。ここではグループ機能を使わない録音方法を説明します。
録音の際は、家庭用電源（コンセント）につなぐことをおすすめします。

1 つなぐ（奥までしっかりと差し込んでください。）



① 別売りの光デジタルケーブルPOC-15Bなどを使ってつなぐ。

2 録音開始位置を設定する

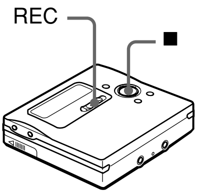


① 停止中にジョグダイヤルを押し、回して「OPTION」を点滅させ、もう一度押す。

② ジョグダイヤルを回して「REC-Posi」を点滅させ、ジョグダイヤルを押す。

③ 常に録音済み部分の後ろから録音を始めたいときは、ジョグダイヤルを回して「From End」を点滅させ、ジョグダイヤルを押す。
常に録音された内容を上書きして録音したいときは、ジョグダイヤルを回して「From Here」を点滅させ、ジョグダイヤルを押す。

3 録音する



① **RECつまみの中央のボタンを押しながら、右にずらす。**
「REC」表示とRECつまみ中央部のRECランプが点灯し、録音が始まります。

② **録音したいCDやテープを再生する。**

止めるには、■ボタンを押す。
■ボタンを押して停止してから、電池使用時では約10秒後、ACパワーアダプター使用時では約5分後に、自動的に電源が切れます。

こんなときは	操作
録音済み部分の後ろに新しく録音する[1]	END SEARCHボタンを押し、RECつまみの中央のボタンを押しながら右にずらす。
録音した内容の途中から続けて上書き録音する[1]	►を押す、または⏮／⏭を押して録音を始めたい位置を探し、■を押す。次に、RECつまみを右にずらす。
一時停止する	❚❚ を押す。[2] もう一度押すと解除されます。
ディスクを取り出す	■ を押してから、本体のOPENボタンを押してふたを開ける。[3] （「TOC Edit」の表示が消えるまでふたは開きません。）

[1] 録音開始位置（「REC-Posi」）の設定が「From End」になっていると、常に録音済み部分の後ろから新しく録音を始めます（30ページ）。

[2] 一時停止したところで曲番（頭出しマーク）が1つ増え、そこから次の曲として記録されます。

[3] ふたを開けると、次の録音はディスクの最初から始まります（録音開始位置（「REC-Posi」）の設定が「From Here」になっているとき）。

録音が始められないときは

- ホールド（誤動作防止）スイッチを確認してください。（17、71ページ）。
- ディスクの誤消去防止つまみを確認してください。（84ページ）。
- 再生専用のミニディスクは録音できません。

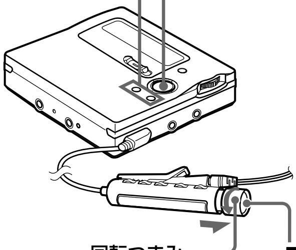
ご注意

- 「Data Save」「TOC Edit」表示の点滅中は、録音した情報（曲の開始・終了位置など）をディスクに記録しています。衝撃を与えたり、電源を抜いたりすると、それまで録音した内容が記録されません。
- 録音終了後、「TOC Edit」の表示が消えるまでふたは開きません。
- 録音中や編集中、また、その後■ボタンを押してから「TOC Edit」の表示が消えるまでに電池をはずしたり、ACパワーアダプター電源を切ったり、電池が消耗したときは、次に電源を入れるまでふたは開きません。
- 光（オプティカル）タイプ以外のデジタル出力につなぐことはできません。
- ポータブルCDプレーヤーから録音するときは、CDプレーヤーを一時停止にしてから録音の操作をしてください。デジタル録音中は、音源のCDやMDと同じ曲番が自動的につきます。
- ポータブルCDプレーヤーから録音するときは
  – ACパワーアダプター電源でないと、光 出力ができないポータブルCDプレーヤーもあります。その場合は、ポータブルCDプレーヤーにACパワーアダプターをつなぎ、家庭用電源でお使いください。
  – 音飛びガード機能(ESPなど)がONになっていると、光出力ができないポータブルCDプレーヤーもあります。その場合は、音飛びガード機能(ESPなど)をOFFにしてください。

- 本機のLINE IN (OPT)ジャックはデジタル・アナログ両用です。つなぐケーブルの種類により、光デジタル入力またはアナログ入力（LINE IN）に自動的に切り変わります。
- 録音される音の大きさは自動的に調節されます。音の大きさを変えたいときは、「手動で録音レベルを調節する」（33ページ）をご覧ください。
- 録音中に音を聞くことができます。
  ∩/LINE OUTジャックにリモコン付きヘッドホン（付属）をつなぎます。聞こえる音の大きさはVOL＋/－ボタンで調節できます。ただし、録音される音の大きさは影響されません。

再生する

1 聞く



① **►を押す。**
リモコンでは回転つまみを►►►I側に回す。
リモコンで操作すると「ピ」と確認音がします。

② **VOL＋/－を押して、音量を調節する。**
リモコンでは回転つまみを引いた状態で、VOL ＋/－側に回して、音量を調節する。
表示窓で音量を確認できます。回転つまみは音量調節後、もとに戻します。

止めるには、■ボタンを押す。
リモコンで操作すると「ピー」と確認音がします。

次に再生するときは、止めたところの続きから始まります。ディスクの1曲目から再生を始めたいときは►ボタンを2秒以上押して再生を始めてください。
■ボタンを押して停止してから、電池使用時では約10秒後、ACパワーアダプター使用時では約5分後に、自動的に電源が切れます。

こんなときは	操作（リモコンの確認音[1]）
今聞いている曲、またはさらに前の曲を頭出しする[2]	I◄◄を押す。またはさらに戻したい曲数だけI◄◄を押す。 リモコンでは回転つまみをI◄◄側に回す。（ピピピ）
次の曲を頭出しする[3]	►►Iを押す。 リモコンでは回転つまみを►►►I側に回す。（ピピ）
再生しながら早戻しする	I◄◄を押したままにする。 リモコンでは回転つまみをI◄◄側に回したままにする。
再生しながら早送りする	►►Iを押したままにする。 リモコンでは回転つまみを►►►I側に回したままにする。
一時停止する	IIを押す。（ピ・ピ・ピ）　もう一度押すと解除されます。
ディスクを取り出す	■を押してから、本体のOPENボタンを押してふたを開ける[4]。

[1] リモコンの確認音は消すこともできます（70ページ）。

[2] 1曲目を再生中、I◄◄を続けて2回押すと、ディスクの最後の曲になります。

[3] 最後の曲で►►Iを押すと、ディスクの1曲目になります。

[4] ふたを開けると、次の再生はディスクの最初から始まります（パーソナルディスクメモリーに登録しているときを除く）。

再生が始められないときは

ホールド（誤操作防止）スイッチを確認してください（17、71ページ）。

ヘッドホンを直接本体につないで使うときは

1 ジョグダイヤルを押し、回して「AUDIO OUT」を点滅させ、もう一度押す。
2 ジョグダイヤルを回して「HeadPhone」を点滅させる。
3 ジョグダイヤルを押す。

- 録音された方法により、SPステレオ再生／LP2ステレオ再生／LP4ステレオ再生／モノラル再生は自動的に切り換わります。
- グループ内の曲だけを再生するには「「グループ機能」を使う」（40ページ）をご覧ください。
- 音量の設定は、パーソナルディスクメモリーに登録することができます（48ページ）。

ご注意

動作中に電池をはずしたり、ACパワーアダプターを抜いたり、電池が消耗したときは、次に電源を入れるまでふたが開かないことがあります。

録音もとの機器との2種類のつなぎかた
（光デジタル入力とアナログ入力）

本機をCDプレーヤーやラジカセなど録音もとの機器とつなぐには、光デジタル入力を使うつなぎかたとアナログ入力(LINE IN)を使うつなぎかたの2つの方法があります。それぞれの録音のしかたは、光デジタル入力を使うときは「録音する」（19ページ）、アナログ入力（LINE IN）を使うときは「アナログ入力で録音する」（25ページ）をご覧ください。

光デジタル入力とアナログ入力の比較

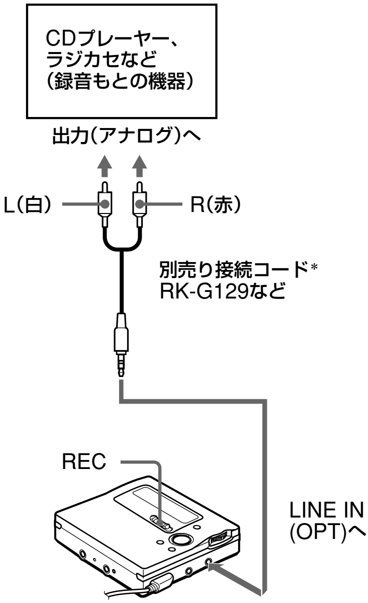
相違点＼入力の種類		光デジタル入力	アナログ入力（LINE IN）
つなぐことができる機器		光デジタル出力ジャックのある機器	出力（LINE OUT）ジャックのある機器
使用するコード		光デジタルケーブル（録音もとの機器に角形プラグまたはミニプラグをつなぐ）（19ページ）	接続コード（録音もとの機器にピンプラグまたはステレオミニプラグをつなぐ）（25ページ）
録音もとから送られる信号		デジタル信号	アナログ信号 CDなどデジタル方式のものを録音もととしても、本機にはアナログ信号として送られる。
録音の結果	頭出しマーク（曲番）	• 音源がCDやMDの場合、録音もとと同じ場所に自動的につく。 • 音源がCDやMD以外の場合、2秒以上の無音（84ページ）や小さな音が続いた場所につく。 • シンクロ録音中は、3秒以上の無音が続くと録音一時停止するので、その録音を一時停止したところで自動的につく。 不要なマークがついた場合、録音後に消してください（「頭出しマーク(曲番)を消す」65ページ）。	• 2秒以上の無音（84ページ）や小さな音が続いた場所につく。 • 録音を一時停止したところで自動的につく。 • オートタイムトラックマーク（32ページ）を使って一定時間ごとにつく。 不要なマークがついた場合、録音後に消してください（「頭出しマーク(曲番)を消す」65ページ）。
録音される音の大きさ		録音もとと同じ。 手動でも調節できます（デジタルRECレベルコントロール）（「手動で録音レベルを調節する」33ページ）。	自動調節される。 手動でも調節できます（「手動で録音レベルを調節する」33ページ）。

ご注意

次のような場合、録音もとと同じ位置に頭出しマーク（曲番）が記録されないことがあります。
- 一部のCDプレーヤーやマルチディスクプレーヤーから、光デジタル入力で録音する場合
- CDやMDソフトをプログラム演奏などにして光デジタル入力で録音する場合 (このような場合には、録音もとを通常の再生状態にしてミニディスクに録音してください。)
- BS、CS放送の番組を光デジタル入力で録音する場合

アナログ入力で録音する
（接続コードが必要）

つないだ機器の出力端子から録音する音はアナログ信号で送られますが、ミニディスクにはデジタル方式で記録されます。
つなぐには別売りの接続コードが必要です。コード類をつなぐときは、奥までしっかりと差し込んでください。



* ポータブルCDプレーヤーなどのステレオミニジャックにつなぐときは、別売りの接続コードRK-G136をお使いください。
接続コードには抵抗の入っていないものをお使いください。

1 録音用ミニディスクを入れ、RECつまみの中央のボタンを押しながら右にずらす。

「REC」が表示され、本体のRECランプが点灯し、録音が始まります。

2 録音したいCDやテープを再生する。

その他の操作は「録音する」19ページを参照してください。

本機のLINE IN (OPT)ジャックはデジタル・アナログ両用です。
つなぐケーブルの種類により、光デジタル入力またはアナログ入力（LINE IN）に自動的に切り換わります。

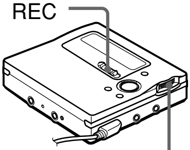
ご注意

❚❚ボタンを押したあと、もう一度押して一時停止を解除すると、解除したところで曲番が1つ増え、そこから次の曲として記録されます。

長時間録音する

通常のSPステレオ録音に加えて、録音時間を2倍(LP2)または4倍(LP4)長くしてステレオ録音することができます（MDLP録音）。またモノラル録音でも通常のSPステレオ録音よりも2倍長く録音することができます。

本機で長時間録音した内容は、長時間再生に対応していない他の機器では再生できません。



1 **停止中にジョグダイヤルを押し、回して「REC MODE」を点滅させ、もう一度押す。**

2 **ジョグダイヤルを回してお好みの録音モードを点滅させ、ジョグダイヤルを押す。**

録音モード[1]	本体液晶表示[2]	録音時間[3]
SPステレオ録音	SP	約80分
LP2ステレオ録音	LP2	約160分
LP4ステレオ録音	LP4	約320分
モノラル録音	MONO	約160分

[1] より高音質の録音を行いたい場合は、SPステレオ録音、LP2ステレオ録音を選んでください。

[2] ジョグダイヤルで選ぶ表示

[3] 80分ディスク使用時。

3 **RECつまみの中央のボタンを押しながら右にずらす。**

4 **録音もとの機器の再生を始める。**

MDLP録音時に曲名の最初に「LP:」をつけないようにする

MDLP録音をすると、曲名の最初に自動的に「LP:」がつき、MDLP録音に対応していない機器でその内容を再生・編集しようとすると「LP:」と表示され、再生・編集できないことが一目でわかるようになります。お買い上げ時は自動的に「LP:」をつけて録音する設定（「Stamp ON」）になっています。
「LP:」をつけないで録音したいときは、次の操作を行ってください。

1 **停止中にジョグダイヤルを押し、回して「OPTION」を点滅させ、もう一度押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「LP Stamp」を点滅させ、ジョグダイヤルを押す。**

3 **ジョグダイヤルを回して、「Stamp OFF」を点滅させ、ジョグダイヤルを押す。**

曲名の最初に「LP:」をつけて録音するには、手順3で「Stamp ON」を点滅させ、ジョグダイヤルを押します。

💡

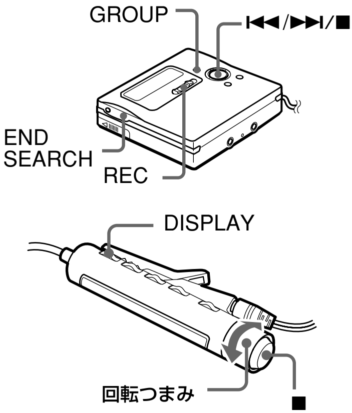
- 「LP:」をつけない設定にすると、制限入力文字数を有効に使うことができます（52ページ）。
- MDLPまたはMDLPロゴのある機器が「LP2ステレオ」、「LP4ステレオ」に対応しています。
- SPステレオ録音（またはモノラル録音）をすると、新開発ATRAC用DSP TYPE-R*により、高音質で豊かな音質を再現することができます。

* **新開発ATRAC用DSP TYPE-Rとは？**
MDサウンドの心臓部DSP (Digital Signal Processor) に、ソニーのハイスペックMDデッキなどに搭載されている「TYPE-R」を採用。信号処理能力が従来比約2倍にアップし、MDデッキに迫る高音質を実現しています。

ご注意

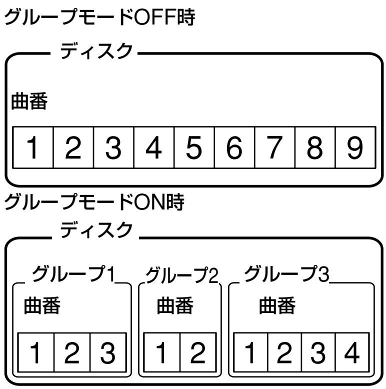
- 長時間録音するときは付属のACパワーアダプターをDC IN 3Vジャックにつないでお使いになることをおすすめします。
- 光デジタル入力で録音中の音は、録音元がステレオの場合、モノラル録音中でも🎧/LINE OUTジャックからステレオ音声で出力されます。
- LP4ステレオ録音は、通常の4倍の長時間ステレオ録音を実現するために、特殊な圧縮方式を採用しています。そのため、録音元の音源によってはごくまれに瞬間的なノイズが発生することがあります。より高音質の録音を行いたい場合は、SPステレオ録音またはLP2ステレオ録音を選んでください。

「グループ機能」を使って録音する



グループ機能とは

1枚のディスクに録音された複数の曲をいくつかのグループにまとめて録音、再生、編集できる機能です。



多数の曲を録音するときに、CDアルバム別やアーティスト別などのグループに分けて録音することができます。

グループ情報の記録のされかた

グループ機能を使って録音すると、グループ情報は「ディスク名」としてディスク名の記録領域に記録されます。具体的には次のような文字列が書き込まれます。

ディスク名の記録領域
例）

0;Favorites//1-5;Rock//6-9;Pops//

①　②　③

①ディスク名：「Favorites」
②1曲めから5曲めのグループ名：「Rock」
③6曲めから9曲めのグループ名：「Pops」

そのため、グループ機能を使って録音したMDをグループ機能未対応機器で読み込むときやグループ機能を働かせていないときの本機で編集しようとすると、上の文字列がそのまま「ディスク名」として表示されます。
もし「名前をつける・変える」の「名前を変更する」（56ページ）の手順を行ってこの文字列を誤って書き換えてしまうと、そのMDではグループ機能が使えなくなる場合がありますのでご注意ください。

ご注意

- グループ機能の設定は、MDを取り出したり本機の電源を切っても記憶されています。
- グループモードがONのとき、ディスク中のグループ設定されていない曲は一時的に1つのグループとしてまとめられ、一番最後のグループとして扱われます。このとき最終グループ名は「Group – –」と表示されます。曲番はグループごとの番号ではなく、ディスクの通し番号で表示されます。

グループモードをONにする（グループモード録音）

グループ機能を使って録音するには、まずグループモードをONにします。

本体では

1 GROUPボタンを2秒以上押す。
「」が点灯し、グループモードがONになります。
もう一度2秒以上押すとOFFになります。

リモコンでは

1 DISPLAYボタンを2秒以上押し、回転つまみを⏮または▶⏭側に回して「GROUP」を点滅させ、■ボタンを押す。

2 回転つまみを⏮または▶⏭側に回して「GROUP ON」を点滅させ、■ボタンを押す。
表示窓に「G」が表示されます。
手順2で「GROUP OFF」を選ぶとグループモードがOFFになります。

グループにして録音する

1 停止中にGROUPボタンを2秒以上押す。

2 END SEARCHボタンを押す。

3 RECつまみの中央のボタンを押しながら右にずらす。

4 録音もとの機器の再生を始める。

録音を止めるときは

■ボタンを押す。

録音を止めると、そこまでが1つのグループとして記録されます。

既存のグループ内に曲を録音する

1 **停止中にGROUPボタンを2秒以上押す。**

2 **GROUPボタンを短く押す。**

「🗀」が点滅し、グループを選べる状態になります（グループスキップモード）（41ページ）。

3 **5秒以内に⏮/⏭ボタンを繰り返し押して、録音を追加したいグループを表示させる。**

4 **RECつまみの中央のボタンを押しながら右にずらす。**

5 **録音もとの機器の再生を始める。**

ご注意

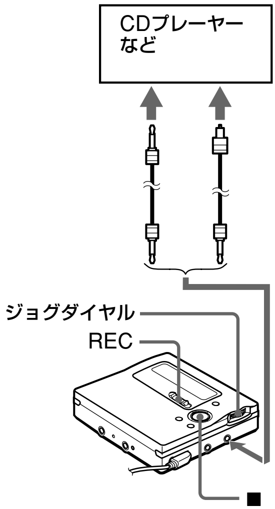
- 録音開始位置（「REC-Posi」）の設定が「From Here」になっていても、録音した曲は、グループ内の最後に追加され、上書きされません（30ページ）。
- 手順3で5秒以内に操作をしないと、グループスキップモードは解除されます。そのときは、手順2からやり直してください。
- 手順4で録音を開始しないときは、もう一度RECつまみの中央のボタンを押しながら右にずらしてください。

💡

現在聞いているグループに曲を追加して録音するときは、再生を停止して手順4から行ってください。

再生側に合わせて録音を始める／止める（シンクロ録音）

光デジタルケーブルを使ってつないだCDプレーヤーなどのデジタル機器から本機へデジタル録音するときに、録音もとと本機のそれぞれを操作する手間を省き、簡単に録音できます。また、録音もとの音源と、同じ位置に頭出しマーク（曲番）が自動的につきます。

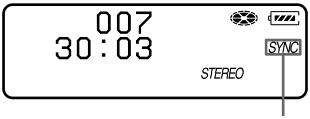


1 **停止中にジョグダイヤルを押し、回して「SYNC REC」を点滅させ、もう一度押す。**

次ページへつづく

いろいろな録音のしかた

2 **ジョグダイヤルを回して「SYNC ON」を点滅させ、ジョグダイヤルを押す。**



「SYNC」が表示されます。光デジタルケーブルが本機につながれていないと「SYNC」は表示されません。

3 **RECの中央のボタンを押しながらつまみを右にずらす。**

録音一時停止になります。

4 **録音もとの機器の再生を始める。**

再生側の音が出ると、自動的に本機で録音が始まります。

録音をやめるには

■ボタンを押します。

シンクロ録音を解除するには

手順2で「SYNC OFF」を点滅させ、ジョグダイヤルを押します。

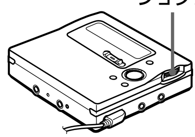
- シンクロ録音中に録音もとで約3秒の無音（84ページ）が続くと、本機は自動的に録音一時停止になります。再び音を検知すると、シンクロ録音に戻ります。録音一時停止状態が5分以上続くと、自動的に録音が止まります。
- 長時間録音する場合は、「長時間録音する」（26ページ）の手順1、2を行ってから、シンクロ録音の手順を行ってください。

ご注意

- シンクロ録音中は、手動で一時停止および一時停止を解除することはできません。録音をやめるには■ボタンを押します。
- 録音中は、「SYNC REC」の設定を切り換えないでください。正しく録音されないことがあります。
- シンクロ録音中に録音もとで無音状態（84ページ）が続いても、録音もとのノイズレベルが原因で、自動的に録音一時停止にならない場合があります。
- CDやMD以外からのシンクロ録音中に、録音もとの同一曲内で約2秒の無音が続くと、曲番が1つ増えます。
- MIC（PLUG IN POWER）ジャックを使用したり、光デジタルケーブル以外のケーブルを使用した場合は、シンクロ録音できません。
- シンクロ録音中は、録音モード（26ページ）を切り換えないでください。

上書きをせずに録音する

録音開始位置を、上書きをせずに常に録音済み部分の後ろから録音する設定に変更することができます。お買い上げ時は上書きで録音する設定になっています。



1 **停止中にジョグダイヤルを押し、回して「OPTION」を点滅させ、もう一度押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「REC-Posi」を点滅させ、ジョグダイヤルを押す。**

3 **ジョグダイヤルを回して「From End」を点滅させ、ジョグダイヤルを押す。**

上書き録音にするには

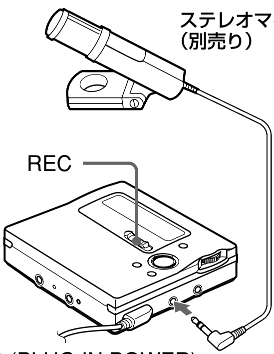
手順3で「From Here」を点滅させ、ジョグダイヤルを押します。

録音開始位置が「From Here」に設定されていても、一時的に上書き録音したくないときは、END SEARCHボタンを押してから録音を開始すると、録音済み部分の後ろから録音を始めることができます。またEND SEARCHボタンを押したとき、録音できる残り時間が表示されます。

ご注意

- 電源を切っても設定は解除されません。
- 録音開始位置を「From End」に設定していても、再生一時停止状態から録音すると、一時停止位置から録音が始まります。
- グループモードがONになっているときは、常に録音済み部分の後ろから録音します。

マイクで録音する



1 **別売りのステレオマイクECM-717、ECM-MS907、ECM-MS957などを本体につなぐ。**

入力は自動的にマイク入力に切り換わります。

2 **録音用ミニディスクを入れ、RECつまみの中央のボタンを押しながら右にずらす。**

その他の操作は「録音する」（19ページ）をご覧ください。

マイク感度を変える

1 **停止中または録音中にジョグダイヤルを押し、回して「MIC SENS」を点滅させ、もう一度押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「SENS HIGH」または「SENS LOW」を点滅させる。**

通常は「SENS HIGH」を選びます。ライブ録音など、大音量を録音するときは「SENS LOW」を選びます。

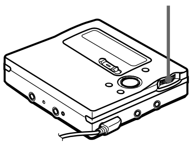
3 **ジョグダイヤルを押す。**

ご注意

- 光デジタルケーブルがLINE IN (OPT)ジャックにつながっていると、マイク入力になりません。そのときは、光デジタルケーブルをLINE IN (OPT)ジャックからはずしてください。光デジタル入力、マイク入力、アナログ入力の順に優先して自動的に選択します。
- 本体の動作音を収音することがあります。そのときは、マイクを本体から遠ざけて録音してください。ダイレクト接続のマイクはノイズを拾うことがあるので、お使いにならないでください。

一定時間ごとに頭出しマークをつけながら録音する（オートタイムトラックマーク）

長い録音をするときに、一定時間ごとに頭出しマークを自動的につけて、途中に区切りをつけることができます。マイク録音、またはアナログ録音中にのみ設定することができます。



1 **録音中または録音一時停止中にジョグダイヤルを押し、回して「TIME MARK」を点滅させ、もう一度押す。**

「OFF」が点滅します。

2 **ジョグダイヤルを回してお好みの時間を点滅させる。**

ジョグダイヤルを回すと表示は次のように変わります。

表示	時間
OFF	—
5min. ON	約5分
10min. ON	約10分
15min. ON	約15分

3 **ジョグダイヤルを押す。**

設定を解除するには

手順2で「OFF」を点滅させ、ジョグダイヤルを押します。または■ボタンを押して録音を停止します。

録音中のオートタイムトラックマークの付きかた

時間を設定したときに、録音の経過時間が設定時間を越えていたときは、手順3の後から設定時間毎に頭出しマークがつきます。（例えば、録音の経過時間が8分のときに5分毎で頭出しマークをつける設定をすると、まず、設定したところで頭出しマークがつき、以後5分毎に頭出しマークがつきます。）

また、録音開始からの経過時間が設定時間より短いときは、経過時間が設定した時間に達したときから、設定時間毎に頭出しマークがつきます。（例えば、録音の経過時間が3分のときに5分毎で頭出しマークをつける設定をすると、録音の経過時間が5分になったところから5分毎に頭出しマークをつけます。）

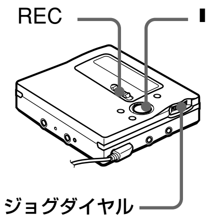
オートタイムトラックマークで頭出しマークをつけると、本体の表示窓では時間表示の前に「T」がつきます。リモコンの表示窓では、時間表示の後ろに「T」がつきます。

ご注意

- 録音の途中にT MARKボタンや❚❚ボタンを押したなどで、トラックマークがついてしまったときは、その時点から設定した時間ごとにオートタイムトラックマークが付きはじめます。
- 録音を止めると、設定は解除されます。

手動で録音レベルを調節する（マニュアル録音）

録音するときは、録音レベルは最適な値になるように自動的に調整されますが、必要に応じて手動で調整できます。アナログ録音のときはもちろん、デジタル録音のときでも調整できます（デジタルRECレベルコントロール）。



1 **❚❚ボタンを押しながら、RECつまみの中央のボタンを押しながら右にずらす。**
録音一時停止になります。

2 **ジョグダイヤルを押し、回して「RecVolume」を点滅させ、もう一度押す。**

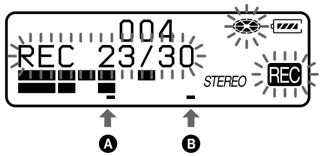
3 **ジョグダイヤルを回して、「ManualREC」を点滅させ、ジョグダイヤルを押す。**



自動調節に戻すときは、手順2からやり直してジョグダイヤルを回し、「Auto REC」を点滅させて、押します。

4 **録音したい音を出す。**

5 **表示窓を見ながらジョグダイヤルを回して録音レベルを調節する。**
録音レベルは、ⒶからⒷの間を目安にレベル表示のバーが点灯するように調整します。Ⓑより右が点灯するときは、録音レベルを下げてください。
画面に表示されるレベル表示のバーは次のように分かれています。
上段：L（左）のレベル
下段：R（右）のレベル



6 **❚❚ボタンを押して録音を始める。**
手順5では録音は始まっていません。他の機器とつないで録音するときは、本機が録音を始めた後で、録音元の音を最初から出し直してください。

自動調節にするには

手順3で「Auto REC」を点滅させ、ジョグダイヤルを押します。

録音中も手動で録音レベルを調整できます。

ご注意

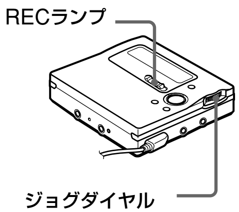
- ■ボタンを押して録音を止めると、次の録音からは自動レベル調節に戻ります。
- シンクロ録音中は手順2で「RecVolume」を選択することはできません。手動で調節した録音レベルでシンクロ録音したいときは、次の操作を行ってください。
  1 「再生側に合わせて録音を始める／止める（シンクロ録音）」（29ページ）の手順2で「SYNC OFF」を選ぶ。
  2 上記の手順1～5を行った後、シンクロ録音（29ページ）の手順2で「SYNC ON」を選ぶ。

  再生側の機器から音が出たら、自動的に本機で録音が始まります。

残り時間や録音位置を調べる

録音または停止中、表示窓で残り時間や曲番などの情報を確認できます。グループ機能に関係する表示は、グループ設定された曲を再生し、停止したときに表示されます。

本体で操作する



1 ジョグダイヤルを押し、回して「DISPLAY」を点滅させ、もう一度押す。

2 ジョグダイヤルを回して確認したい情報を点滅させる。

ジョグダイヤルを回すたびに、表示は次のように変わります。

LapTime（経過時間）
↓
RecRemain（録音できる残り時間）
↓
GP Remain（グループ内で再生できる残り時間）
↓
AllRemain（再生できる全残り時間）
↓
Clock（現在時刻）

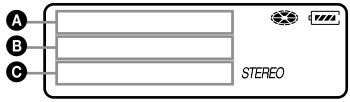
ご注意

グループモードON/OFFの状態や動作状態により、表示が選択できないことがあります。

3 ジョグダイヤルを押す。

ジョグダイヤルを押すと手順2で選んだ情報が表示されます。Ⓒには手順2で選んだものが表示されます。ただし、手順2でLapTimeを選んだときは、Ⓒには何も表示されません。

本体の表示窓



Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ
曲番	経過時間	— (LapTime)
曲番	録音できる残り時間	RecRemain
グループ内の残り曲数	グループ内で再生できる残り時間	GP Remain
残り曲数	再生できる全残り時間	AllRemain
年月日	現在時刻	Clock

ご注意

グループモードON/OFFの状態や動作状態、設定状況により、表示が異なることがあります。

💡

リモコン表示は本体表示と異なります。リモコン表示については「リモコンで操作する」（35ページ）をご覧ください。

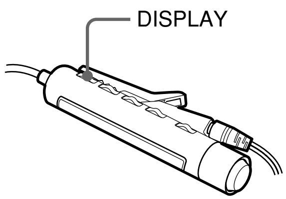
録音状態を確認する

RECランプが点灯または点滅して、録音の状態をお知らせします。

録音の状態	表示
録音中	点灯 マイク録音中は音の強弱に合わせて点滅（ボイスミラー）
録音一時停止	点滅
録音中ディスクが残り3分以下のとき	ゆっくり点滅
頭出しマーク(曲番)が追加されたとき	一瞬 消灯

再生中の表示については、49ページの「残り時間や再生位置を調べる」をご覧ください。

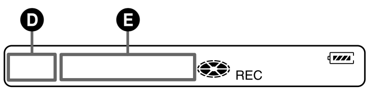
リモコンで操作する



1 **DISPLAYボタンを押す。**

DISPLAYボタンを押すたびに、表示は次のように変わります。

リモコンの表示窓



表示D/E

録音中

曲番/経過時間
↓
曲番/録音できる残り時間
↓
—/現在時刻

停止中

曲番/経過時間
↓
曲番/曲名
↓
グループの全曲数／グループ名
↓
—/ディスク名
↓
—/現在時刻

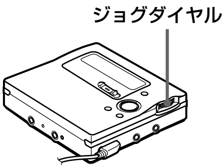
ご注意

グループモードON/OFFの状態や動作状態、設定状況により、表示が選択できない、または表示が異なることがあります。

- 再生中の表示については、49ページの「残り時間や再生位置を調べる」をご覧ください。
- 本体表示はリモコン表示と異なります。本体表示については34ページの「本体で操作する」をご覧ください。

録音日時を記録する
（時計合わせ）

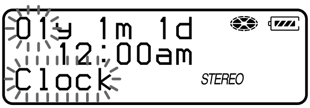
時計を合わせておくと、録音の際に録音日時が自動で記録されます。録音日時は、一度時計を合わせると常に記録されるようになります。録音日時を記録しないときは、この操作は不要です。



1 **停止中にジョグダイヤルを押し、回して「OPTION」を点滅させ、もう一度押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「CLOCK SET」を点滅させ、ジョグダイヤルを押す。**

西暦年の数字が点滅します。



3 **ジョグダイヤルを回して年を合わせ、押す。**

月の数字が点滅します。

4 **手順3をくりかえして月、日、時、分を合わせる。**

分を合わせてジョグダイヤルを押すと、時計が0秒からスタートします。

途中で間違えたときは

CANCELボタンを押し、もう一度手順1からやり直してください。変更する必要のない数字はジョグダイヤルを押して先に進めてください。

現在の日時を表示するには

停止中または録音中にジョグダイヤルを押し、回して「DISPLAY」を点滅させ、もう一度押します。ジョグダイヤルを回して「Clock」を点滅させ、押すと現在の日時が表示されます。

時計を24時間表示に変えるには

時計合わせ中にT MARKボタンを押します。もう一度押すと12時間表示に戻ります。

時計の設定を保つために

一度時計を合わせると、コンセントや充電式電池、乾電池のいずれかの電源がつないであれば、時計の設定は保たれます。ただし、いずれの電源もつないでいないと、約3分で時計の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。
充電式電池や乾電池の交換は3分以内で行ってください。

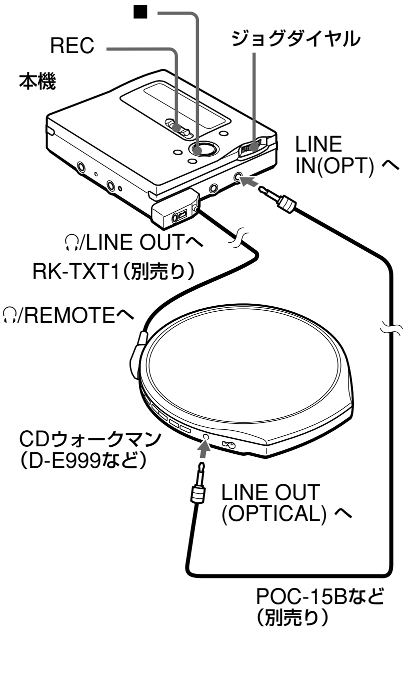
ご注意

- 特に大切な録音で録音日時を記録したいときは、現在の日時（34ページ）を表示させ、時計が合っていることを確認してください。
- 月に3分程度の誤差が生じることがあります。

CDの曲名などを記録しながら録音する

(ジョイントテキスト機能)(CDテキスト接続ケーブル、CDテキスト対応CDとジョイントテキスト対応CDウォークマンが必要)

ジョイントテキスト機能対応のソニー製CDウォークマン（D-E999など）から、CDテキスト対応のCDを光デジタル入力で録音するときに、本機とCDウォークマンをさらにCDテキスト接続ケーブルRK-TXT1（別売り）を使って下図のようにつなぐと、録音と同時にディスク名、曲名などの情報をMDに記録できます。



1 本機のRECつまみの中央のボタンを押したまま右にずらして録音を始め、CDウォークマンの再生を始める。

「SYNC」、「REC」が点灯し、「CD TEXT」と数秒間表示されたあと、「001（録音中の曲の曲番）TEXT?」が点灯、「PushENTER」が点滅します。

録音中の曲に曲名情報がないときは、「NO TEXT」と表示され、その曲の曲名情報は記録されません。

2 ジョグダイヤルを押す。

曲名がスクロールして表示されたあと、曲名が点灯、「PushENTER」が点滅します。

3 ジョグダイヤルを押す。

曲名がMDに記録され、スクロールして表示されます。

4 曲が変わるごとに、上記の手順2と3を繰り返して曲名を記録する。

5 録音を終えたいところで本機の■ボタンを押す。

「000 TEXT?」が点灯、「PushENTER」が点滅します。

ディスク名情報を記録したくない場合は、もう一度■ボタンを押すと、ディスク名を記録せずに終了します。

ディスク名情報がないときは、「NO TEXT」と表示され、終了します。

6 ジョグダイヤルを押す。

ディスク名がスクロールして表示されたあと、ディスク名が点灯、「PushENTER」が点滅します。

次ページへつづく

7 ジョグダイヤルを押す。

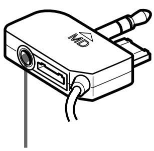
「TOC Edit」が点滅し、記録されたディスク名がスクロールして表示されます。

CDによっては、手順1でディスク名、曲名が自動的に表示され、そのままCDテキストの情報を記録しながらの録音が始まることがあります。その場合は録音が終ったら、または録音を終えたいところで本機の■ボタンを押します。「TOC Edit」が点滅し、その後記録されたディスク名がスクロールして表示されます。

ご注意

- すでに名前が付いているディスクにディスク名情報を記録すると、ディスク名は上書きされます。
- ジョイントテキスト機能（CDの曲名などの情報を記録しながら録音する機能）が働いているときは、様々な機能の設定や編集操作ができなくなります。
- 1つのグループとして録音するときは、手順1の前にグループモードをONにしてください（28ページ）。その時は、ディスク名がグループ名として登録されます。

録音中の音を聞くには、CDテキスト接続ケーブルRK-TXT1のMD録音モニター端子に、本機に付属のヘッドホンをつなぎ、本体のVOL +/– ボタンで音量を調節します。



録音モニター端子

ご注意

- ジョイントテキスト機能は次のマークが記載された機器にのみ対応しています。

JOINT TEXT
CD→MD

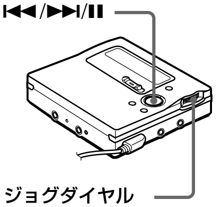
ジョイントテキスト対応機種
D-E01、D-E999、D-E990、D-E888、
D-E880、D-E777、D-E770、D-F700
（2001年8月現在）

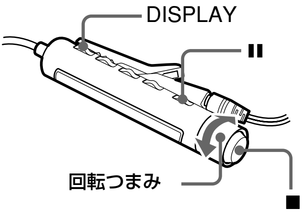
- CDソフトは次のマークが記載された「CD TEXT」対応のもののみ有効です。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT　CD TEXT

- CDテキスト接続ケーブルは専用のケーブル（RK-TXT1）を使用し、本機とジョイントテキスト機能対応機器以外にはつながないでください。
- 本機にCDテキスト接続ケーブルRK-TXT1をつないでいるときは、本機のリモコンからの操作はできません。また、リモコンの表示窓に表示は出なくなります。
- 録音中にCDウォークマンを停止または再生一時停止にすると、本機は自動的に録音一時停止状態になります。録音を再開した場所には頭出しマーク（曲番）が自動的に付きます。
- 録音中の曲の曲名を記録する前にCDウォークマンを停止または再生一時停止にすると、その曲の曲名はMDに記録されません。
- 録音もとのCDのディスク名はグループモードOFF時はディスク名として、グループモードON時はグループ名として記録されます。

聞きたい曲や場所を高速で探す（高速サーチ）





高速サーチは2種類あります。

- インデックスサーチ：曲番や曲名を見ながら聞きたい曲を探す。
- タイムサーチ：経過時間を見ながら聞きたい場所を探す。

サーチモードを選ぶ

停止中、再生中、再生一時停止中にリモコンでのみ設定することができます。

1 **DISPLAYボタンを2秒以上押す。**

2 **回転つまみをI◀◀または▶▶▶I側に回して「SEARCH」を表示させ、■ボタンを押す。**

3 **回転つまみをI◀◀または▶▶▶I側に回して「Index」（インデックスサーチ）または「Time」（タイムサーチ）を表示させ、■ボタンを押す。**

お買い上げ時の設定は「Index」（インデックスサーチ）になっています。

曲番や曲名を見ながら聞きたい曲を探す（インデックスサーチ）

インデックスサーチを行うには、あらかじめ「サーチモードを選ぶ」の手順3で「Index」を選んでください（このページ）。

本体で操作する（ダイレクト選曲）

1 **ジョグダイヤルを回し、聞きたい曲が表示されたらジョグダイヤルを押す。**
ジョグダイヤルを回すと本体の表示窓に曲番と曲名が表示され、押すと選んだ曲の再生が始まります。曲名がついていないときは曲番のみが表示されます。

リモコンで操作する

1 **再生中に❚❚ボタンを押す。**
再生が一時停止します。

2 **回転つまみをI◀◀または▶▶▶I側に回したままにして、聞きたい曲番／曲名を表示させる。**

3 **❚❚ボタン押して一時停止を解除する。**
選んだ曲の再生が始まります。

💡

- シャッフル再生中に行うと、選んだ曲からシャッフル再生が始まります。
- 探している途中に最後または最初の曲まで表示されると、一番最初または最後の曲に戻ります。

経過時間を見ながら聞きたい場所を探す（タイムサーチ）

タイムサーチを行うには、あらかじめ「サーチモードを選ぶ」の手順3で「Time」を選んでください（39ページ）。

本体で操作する

1 再生中に❚❚ボタンを押す。
再生が一時停止します。

2 ⏮または⏭ボタンを押したままにして、聞きたい場所を表示させる。

3 ❚❚ボタン押して一時停止を解除する。
選んだ場所から再生が始まります。

リモコンで操作する

1 再生中に❚❚ボタンを押す。
再生が一時停止します。

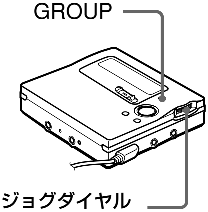
2 回転つまみを⏮または▶⏭側に回したままにして、聞きたい場所を表示させる。

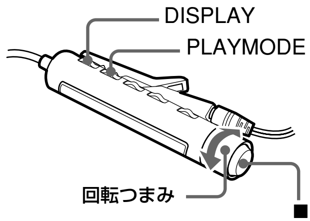
3 ❚❚ボタンを押して一時停止を解除する。
選んだ場所から再生が始まります。

💡
- シャッフル再生中に行うと、選んだ曲からシャッフル再生が始まります。
- 探している途中に最後または最初の曲まで表示されると、最後または最初の曲で一時停止状態になります。

「グループ機能」を使う

グループ設定されたディスクでは「グループ機能」を使っていろいろな再生を行うことができます。グループ機能について、詳しくは「「グループ機能」を使って録音する」（27ページ）をご覧ください。





グループモードをONにする（グループモード再生）

本体で操作する

1 グループ設定されたディスクを本機に入れ、再生する。

2 GROUPボタンを2秒以上押す。
「🗀」と「GROUP ON」が点灯し、グループモードがONになります。
再生中の曲が入っているグループの最後の曲まで再生して停止します。
別のグループを聞きたいときは「聞きたいグループを選んで聞く（グループスキップモード）」（41ページ）をご覧ください。

リモコンで操作する

1 **グループ設定されたディスクを本機に入れ、再生する。**

2 **DISPLAYボタンを2秒以上押し、回転つまみを⏮または▶⏭側に回して「GROUP」を点滅させ、■ボタンを押す。**

3 **回転つまみを⏮または▶⏭側に回して「GROUP ON」を点滅させ、■ボタンを押す。**

リモコンの表示窓に曲の経過時間と「G」が表示されグループモードがONになります。

再生中の曲が入っているグループの最後の曲まで再生して停止します。

別のグループを聞きたいときは「聞きたいグループを選んで聞く（グループスキップモード）」（このページ）をご覧ください。

💡

- グループ内でリピート再生、シャッフル再生、プログラム再生をすることができます。詳しくは「再生モードを選ぶ」（42ページ）をご覧ください。
- グループモードがONのとき、最後の曲を再生中に⏭（リモコンでは▶⏭）を押すと、グループの１曲めから再生し、1曲目を再生中に⏮を続けて2回押すと、グループの最後の曲を再生します。
- 設定は、パーソナルディスクメモリーに登録することができます（48ページ）。

グループ機能をOFFにするには

本体ではもう一度GROUPボタンを2秒以上押します。

リモコンでは手順3で「GROUP OFF」を選び、■ボタンを押します。

ご注意

グループモードがONのとき、ディスク中のグループ設定されていない曲は一時的に1つのグループとしてまとめられ、一番最後のグループとして扱われます。このとき「Group – –」と表示されます。曲番はグループごとの番号ではなく、ディスクの通し番号で表示されます。

聞きたいグループを選んで聞く（グループスキップモード）

グループ設定されたディスクは、再生中に次のグループに進んだり、前のグループに戻ることができます。本体のジョグダイヤルでは聞きたいグループを直接選ぶことができます。

本体で操作する（ダイレクトグループ選択）

1 **グループ設定されたディスクを本機に入れ再生し、GROUPボタンを短く押す。**

「🗀」が点滅し、グループスキップモードがONになります。

2 **5秒以内にジョグダイヤルを回して、再生したい曲があるグループを表示させ、ジョグダイヤルを押す。**

選択されたグループの1曲めから再生が始まります。

💡

手順2で⏮/⏭ボタンを使っても、グループを選ぶことができます。

リモコンで操作する

1 **グループ設定されたディスクを本機に入れ再生する。**

2 **PLAYMODEボタンを「－－－」が表示されるまで押したままにする。**
グループスキップモードがONになります。

3 **5秒以内に回転つまみを⏮または▶⏭側に回して、再生したい曲があるグループ名またはグループ番号を表示させる。**
グループモードがONのときにグループスキップモードを使用した場合は、選んだグループの1曲めから再生が始まり、そのグループの最後の曲まで再生して停止します。
グループモードがOFFのときにグループスキップモードを使用した場合は、選んだグループの1曲目から再生が始まり、ディスクの最後の曲まで再生して停止します。

ご注意

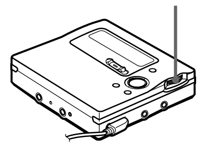
- 手順2の後で、5秒間回転つまみを操作しないと、グループスキップモードが解除されます。そのときはもう一度手順1から操作し直してください。
- グループ設定されていないディスクでは、グループスキップモードは使えません。

💡
グループスキップモードはグループモードのON/OFFに関係なく働きます。

再生モードを選ぶ

通常の再生のほか、1曲再生、シャッフル再生、プログラム再生ができ、さらに各再生状態のままくり返すことができます。

本体で操作する



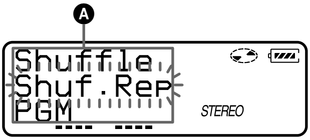
再生状態を選ぶ

1 **再生中にジョグダイヤルを押し、回して「PLAY MODE」を点滅させ、もう一度押す。**

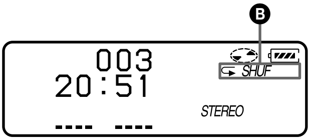
2 **ジョグダイヤルを回して選択したい再生モードを点滅させ、押す。**
ジョグダイヤルを回すたびに、表示Ⓐが次のように変わります。選択したい再生モードが点滅しているときに、ジョグダイヤルを押して確定すると、表示Ⓑが点灯します。↻は選択された再生状態をくり返して再生することを表します。

本体の表示窓

ジョグダイヤルを回すとⒶが変わる



ジョグダイヤルを押すとⒷが点灯する。



表示Ⓐ/Ⓑ（再生状態）

Normal /—（通常の再生）

↓

ALLRepeat/⊊（全曲をくり返し再生）

↓

1 Track/ *1*（再生中の1曲を再生）

↓

1 Repeat/⊊ *1*（再生中の1曲をくり返して再生）

↓

Shuffle/*SHUF*（全曲を順不同に並べかえて再生）

↓

Shuf. Rep/⊊ *SHUF*（全曲を順不同に並べかえて再生、さらにくり返し並べかえて再生）

↓

PGM/*PGM*（曲を好きな順に並べかえて再生）

↓

PGMRepeat/⊊ *PGM*（曲を好きな順に並べかえてくり返して再生）

好きな順に曲を並べかえて聞く（プログラム再生）

1 **「再生状態を選ぶ」の手順2で「PGM」を表示させ、ジョグダイヤルを押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して曲を選ぶ。**

3 **ジョグダイヤルを押す。**
選んだ曲が確定します。

4 **手順2、3をくり返して、好きな順に曲を選ぶ。**

5 **ジョグダイヤルを2秒以上押す。**
プログラムが設定され、1曲目から再生が始まります。

💡

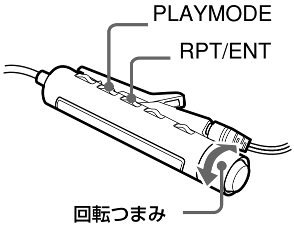
- 再生が終わったとき、または途中で止めたときもプログラム設定は残っています。
- 全部で20曲までプログラムできます。
- 設定は、パーソナルディスクメモリーに登録することができます（48ページ）。
- グループモードをONにして特定のグループを選択すると、そのグループ内での再生モードを選ぶことができます。グループモードをONにするには、「「グループ機能」を使って録音する」の「グループモードをONにする（グループモード録音）」（28ページ）をご覧ください。
- 停止中も操作できます。

ご注意

- ふたを開けると設定は解除されます。
- 停止状態での設定の途中、5分間何も操作されなかったときは、そこまでの設定でプログラムが確定します。
- プログラム設定中にグループモードをON/OFFすると、「SORRY」と表示され、グループモードをON/OFFできません。
- プログラム再生中、グループモードをONにすると、プログラム再生の設定は解除されます。

リモコンで操作する

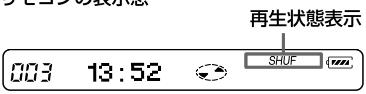
リモコンのPLAYMODEボタン、RPT/ENTボタンを使っていろいろな聞き方ができます。



再生状態を選ぶ

1 **再生中にPLAYMODEボタンを押す。**
押すたびに表示は次のように変わり、選んだ表示の状態で再生します。

リモコンの表示窓



表示（再生状態）

—（通常の再生）

↓

1（再生中の1曲を再生）

↓

SHUF（全曲を順不同に並べかえて再生）

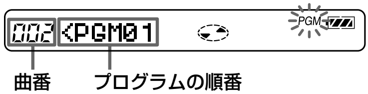
↓

PGM（聞きたい曲を好きな順に並べ変えて再生）

好きな順に曲を並べかえて聞く（プログラム再生）

1 **再生中に「PGM」が表示されるまでPLAYMODEボタンをくり返し押す。**

2 **回転つまみを|◀◀または▶ ▶▶|側に回して曲番を選ぶ。**



3 **RPT/ENTボタンを押し、曲を決定する。**

4 **手順2、3をくり返して好きな順に曲を選ぶ。**

5 **RPT/ENTボタンを2秒以上押す。**
設定した1曲めから再生が始まります。

くり返し再生する

1 **再生中にRPT/ENTボタンを押す。**
⊂が表示され、選択されている再生状態でくり返し再生します。

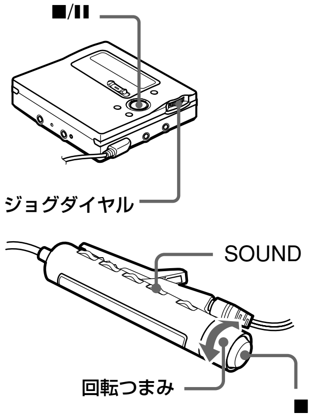
- 再生が終わったとき、または途中で止めたときもプログラム設定は残っています。
- 全部で20曲までプログラムできます。
- 設定は、パーソナルディスクメモリーに登録することができます（49ページ）。
- グループモードをONにして特定のグループを選択すると、そのグループ内での再生モードを変えることができます。グループモードをONにするには、「「グループ機能」を使って録音する」の「グループモードをONにする（グループモード録音）」（28ページ）をご覧ください。
- 停止中にも操作できます。

ご注意

- ふたを開けると設定は解除されます。
- 停止状態での設定の途中、5分間何も操作されなかったときは、そこまでの設定でプログラムが確定します。
- プログラム設定中にグループ機能をON/OFFできません。
- プログラム再生中、グループモードをONにすると、プログラム再生の設定は解除されます。

音質を設定する（デジタルサウンドプリセット）

再生中に、音質を2種類設定することができます。



音質を選ぶ

お買い上げ時の設定は

- 「SOUND1」のとき
  Bass：＋1、Treble：±0
- 「SOUND2」のとき
  Bass：＋3、Treble：±0

設定した音質を選ぶには

本体では

1 ジョグダイヤルを押し、回して「SOUND」を点滅させ、もう一度押す。

2 ジョグダイヤルを回して「SOUND 1」または「SOUND 2」を選び、もう一度ジョグダイヤルを押す。

リモコンでは

1 SOUNDボタンをくり返し押して、「SOUND 1」または「SOUND 2」を選ぶ。

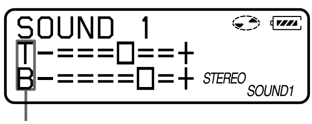
音質を変える

本体で操作する

1 **再生中にジョグダイヤルを押し、回して「SOUND」を点滅させ、もう一度押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「SOUND 1」または「SOUND 2」を点滅させる。**

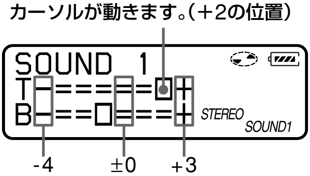
「T」（Treble – 高音）と「B」（Bass – 低音）の設定値が表示されます。
■ボタン（下方向に動く）またはIIボタン（上方向に動く）を押して、「T」または「B」を選んでください。
カーソルが点滅している方の設定をすることができます。



「T」でTreble（高音）、「B」でBass（低音）の設定をします。

次ページへつづく

3 **ジョグダイヤルを回し、「T」(Treble)または「B」(Bass)の強弱を設定する。**



左から−4、−3…±0…+2、+3の8段階で設定することができます。

「T」(中段)から「B」(下段)への移動は■ボタン、「B」から「T」への移動は❚❚ボタンで行ってください。
「SOUND 1」、「SOUND 2」の切り換えは、「T」の位置からさらに❚❚ボタンを押して上段を点滅させ、ジョグダイヤルを回して切り換えてください。

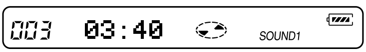
4 **ジョグダイヤルを押す。**

設定が登録され、再生表示に戻ります。

💡
手順3で「T」と「B」の強弱の設定は⏮/⏭ボタンを使うこともできます。

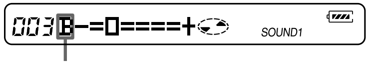
リモコンで操作する

1 **再生中、SOUNDボタンをくり返し押し、「SOUND 1」または「SOUND 2」を選ぶ。**



2 **SOUNDボタンを2秒以上押す。**

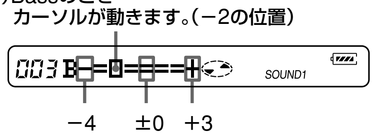
「B」(Bass – 低音)の設定画面になります。さらにもう一度SOUNDボタンを2秒以上押すと、「T」(Treble – 高音)の設定画面になります。



Bassのときは「B」、Trebleのときは「T」と表示されます。

3 **回転つまみを⏮または▶⏭側にくり返し回し、「B」(Bass)または「T」(Treble)の強弱を設定する。**

例)Bassのとき



左から−4、−3…±0…+2、+3の8段階で設定することができます。

「B」(Bass)設定画面または「T」(Treble)設定画面でSOUNDボタンを2秒以上押すと、「B」(Bass)と「T」(Treble)が切り換わり、SOUNDボタンを短く押すと、「SOUND 1」と「SOUND 2」が切り換わります。
設定中に、SOUNDボタンを短く押すと、「SOUND 1」または「SOUND 2」の設定画面が交互に切り換わると同時に、「B」(Bass)または「T」(Treble)の設定が確定します。

4 **■ボタンを押す。**

設定が登録され、再生表示に戻ります。

デジタルサウンドプリセットを解除するには

- 本体では
  手順2で「SOUND OFF」を選びます。
- リモコンでは
  手順1で何も表示されない状態を選びます。

💡

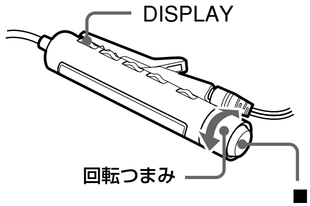
- 設定は、パーソナルディスクメモリーに登録することができます。
- 再生一時停止中でも設定することができます。
- 約5分間操作をしないと、設定が登録され、再生表示に戻ります。

ご注意

- ∩/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定が、「LINE OUT」になっていると、デジタルサウンドプリセットで設定した音質の選択ができなくなります。そのときは、∩/LINE OUTの設定を「HeadPhone」にしてください（23ページ）。
- デジタルサウンドプリセットを使っているとき、設定や曲によっては音が割れたり、ひずんだりすることがあります。そのときは音質設定を変更してください。
- 録音中にデジタルサウンドプリセットを切りかえても、録音される音には影響はありません。

再生速度を変える（スピードコントロール）

語学学習などで再生速度を変えたいときに便利です。速度は7段階（80%〜110%まで5%ごと）から選ぶことができます。

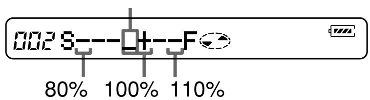


1 **再生中にDISPLAYボタンを2秒以上押す。**

2 **回転つまみを⏮または▶⏭側に回して「SPEED」を点滅させ、■ボタンを押す。**
再生速度の設定画面になります。

3 **回転つまみを⏮または▶⏭側に回して再生速度を選ぶ。**
音を聞きながら選んでください。
カーソルは現在の再生速度、＋は再生速度が100%（標準速度）を表します。

例）再生速度が元の速度の95%のとき
　−とカーソルが交互に点滅します。



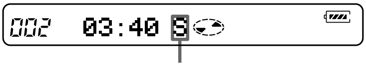
次ページへつづく

いろいろな再生のしかた

4 ■ボタンを押す。

再生速度が設定されます。

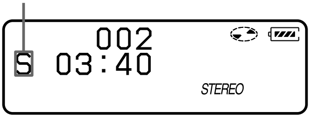
リモコンの表示窓



100%以外を選んでいると「S」が点灯します。

本体の表示窓

100%以外を選んでいると「S」が点灯します。



設定は、パーソナルディスクメモリーに登録することができます（このページ）。

ご注意

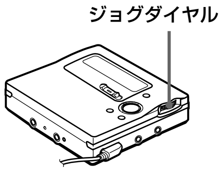
- 本体の操作ボタンでは、設定できません。
- 再生速度の設定を変えると再生される音程も変わります。
- ディスクを出し入れすると、設定は100%に戻ります（パーソナルディスクメモリーに登録した場合を除く）。

ディスクごとに設定を記録する（パーソナルディスクメモリー）

ディスクの設定情報を本体に登録します。一度登録したディスクを再度入れなおすと、設定情報は自動的に呼び出されます。次の設定情報が登録できます。

- 音量
- 再生モード
- グループモード再生
- プログラム再生
- 音質（デジタルサウンドプリセット）
- 再生速度（スピードコントロール）

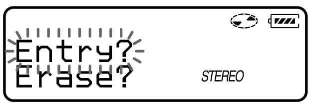
本体で操作する



1 停止中、再生中、再生一時停止中に、ジョグダイヤルを押す。

2 ジョグダイヤルを回して「PERSONAL」を点滅させ、ジョグダイヤルを押す。

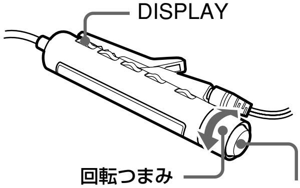
「Entry?」が点滅します。



3 ジョグダイヤルを押す。

「Entry OK」と表示され、現在のディスクの登録情報が登録されます。

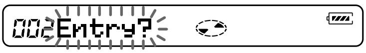
リモコンで操作する



1 **停止中、再生中、再生一時停止中にDISPLAYボタンを2秒以上押す。**

2 **回転つまみを⏮または▶⏭側に回して「PERSONAL」を点滅させ、■ボタンを押す。**

「Entry?」が点滅します。



3 **■ボタンを押す。**

「Entry OK」と表示され、現在のディスクの設定情報が登録されます。

登録から削除するには

登録から削除したいディスクを入れ、内容を確認します。手順2の後、本体ではジョグダイヤルを、リモコンでは回転つまみを⏮ または▶ ⏭ 側に回して「Erase？」を点滅させ、ジョグダイヤル（本体）または■ボタン（リモコン）を押します。「Erase OK」と表示されディスクの設定情報は登録から削除されます。登録していないディスクでこの操作を行うと、「No Entry!」が2秒間表示されます。

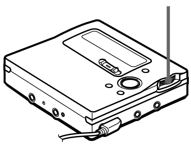
ご注意

- ディスク20枚分まで登録することができますが、20枚を越えると再生した時期が古いものから、自動的に消去されます。
- 一度登録したディスクを編集したり、録音したりすると、別のディスクと認識され、登録されている情報は無効になります。その場合は、もう一度登録し直してください。

残り時間や再生位置を調べる

再生中に、表示窓で曲名・ディスク名などの情報を確認できます。グループ機能に関係する表示は、グループ設定された曲を再生中の表示です。

本体で操作する



1 **再生中にジョグダイヤルを押し、回して「DISPLAY」を点滅させ、もう一度押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して確認したい表示モードを点滅させる。**

ジョグダイヤルを回すたびに、表示は次にように変わります。

LapTime（経過時間）
↓
1 Remain（1曲中の残り時間）
↓
GP Remain（グループ内で再生できる残り時間）
↓
AllRemain（再生できる全残り時間）
↓
RecDate（録音日時）

ご注意

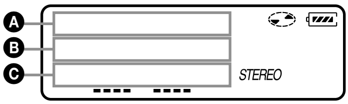
グループモードON/OFFの状態や動作状態により、表示が選択できないことがあります。

次ページへつづく

3 ジョグダイヤルを押す。

ジョグダイヤルを押すと手順2で選んだ情報が表示されます。Ⓒには手順2で選んだものが表示されます。ただし、手順2でLapTimeを選んだときは、Ⓒには何も表示されません。

本体の表示窓



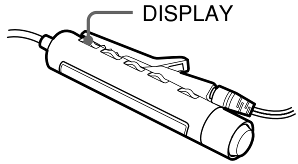
Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ
曲番	経過時間	— (LapTime)
曲番	1曲中の残り時間	1 Remain
グループ内の残り曲数	グループ内で再生できる残り時間	GP Remain
残り曲数	再生できる全残り時間	AllRemain
録音年月日	録音時刻	RecDate

ご注意

グループモードON/OFFの状態や動作状態、設定状況により、表示が異なることがあります。

リモコン表示は本体表示と異なります。リモコン表示については、このページの「リモコンで操作する」をご覧ください。

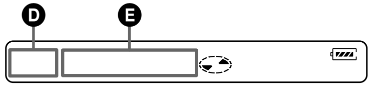
リモコンで操作する



1 再生中にDISPLAYボタンを押す。

DISPLAYボタンを押すたびに、表示は次のように変わります。

リモコンの表示窓



表示Ⓓ/Ⓔ

曲番/経過時間[1)]

↓

曲番/曲名

↓

グループ内の全曲数/グループ名

↓

全曲数/ディスク名

↓

—/録音した時刻

1) 曲番/経過時間に切り換わる前に、一時的に再生曲の録音モード（26ページ）が表示されます。

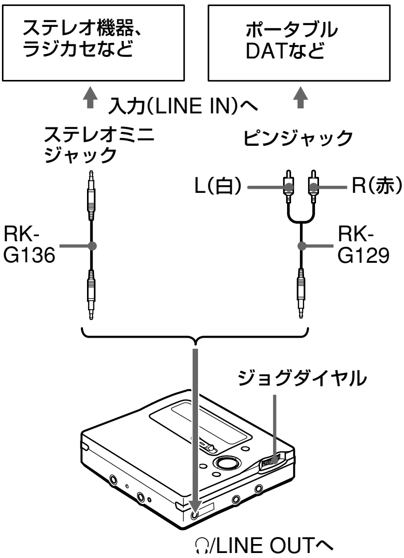
ご注意

グループモードON/OFFの状態や動作状態、設定状況により、表示が選択できない、または異なることがあります。

- 録音または停止中の表示については、34ページの「残り時間や録音位置を調べる」をご覧ください。
- 本体表示はリモコン表示と異なります。本体表示については49ページの「本体で操作する」をご覧ください。

お手持ちのシステムで聞く（LINE OUT）

本機の再生音を、他のオーディオ機器で聞いたり録音したりすることができます。別売りの接続コードRK-G129またはRK-G136を∩/LINE OUTジャックにつなぎます。出力はアナログです。本機はデジタル方式で再生しますが、つないだ機器にはアナログ信号で送られます。



本機の∩/LINE OUTジャックに別売りの接続コードをつないでから次の操作を行って、∩/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定をする必要があります。

1 **ジョグダイヤルを押し、回して「AUDIO OUT」を点滅させ、もう一度押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して、「LINE OUT」を点滅させ、ジョグダイヤルを押す。**

ご注意

- ∩/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定が「LINE OUT」になっていると、ボリュームやサウンドプリセットは働きません。
- 付属のリモコン付きヘッドホンをつないでいるときは、∩/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定を「LINE OUT」にすることができません。
- ヘッドホンを直接本体につなぐときは、手順2でAUDIO OUTの設定を「HeadPhone」にしてください。

編集する前に

ミニディスクに頭出しマーク（曲番）をつけたり、曲名やディスク名をつけたりすることができます。ただし、再生専用ミニディスクの編集はできません。次の点にご注意ください。

ご注意

- 誤消去防止つまみが開いているディスクでは、編集ができません。つまみを閉めてください（84ページ）。
- 再生中に編集を行った場合は、停止して「TOC Edit」表示が消えるまで編集内容は記録されませんので、「TOC Edit」表示が消えるまで、電源を抜かないでください。
- 「TOC Edit」表示の点滅中も、衝撃を与えたり電源を抜かないでください。
- 編集を行った後、「TOC Edit」表示が消えるまでは、ふたは開きません。
- 編集中でグループ機能が働いているときは、選んだグループ内の曲のみ、編集操作を行うことができます。

名前をつける・変える

文字パレットを使って曲名やグループ名、ディスク名をつけたり変えたりすることができます。
再生中は曲名とグループ名、停止中はディスク名、録音中は曲名、ディスク名、グループ名をそれぞれ200文字分付けることができます。
1枚のディスクには英数字／記号で約1700文字、カナ文字のみで約800文字入力できます。ただし、カナ文字が入力できるのは日本国内向けの機種のみです。

入力できる文字の種類

- カタカナ（日本国内向けモデルのみ）
- アルファベットA～Zの大文字、小文字
- 数字0～9
- 記号 ！ " ＃ ＄ ％ ＆（ ）＊ ．； ＜ ＝ ＞ ？ ＠ ＿ ｀ ＋ － ', ／ ：
  ␣（スペース）

ご注意

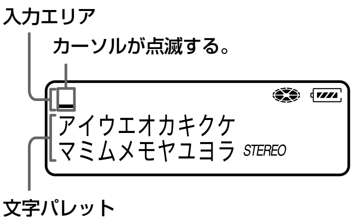
- 文字数が入力できる文字数の限界をこえると「NAME FULL」と表示されます。その場合、曲名、グループ名、ディスク名を短く入力しなおしてください（53～56ページ）。または、MDLP録音のときに、曲名の最初に「LP:」をつけない設定にしてください（26ページ）。
- グループ機能を使って録音したディスクに名前をつけるときは、グループ設定情報を誤って書き換えてしまわないように、グループ機能を働かせた状態でディスク名をつけてください。
- ディスク名やグループ名に「abc//def」のように「//」を文字の間に入れると、グループ機能が使えなくなる場合がありますのでご注意ください。

文字パレットについて

本体では、表示窓に出てくる文字パレットから文字を選んで入力します。文字パレットの文字配列は次のようになっています。

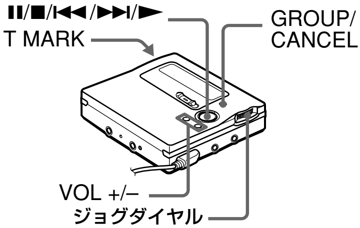
アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホ
マミムメモヤユヨラリルレロワヲン ﾞﾟー ｧｨｩｪｫｬｭｮｯ
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ 123
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 456
.,–?!&‘“/@;:()#$*<=>`+%_ 0 789

表示窓には次のように表示されます。
日本国内向けのモデルのみカナ文字が表示されます。



名前をつける

本体で操作する



1 **ディスクを入れ、次の操作を行う。**

- **曲名を入力するとき**
  名前をつけたい曲の再生または録音を開始し、曲の再生・録音中に名前をつける。
- **グループ名を入力するとき**
  グループモードをONにし（40ページ）、名前をつけたいグループ中の曲の再生または録音を開始し、再生・録音中に名前をつける。
- **ディスク名を入力するとき**
  録音済みのディスクのときは、停止状態のまま手順2へ進む。新しいディスクのときは、録音を開始し、録音中に名前をつける。
  グループ設定をしてあるディスクの場合は、グループモードをONにする（40ページ）。

2 **ジョグダイヤルを押す。**

3 **ジョグダイヤルを回して「EDIT」を点滅させ、押して決定する。**

4 **ジョグダイヤルを回して次の表示を点滅させ、押して決定する。**

- **曲名の場合**：「♫ : Name」
- **グループ名の場合**：「🗀 : Name」
- **ディスク名の場合**：「💿 : Name」

カーソルが入力エリアで点滅し、文字の入力準備状態になります。

カーソルが点滅する。



5 **■ボタンを押す。**

入力エリアから文字パレットにカーソルが移動します。

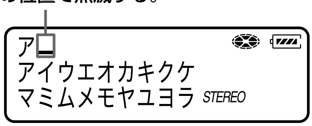
カーソルが移動し、文字と交互に点滅する。



6 **I◀◀/▶▶Iボタンを押して文字を選び、▶ボタンを押して決定する。**

文字パレットで選んだ文字が入力エリアに表示され、次の文字位置でカーソルが点滅します。

次の位置で点滅する。



次ページへつづく

文字入力に使うボタンと機能は次のとおりです。

機能[1]	ボタン
文字パレット上で、カーソルを移動する。	• ❚❚（上）/■（下）/ ◀◀（左）/▶▶❚（右）を押す。 • ジョグダイヤルを回す（上下移動のみ）。[2]
入力エリアで直接文字を選ぶ。	ジョグダイヤルを回す。
文字を決定する。	• ▶を押す。 • ジョグダイヤルを押す。
カーソルを入力エリアから文字パレットに移す。	■を押す。
カーソルを文字パレットから入力エリアに戻す。	CANCELを押す。
名前を確定する。	▶またはジョグダイヤルを2秒間押したままにする。
カーソルの前に1文字分の空白を入れる。	VOLUME +
カーソル上の文字を削除する。	VOLUME –
カーソル上の文字に濁点、半濁点をつける。	T MARK
記号 ：、—、／を表示させる。	T MARK
文字入力をやめる。	カーソルが入力エリアのとき、CANCELを押す。

[1] ボタンの機能はカーソルが入力エリアにあるときと、文字パレットにあるときで異なることがあります。
[2] よく使う言葉が登録されていると（ネームバンク機能）、全ての文字が表示された後に表示されます（57ページ）。

7 手順6をくり返して名前をつける。

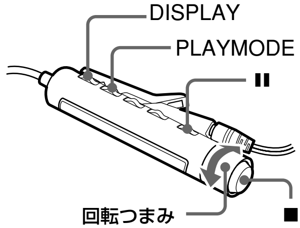
8 ジョグダイヤルを2秒以上押したままにする。

名前が入力されます。

途中でやめるときは

CANCELボタンを押し、「CANCEL?」「PushENTER」が表示されたらジョグダイヤルを押します。

リモコンで操作する



1 ディスクを入れ、次の操作を行う。

- **曲名を入力するとき**
  名前をつけたい曲の再生または録音を開始し、曲の再生・録音中に名前をつける。
- **グループ名を入力するとき**
  グループモードをONにし（40ページ）、名前をつけたいグループ中の曲の再生または録音を開始し、再生・録音中に名前をつける。
- **ディスク名を入力するとき**
  録音済みのディスクのときは、停止状態のまま手順2へ進む。新しいディスクのときは、録音を開始し、録音中に名前をつける。
  グループ設定をしてあるディスクの場合は、グループモードをONにする（40ページ）。

2 DISPLAYボタンを2秒以上押したままにする。

3 回転つまみを◀◀または▶▶▶❚側に回して「EDIT」を点滅させ、■ボタンを押して決定する。

4 回転つまみを⏮またはⅠ▶⏭側に回して次の表示を選び、■ボタンを押して決定する。

- **曲名の場合**：「♫：Name」
- **グループ名の場合**：「GP：Name」
- **ディスク名の場合**：「💿：Name」

カーソルが点滅し、文字の入力準備状態になります。

5 回転つまみを⏮またはⅠ▶⏭側に回して文字を選び、■ボタンを押して決定する。

選んだ文字が点灯して決定します。決定した文字の次の文字位置でカーソルが点滅します。

次の位置でカーソルが点滅する。



文字入力に使うボタンと機能は次のとおりです。

機能	ボタン
カナ[1]→アルファベット→数字と記号→よく使う言葉[2]の順に切り換える。	ⅠⅠを押す。
カーソルを移動する。	回転つまみを引き、回す。（VOL +/– ）
文字を1文字ずつ変える。	回転つまみを⏮/Ⅰ▶⏭側に回す。
カナ[1]の入力中に「ア」→「カ」→「サ」→「タ」の順に文字を切り換える。	回転つまみを⏮/Ⅰ▶⏭側に2秒以上回したままにする。
カーソルの前に1文字分の空白を入れる。	DISPLAYを押す。
文字入力をやめる。	DISPLAYを2秒以上押す。
カーソル上の文字を削除する。	PLAYMODEを押す。

[1] カナ入力は日本国内向けモデルのみ可能です。
[2] よく使う言葉が登録されていると（ネームバンク機能）、一番最初に登録された言葉が表示されます（59ページ）。

6 手順5をくり返して文字を入力する。

7 ■ボタンを2秒以上押したままにする。

名前が入力されます。

途中でやめるときは

DISPLAYボタンを2秒以上押したままにします。

ご注意

- 録音中に曲名、グループ名、ディスク名を入力している途中で録音が終了した場合や、録音中に曲名を入力している途中で次の曲が始まった場合は、それまでの入力が記録されます。
- 「LP:」をつけてMDLP録音した曲は（26ページ）、曲の頭に「LP:」がついてます。
- 市販のソフトや録音していないディスクに名前をつけたり、書き換えたりすることはできません。

💡

入力した名前やそこに使われている言葉を「ネームバンク」（56ページ）に登録できます。登録した言葉は、名前の入力中にネームバンクから呼び出して入力に利用できます。

名前を変更する

1 **ディスクを入れ、次の操作を行う。**

- **曲名を変更するとき**
  名前を変更したい曲を再生し、曲の再生中に名前を変更する。
- **グループ名を変更するとき**
  グループモードをONにし（40ページ）、名前を変更したいグループ中の曲の再生または録音を開始し、再生・録音中に名前を変更する。
- **ディスク名を変更するとき**
  停止状態のまま手順2へ進む。グループ設定してある場合はグループモードをONにする（40ページ）。

2 **「名前をつける」の「本体で操作する」または「リモコンで操作する」の手順2〜4を行って変更したい名前を表示させる。**

3 **「名前をつける」の「本体で操作する」の手順5〜8（「リモコンで操作する」の手順5〜7）を行って新しい名前を入力する。**

途中でやめるときは

本体：CANCELボタンを押し、「CANCEL?」「PushENTER」が表示されたらジョグダイヤルを押します。

リモコン：DISPLAYを2秒以上押したままにします。

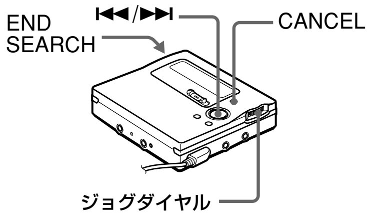
ご注意

- カナ入力したタイトルをカナ表示に対応していないミニディスク機器で表示させると、ローマ字表記になります。このとき先頭と最後に「 ˆ 」がつきます。
- 他の機器でつけた200文字以上の曲名やグループ名、ディスク名を本機で書き換えることはできません。

よく使う言葉を登録して使う（ネームバンク機能）

曲名、グループ名、ディスク名によく使う言葉を登録できます。登録した言葉は、その一部または全部を使って曲名などをつけるときに利用します。（「登録した言葉を呼び出して使う」（57、59ページ））10文字程度の文字数の言葉の場合、約40種類登録できます（最大約600文字）。文字数によって、登録できる言葉の種類の数は異なります。

本体で操作する



登録する

登録の方法は3通りあります。

- **曲名など入力中に登録する**
  「名前をつける」（53ページ）で曲名などの入力中に登録します。
- **すでに入力した曲名などの言葉を登録する**
  「名前をつける」（53ページ）で入力した曲名などを登録します。
- **あらかじめ登録しておく**
  よく使う言葉を登録しておきます。曲名などをつけるときに登録した言葉を呼び出して利用できます。

◆ 曲名などの入力中に登録する

1「名前をつける」（53ページ）の手順1〜7を行って文字を入力する。

2 CANCELボタンを押す。
カーソルが入力エリアに戻ります。

3 END SEARCHボタンを約2秒間押したままにする。
「Entry!」と表示され、カーソルのある位置の直前までの言葉が登録されます。

4 名前の入力を続けるときは、「名前をつける」（53ページ）の手順5〜8を行う。

◆ すでに入力した曲名などの言葉を登録する

1「名前を変更する」（56ページ）の手順1、2を行って登録したい言葉を表示する。

2 ⏮または⏭ボタンを押して登録したい言葉の直後にカーソルを移動する。

3 END SEARCHボタンを約2秒間押したままにする。

◆ あらかじめ登録しておく

1 ジョグダイヤルを押す。

2 ジョグダイヤルを回して「EDIT」を点滅させ、押して決定する。

3 ジョグダイヤルを回して「NameBank」を点滅させ、押して決定する。

4「名前をつける」（53ページ）の手順5〜8を行って、言葉を登録する。
「Entry!」と表示され、入力した文字がネームバンクに登録されます。

ご注意

この方法で文字を入力中は、すでにネームバンクに登録してある言葉を呼び出して利用することはできません。

登録した言葉を呼び出して使う

言葉を呼び出して使う方法は2通りあります。

- **言葉で探して使う**
  登録済みの言葉を探して曲名などをつけるときに使います。
- **先頭文字で探して使う**
  登録済みの言葉を先頭文字で探して曲名などをつけるときに使います。

◆ 言葉で探して使う

1「名前をつける」（53ページ）の手順1〜4を行う。
文字の入力準備状態になります。

2 END SEARCHボタンを押して、登録した言葉を表示させる。

3 ■ボタンを押してカーソルを文字パレットに移す。

4 ジョグダイヤルを回して目的の言葉を探す。
ジョグダイヤルを回すたびに、登録済みの言葉が順に1つずつ表示されます。

5 目的の言葉が表示されたら、ジョグダイヤルを押して決定する。
選んだ言葉が入力エリアに移動し、点灯します。

次ページへつづく

6 ジョグダイヤルを2秒以上押したままにする。
選んだ言葉が決定します。

7 名前の入力を続けるときは、「名前をつける」（53ページ）の手順5～8を行う。

◆ 先頭文字で探して使う

1 「名前をつける」（53ページ）の手順1～5を行う。

2 ジョグダイヤルを回して呼び出したい言葉の1文字目を点滅させる。

3 END SEARCHボタンを押して検索する。

4 ■ボタンを押してカーソルを文字パレットに移す。

5 ジョグダイヤルを回して選びたい言葉を点滅させ、■ボタンを押して決定する。
選んだ言葉が入力エリアに移動し、点灯します。

6 ジョグダイヤルを2秒以上押したままにする。
選んだ言葉が決定します。

7 名前の入力を続けるときは、「名前をつける」（53ページ）の手順5～8を行う。

登録した言葉を削除する

1 停止中にジョグダイヤルを押す。

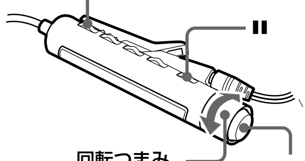
2 ジョグダイヤルを回して「EDIT」を点滅させ、押して決定する。

3 ジョグダイヤルを回して「BankErase」を点滅させ、押して決定する。

4 ジョグダイヤルを回して削除したい言葉を点滅させ、押して決定する。
「Erase!」と表示され、言葉が削除されます。

途中でやめるときは
CANCELボタンを押します。
「CANCEL?」が点灯、「PushENTER」が点滅したらジョグダイヤルを押します。

リモコンで操作する



登録する

◆ 曲名などの入力中に登録する

1 「名前をつける」の「リモコンで操作する」（54ページ）の手順1～6を行って文字を入力する。

2 ❚❚ボタンを約2秒間押したままにする。
「Entry!」と表示され、カーソルのある位置の直前までの言葉が登録されます。

3 名前の入力を続けるときは、「名前をつける」（55ページ）の手順6、7を行う。

◆ すでに入力した曲名などの言葉を登録する

1 「名前を変更する」(56ページ)の手順1、2を行って登録したい言葉を表示する。

2 回転つまみを引き、VOL +または–側に回して登録したい言葉の直後にカーソルを移動する。

3 ❚❚ボタンを約2秒間押したままにする。

◆ あらかじめ登録しておく

1 DISPLAYボタンを2秒間押したままにする。

2 回転つまみを⏮◀◀または▶▶⏭側に回して「EDIT」を点滅させ、■ボタンを押す。

3 回転つまみを⏮◀◀または▶▶⏭側に回して「Name Bank」を点滅させ、■ボタンを押して決定する。

4 「名前をつける」の「リモコンで操作する」(55ページ)の手順5〜7を行って言葉を登録する。
「Entry!」と表示され、入力した文字が登録されます。

ご注意

この方法で文字を入力中は、すでにネームバンクに登録してある言葉を呼び出して利用することはできません。

登録した言葉を呼び出して使う

◆ 言葉で探して使う

1 「名前をつける」の「リモコンで操作する」(54ページ)の手順1〜5を行う。
文字の入力状態になります。

2 ❚❚ボタンをくり返し押して登録した言葉を表示させる。

3 回転つまみを⏮◀◀または▶▶⏭側にくり返し回す。
回転つまみを回すたびに、登録済みの言葉が1つずつ表示されます。

4 入力したい言葉を選び、■ボタンを押して決定する。

5 目的の言葉が表示されたら、■ボタンを押して決定する。
選んだ言葉が決定します。

6 名前の入力を続けるときは、「名前をつける」の「リモコンで操作する」(55ページ)の手順6〜7を行う。

◆ 先頭文字で探して使う

1 「名前をつける」の「リモコンで操作する」(54ページ)の手順1〜5を行う。

2 曲名またはグループ名、ディスク名の入力中(54、55ページ)に回転つまみを回して、呼び出したい言葉の1文字目を点滅させる。

3 ❚❚ボタンをくり返し押して検索する。
該当する文字が表示されたら、回転つまみを▶▶⏭側に回すと登録済みの言葉が1つずつ表示されます。

次ページにつづく

4 入力したい言葉が表示されたら、■ボタンを押して決定する。

5 ■ボタンを約2秒間押したままにする。

選んだ言葉が決定します。

6 名前の入力を続けるときは、「名前をつける」の「リモコンで操作する」（55ページ）の手順5～7を行う。

登録した言葉を削除する

1 停止中にDISPLAYボタンを2秒以上押す。

2 「EDIT」を点滅させ、■ボタンを押して決定する。

3 回転つまみをI◀◀または▶▶▶I側に繰り返し回して「BankErase」を点滅させ、■ボタンを押して決定する。

4 回転つまみをI◀◀または▶▶▶I側に繰り返し回して削除したい言葉を選び、■ボタンを押して決定する。

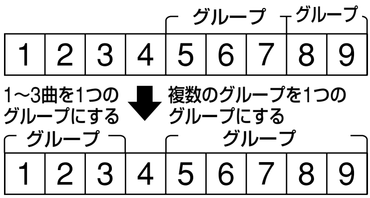
「Erase!」と表示され、言葉が削除されます。

途中でやめるときは

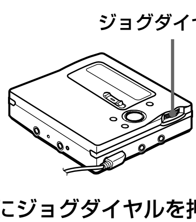
DISPLAYボタンを2秒以上押したままにします。

曲やグループを1つのグループにまとめる
（グループ設定）

すでに録音してある曲をグループにまとめたり、複数のグループを１つのグループにまとめることができます。初めにグループの先頭にしたい曲を選び、次に最後にしたい曲を選びます。
ただし、まとめることができるのは連続している曲（またはグループ）のみです。連続していない曲をまとめたい場合は、曲順を変え（「曲順を変える」（62ページ））、まとめたい曲やグループを連続させてから行ってください。
この操作はグループモードのON/OFFに関係なく操作することができます。

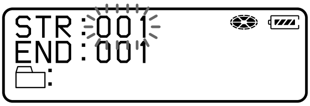


- 1と3、2と4、3と5～7、4と8～9など、連続していない曲番やグループなどはまとめることができません。
- グループモードがONになっていても曲番はディスクの通し番号で表示されます。



1 停止中にジョグダイヤルを押し、回して「EDIT」を点滅させ、もう一度押す。

2 **ジョグダイヤルを回して「🗀：Set」を点滅させ、ジョグダイヤルを押す。**
「001」が点滅します。



3 **ジョグダイヤルを回してグループの先頭にしたい曲を選んで点滅させ、ジョグダイヤルを押す。**
まとめたいグループの先頭曲が選ばれます。
グループモードがONになっていても、曲番はグループごとの番号ではなく、ディスクの通し番号で表示されます。

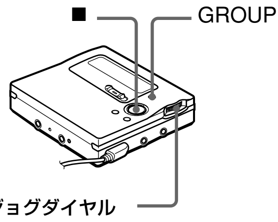
4 **ジョグダイヤルを回してグループの最後にしたい曲を点滅させ、ジョグダイヤルを押す。**
まとめたいグループの最終曲が選ばれ、グループ名を入力できるようになります。

5 **「名前をつける」（53ページ）の手順5〜8を行ってグループ名をつける。**

ご注意

- 手順3では、すでにあるグループの先頭曲かグループ設定されていない曲しか選べません。
- 手順4で最終曲を選ぶときは、手順3で選んだ曲より後の曲しか選ぶことができません。また、まとめたいグループの最終曲は、すでにあるグループの最終曲かグループ設定されていない曲しか選べません。

グループを解除する



1 **GROUPボタンを2秒以上押す。**
「🗀 」が点灯し、グループモードがONになります。

2 **「聞きたいグループを選んで聞く」の「本体で操作する」（41ページ）の手順1、2を行い、解除したいグループの内容を確認し、■ボタンを押す。**

3 **ジョグダイヤルを押し、回して「EDIT」を点滅させ、もう一度押す。**

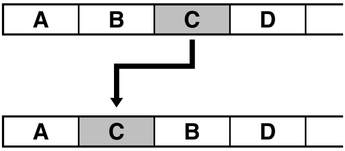
4 **ジョグダイヤルを回して「🗀 :Release」を点滅させ、ジョグダイヤルを押す。**
「Release?」が点灯、
「PushENTER」が点滅します。

5 **ジョグダイヤルを押す。**
グループが解除されます。

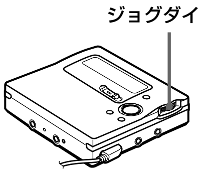
曲順を変える（ムーブ）

曲を移動して、曲順を変更できます。

例:3曲目（C曲）を2曲目に移動するとき



本体で操作する



1 移動したい曲の再生中に、ジョグダイヤルを押し、回して「EDIT」を点滅させ、もう一度押す。
1曲リピート再生になります。

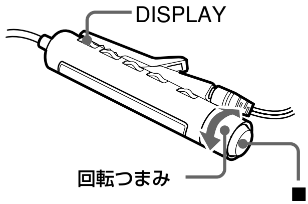
2 ジョグダイヤルを回して「♫：Move」を点滅させ、押す。
表示窓の中段に曲番または再生中の曲のグループ名（グループモードがONのとき）が点滅します。
曲名が入力されているときは、▶▶Iボタンを押すと、曲名を表示させることができます。I◀◀ボタンを押すと曲番に戻ります。

3 ジョグダイヤルを回して、移動先の曲番を点滅させる。
例ではC曲を2曲目に移動したいので、ジョグダイヤルを上方向に回して、表示窓の中段に「002」が点滅するようにします。

4 ジョグダイヤルを押す。
指定した位置に移動したい曲が移ります。

途中でやめるときは
手順3でCANCELボタンを押します。

リモコンで操作する



1 移動したい曲の再生中に、DISPLAYボタンを2秒以上押す。

2 回転つまみをI◀◀または▶ ▶▶I側に回して「EDIT」を点滅させ、■ボタンを押す。
1曲リピート再生になります。

3 回転つまみをI◀◀または▶ ▶▶I側に回して、表示窓に「♫：Move」を点滅させる。

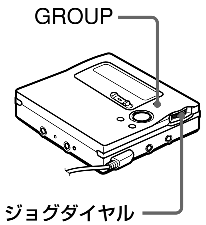
4 ■ボタンを押す。
例では表示窓に「003 →003」と表示されます。

5 回転つまみをI◀◀または▶ ▶▶I側に回して、移動先の曲番を点滅させる。
例では表示窓に「003 →002」と表示されます。
途中で中止するときはDISPLAYボタンを2秒以上押します。

6 ■ボタンを押す。
指定した曲番に移動したい曲が移ります。

別のグループに曲を移動する

本体で操作する



1 移動したい曲の再生中に、GROUPボタンを2秒以上押す。
「🗀 」が点灯し、グループモードがONになります。

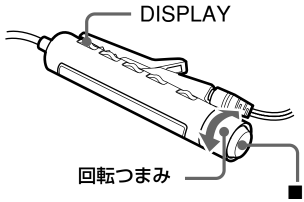
2 ジョグダイヤルを押し、回して「EDIT」を点滅させ、もう一度押す。
1曲リピート再生になります。

3 ジョグダイヤルを回して「♫ : Move」を点滅させ、押す。

4 ジョグダイヤルを回して移動先のグループを点滅させ、ジョグダイヤルを押す。

5 ジョグダイヤルを回して、グループ内の移動したい曲番を点滅させ、ジョグダイヤルを押す。

リモコンで操作する



1 移動したい曲の再生中に、DISPLAYボタンを2秒以上押す。

2 回転つまみをI◀◀または▶ ▶▶I側に回して「GROUP」を点滅させ、■ボタンを押す。

3 回転つまみをI◀◀または▶ ▶▶I側に回して「GROUP ON」を点滅させ、■ボタンを押す。
グループモードがONになります。

4 DISPLAYボタンを2秒以上押す。

5 回転つまみをI◀◀または▶ ▶▶I側に回して「EDIT」を点滅させ、■ボタンを押す。
1曲リピート再生になります。

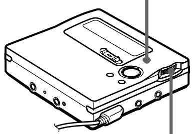
6 回転つまみをI◀◀または▶ ▶▶I側に回して、表示窓に「♫ : Move」を点滅させ、■ボタンを押す。

7 回転つまみをI◀◀または▶ ▶▶I側に回して移動先のグループを点滅させ、■ボタンを押す。

8 回転つまみをI◀◀または▶ ▶▶I側に回してグループ内の移動したい曲番を点滅させ、■ボタンを押す。

グループの順番を並べかえる（グループムーブ）

本体で操作する



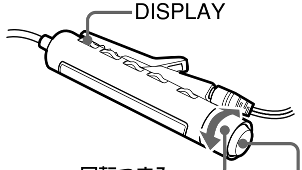
1 GROUPボタンを2秒以上押す。
「🗀」が点灯し、グループモードがONになります。

2 移動したいグループ内の曲を再生中に、ジョグダイヤルを押し、回して「EDIT」を点滅させ、もう一度押す。

3 ジョグダイヤルを回して「🗀 : Move」を点滅させ、ジョグダイヤルを押す。

4 ジョグダイヤルを回して移動したい場所に移し、ジョグダイヤルを押す。

リモコンで操作する



1 DISPLAYボタンを2秒以上押す。

2 回転つまみを⏮または▶⏭側に回して「GROUP」を点滅させ、■ボタンを押す。

3 回転つまみを⏮または▶⏭側に回して「GROUP ON」を点滅させ、■ボタンを押す。
グループモードがONになります。

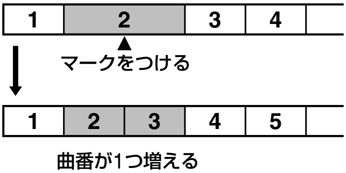
4 DISPLAYボタンを2秒以上押し、回転つまみを⏮または▶⏭側に回して「EDIT」を点滅させ、■ボタンを押す。

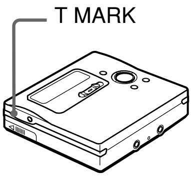
5 回転つまみを⏮または▶⏭側に回して「GP: Move」を点滅させ、■ボタンを押す。

6 回転つまみを⏮または▶⏭側に回して移動したい場所に移し、■ボタンを押す。

頭出しマーク(曲番)をつける

曲の途中に頭出しマークをつけて、そこから後ろを次の曲にすることができます。曲番は次のようになります。





1 **再生中または再生一時停止中に、マークをつけたい位置でT MARKボタンを押す。**

「MARK ON」が表示され、曲番が 1 つ増えます。そこから次の曲として記録されます。

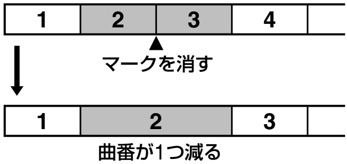
- マークをつけたい位置を探すときは、高速サーチ機能を使うと便利です。高速サーチ機能では曲名／曲番または経過時間を見ながら探すことができます（39ページ）。
- グループ内で頭出しマークをつけたときは、そのグループの中の曲番がひとつ増えます。

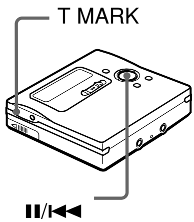
録音中にマークをつけることもできます。

録音（シンクロ録音を除く)中にマークをつけたい位置でT MARKボタンを押してください。また、オートタイムトラックマークを使って、一定時間おきに頭出しマークをつけることもできます（デジタル録音中を除く）（32ページ）。

頭出しマーク(曲番)を消す

アナログ入力（LINE IN）やマイク入力で録音したときは、静かな音が続く部分などに不要な頭出しマークがつくことがあります。その場合は、頭出しマークを消すと、前後の曲を1つの曲にまとめることができます。曲番は次のようになります。





1 **曲番を消したい曲を再生し、IIボタンを押して再生一時停止にする。**

2 **I◀◀ ボタンを押して曲の先頭（00:00）にする。**

例えば、2曲目と3曲目をつなぎたいときは、3曲目の先頭にします。
「MARK」が2秒間表示されます。

3 **「MARK」が表示されているときに、T MARKボタンを押す。**

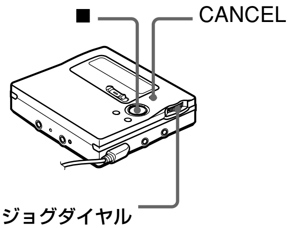
「MARK OFF」が表示され、指定した曲が前の曲につながります。

録音日時や曲名は、つないだ2曲の1曲目のものになります。

ご注意

- 別々のグループに登録された2つの曲をつなぐと、前の曲が属するグループに登録されます。また、グループ登録された曲とされていない曲をつなぐと、後ろの曲は前の曲の属性と同じになります。
- システム上の制約により、頭出しマークが消せない場合があります。その場合は「システム上の制約による症状と原因」(78ページ) をご覧ください。

曲やグループを消す



1曲を消す

一度消した曲は元に戻すことができません。消す前に、曲の内容をよく確認してください。

1 消したい曲の再生中にジョグダイヤルを押し、回して「EDIT」を点滅させ、もう一度押す。

2 ジョグダイヤルを回して「♫：Erase」を点滅させ、ジョグダイヤルを押す。
表示窓に曲名 (または曲番) と「Erase OK?」が点灯、「PushENTER」が点滅します。
消すのを中止するときは、CANCELボタンを押します。

3 もう一度ジョグダイヤルを押す。
曲が消去され、次の曲の再生になります。消した曲より後の曲番は1つずつくり上がります。

曲の一部分を消すには

無音部分など不要な部分だけを消したいときは、不要な部分の始まりと終わりに頭出しマークをつけて (65ページ)、その部分を消してください。

全曲を消す

ディスク上の全ての曲を消します。
一度消したディスクは元に戻すことができません。必ずディスクの内容を確認してから行ってください。

1 消したいディスクを再生し、ディスクの内容を確認してから、■ボタンを押す。

2 停止中に、ジョグダイヤルを押し、回して「EDIT」を点滅させ、もう一度押す。

3 ジョグダイヤルを回して、「：Erase」を点滅させ、ジョグダイヤルを押す。
表示窓にディスク名と「AllErase?」が点灯、「PushENTER」点滅します。消すのを中止するときはCANCELボタンを押します。

4 ジョグダイヤルをもう一度押す。
「TOC Edit」表示が点滅し、全曲が消去されます。消去が終わると「BLANK DISC」が点滅し、「00 : 00」と表示されます。

グループを消す

一度消したグループは元に戻すことができません。必ずグループの内容を確認してから行ってください。

1 **GROUPボタンを2秒以上押す。**
「🗀」が点灯し、グループモードがONになります。

2 **「聞きたいグループを選んで聞く」の（41ページ）の手順1、2を行い、削除したいグループの内容を確認し、■ボタンを押す。**

3 **停止中にジョグダイヤルを押し、回して「EDIT」を点滅させ、もう一度押す。**

4 **ジョグダイヤルを回し「🗀：Erase」を点滅させ、ジョグダイヤルを押す。**
表示窓にグループ名と「GP Erase?」が点灯し、「PushENTER」が点滅します。消すのを止めるときはCANCELボタンを押します。

5 **ジョグダイヤルをもう一度押す。**
グループが削除されます。

音飛びを抑える（G-PROTECTION機能）

G-PROTECTIONはジョギング時の衝撃を想定して開発された音飛びガード機能です。従来の音飛びガード機能よりさらに音飛びに強くなっています。

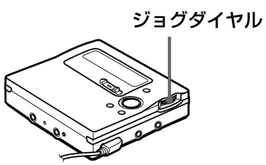
ご注意

次のような場合、音が飛ぶことがあります。
- 強い衝撃が連続的に与えられた場合
- 傷や汚れのあるディスクを聞いている場合

タイマーを使う（メロディタイマー）

電車などで乗り越しを防いだりするのに便利です。3種類のタイマーを設定することができます。タイマーが鳴るまでの時間は1分から99分の間で設定することができます。

本体で操作する

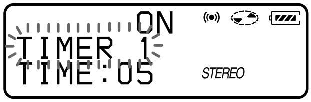


1 **停止中、再生中、再生一時停止中にジョグダイヤルを押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「M-TIMER」を点滅させ、ジョグダイヤルを押す。**

3 **ジョグダイヤルを回して「ON」を点滅させ、ジョグダイヤルを押す。**
((•))が点灯し、音の種類を設定できるようになります。

4 **ジョグダイヤルを動かして、音の種類を選ぶ。**

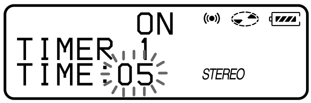


音の種類は次の3種類から選ぶことができます。

表示	音の種類
TIMER 1	メロディ（トルコ行進曲）
TIMER 2	メロディ（きらきら星変奏曲）
TIMER 3	ビープ音

5 **ジョグダイヤルを押す。**
音の種類が確定します。

6 **ジョグダイヤルを回して、音が鳴るまでの時間を選ぶ。**



ジョグダイヤルを回すたび、「TIME:01」から「TIME:99」（1分から99分）までが表示され、1分刻みで設定することができます。

7 **ジョグダイヤルを押す。**
メロディタイマーが設定されます。
停止中は音が鳴るまでの時間が表示されます。

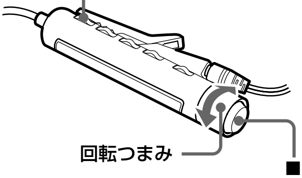
再生中に残り時間を確認するには

手順3までをもう一度行ってください。音が鳴るまでの時間と音の種類が表示されます。

途中でやめるときは

CANCELボタンを押します。

リモコンで操作する



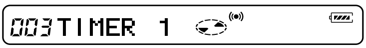
1 **停止中、再生中、再生一時停止中にDISPLAYボタンを2秒以上押す。**

2 **回転つまみを|◀◀または▶▶▶|側に回して「M-TIMER」を点滅させ、■ボタンを押す。**

3 **回転つまみを|◀◀または▶▶▶|側に回して「ON」を点滅させ、■ボタンを押す。**

(•)が点灯し、音の種類を設定できるようになります。

4 **回転つまみを|◀◀または▶▶▶|側に回して、音の種類を選ぶ。**

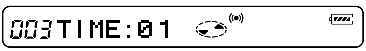


音の種類については「本体で操作する」の手順4をご覧ください。

5 **■ボタンを押す。**

音の種類が確定します。

6 **回転つまみを|◀◀または▶▶▶|側にくり返し回して音が鳴るまでの時間を選ぶ。**



回転つまみを回すたび、「TIME:01」から「TIME:99」(1分から99分)までが表示され、1分刻みで設定することができます。

7 **■ボタンを押す。**

メロディタイマーが設定されます。
停止中は音が鳴るまでの時間が表示されます。

再生中に残り時間を確認するには

手順5までをもう一度行ってください。
音が鳴るまでの時間が表示されます。

途中でやめるときは

DISPLAYボタンを2秒以上押します。

予約を解除するには

手順3で「OFF」を選び、本体ではジョグダイヤルを、リモコンでは■ボタンを押します。

タイマーの音を止めるには

いずれかのボタンを押します。ボタンを押すと、音は止まりますが、そのボタン本来の機能は働きません。

- 手順3で操作を終了すると前回と同じ設定でタイマーが設定されます。
- タイマーの音は1分間鳴り、その後は設定が解除されます。停止中に音が鳴り終わると、約10秒で電源が切れます。再生中に音が鳴り終わると、そのまま再生が続きます。

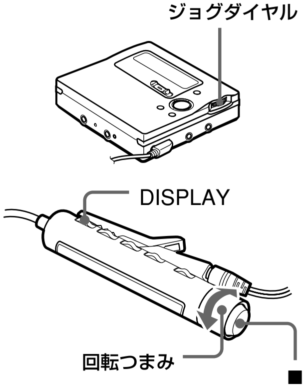
ご注意

- 録音を開始すると、設定は解除されます。
- 手順3で「ON」を選んだ時点で、タイマーはカウントを始めます。また、手順6で音が鳴るまでの時間を変更した時点で、カウントをやり直します。

音もれを抑え耳にやさしい音にする

（音量リミット — AVLS）

音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことへの危険を少なくし、より快適な音量で聞くことができます。



本体で操作する

1 **ジョグダイヤルを押し、回して「OPTION」を点滅させ、もう一度押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「AVLS」を点滅させ、もう一度押す。**

3 **ジョグダイヤルを回して「AVLS ON」を点滅させ、押す。**
音量を一定のレベル以上に上げようとすると、表示窓に「AVLS」が点滅し、それ以上音量が上がらなくなります。

リモコンで操作する

1 **DISPLAYボタンを2秒以上押す。**

2 **回転つまみを⏮または▶⏭側に回して「OPTION」を点滅させ、■ボタンを押す。**

3 **回転つまみを⏮または▶⏭側に回して「AVLS」を点滅させ、■ボタンを押す。**

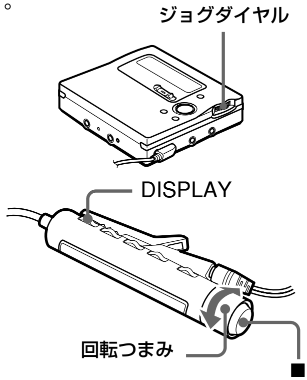
4 **回転つまみを⏮または▶⏭側に回して「AVLS ON」を点滅させ、■ボタンを押す。**

設定を解除するには

本体では手順3で、リモコンでは手順4で「AVLS OFF」を点滅させてジョグダイヤル（本体）または■ボタン（リモコン）を押します。

リモコンの確認音を消す

リモコンの確認音を消すことができます。



本体で操作する

1 **ジョグダイヤルを押し、回して「OPTION」を点滅させ、もう一度押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「BEEP」を点滅させ、ジョグダイヤルを押す。**

3 ジョグダイヤルを回して「BEEP OFF」を点滅させ、ジョグダイヤルを押す。

リモコンで操作する

1 DISPLAYボタンを2秒以上押す。

2 回転つまみを⏮または▶⏭側に回して「OPTION」を点滅させ、■ボタンを押す。

3 回転つまみを⏮または▶⏭側に回して「BEEP」を点滅させ、■ボタンを押す。

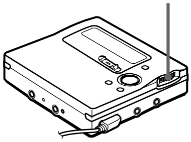
4 回転つまみを⏮または▶⏭側に回して「BEEP OFF」を点滅させ、■ボタンを押す。

確認音が鳴るようにするには

本体では手順3で、リモコンでは手順4で「BEEP ON」を点滅させて、ジョグダイヤル（本体）または■ボタン（リモコン）を押します。

表示窓の濃淡を調節する（コントラスト調整）

本体の液晶表示のコントラストを調節することができます。



1 停止中に本体のジョグダイヤルを押し、回して「OPTION」を点滅させ、もう一度押す。

2 ジョグダイヤルを回して「CONTRAST」を点滅させ、ジョグダイヤルを押す。

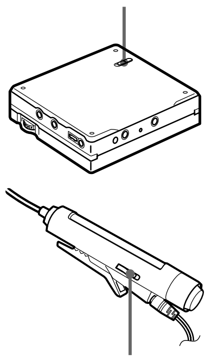
3 ジョグダイヤルを回して表示窓の濃淡を選び、ジョグダイヤルを押す。

ご注意

リモコンで本体のコントラストは調節できません。また、リモコンの表示窓のコントラストは調節できません。

誤操作を防ぐ（ホールド）

カバンに入れて使うときなどに、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぎます。



1 HOLDスイッチを━▶方向にずらす。

本体のHOLDスイッチは本体の操作ボタンが、リモコンのHOLDスイッチはリモコンの操作ボタンが働かなくなります。

設定を解除するには

HOLDスイッチを矢印と逆の方向にずらします。

電源について

家庭用電源（コンセント）以外に本機で使える電源は、以下の通りです。

- 本体に入れて…
  －充電式ニッケル水素電池 NH-14WM(A)
- バッテリーケースを使って…
  －単3形アルカリ乾電池

録音などで長時間お使いになるときは、家庭用電源（コンセント）につなぐことをおすすめします。

電池の持続時間[1]

長時間録音するときは、家庭用電源（コンセント）につないで使うことをおすすめします。

(JEITA[2])

録音[3]

使用電池	SP ステレオ	LP2 ステレオ	LP4 ステレオ
充電式ニッケル水素電池[4]	約8.5時間	約11時間	約14時間
アルカリ乾電池[5]	約7.5時間	約12時間	約15時間
充電式ニッケル水素電池[4]＋アルカリ乾電池[5]	約20時間	約28時間	約37時間

再生

使用電池	SP ステレオ	LP2 ステレオ	LP4 ステレオ
充電式ニッケル水素電池[4]	約24時間	約27時間	約31時間
アルカリ乾電池[5]	約34時間	約40時間	約45時間
充電式ニッケル水素電池[4]＋アルカリ乾電池[5]	約64時間	約75時間	約84時間

1) 電池持続時間は周囲の温度や使用状態、電池の種類により、短くなる場合があります。
2) JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。
3) 録音する場合には電池の消耗による失敗を防ぐため、新しい乾電池または充分に充電した充電式電池をお使いください。
4) 充電式ニッケル水素電池NH-14WM(A)100%充電時。
5) 日本製ソニースタミナアルカリ乾電池LR6(SG)で測定しています。

電池交換の目安について

電池が消耗すると、本体やリモコンの表示窓に「▭」が点滅したりまたは「LOW BATT」が点滅します。新しい電池と交換するか、充電しなおしてください。
電池残量表示は実際の残量ではなく、あくまでも目安として表示しています。動作状況により増減することがあります。

ご注意

電池を交換するときは、本体を停止してから交換してください。

使用上のご注意

分解しないでください

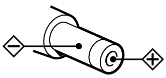
ミニディスクレコーダーに使われているレーザーが目にあたると危険です。

レンズに触れないでください

レンズが汚れると音飛びが起きたり、再生できなくなったりする場合があります。
また、ほこりがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。

ACパワーアダプターについて（付属の充電スタンド専用）

この製品には、付属のACパワーアダプター／別売りのACパワーアダプターAC-E30L（日本国内用）またはAC-E30HG（海外用）（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。



極性統一形プラグ

上記以外の製品を使用すると、故障の原因になることがあります。
ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は、速やかにコンセントから抜いてください。

日本国内での充電式電池の廃棄について

Ni-MH

ニッケル水素電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店については、社団法人電池工業会ホームページ: http://www.baj.or.jpを参照してください。

海外での充電式電池の廃棄について

各国の法規制にしたがって廃棄してください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- リモコンやヘッドホンのコードを強く引っぱらないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  - — 温度が非常に高いところ（60℃以上）。
  - — 直射日光のあたる場所や暖房機具の近く。
  - — 窓を閉めきった自動車内（特に夏期）。
  - — 風呂場など湿気の多いところ。
  - — 磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
  - — ほこりの多いところ。
- 温度が高いところ（40℃以上）や低いところ（0℃以下）では液晶表示が見にくくなったり、表示の変わりかたがゆっくりになることがあります。常温に戻れば元に戻ります。
- キャリングポーチには本体と一緒に硬いものを入れないでください。塗装のはげや傷の原因になります。

温度上昇について

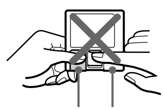
充電中および長時間お使いになったときに、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

動作音について

本機は省電力の動作方式になっています。そのため、動作中は断続的に動作音がしますが故障ではありません。

ミニディスクの取り扱いについて

- ミニディスク自体はカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれや反りなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。
  - — **ミニディスクに直接触れない**
    シャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。



  - — **持ち運ぶときや保管するときはケースに入れる**

— **置き場所について**
直射日光があたるところなど温度の高いところや湿度の高いところには置かないでください。また、砂浜など、ディスクに砂が入る可能性があるところには放置しないでください。

— **定期的にお手入れを**
カートリッジ表面についたほこりやゴミを、乾いた布でふきとってください。

- ディスクに付属のラベルは所定以外の位置に貼らないでください。必ず、ラベル用のくぼみに合わせて貼ってください。

ヘッドホンについて

- 付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターに相談してください。
- 付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎてまわりの人に迷惑にならないように気をつけましょう。
雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

リモコンについて

付属のリモコンは本機専用です。また、他機種に付属のリモコンで、本機の操作はできません。

乾電池ケースについて

付属の乾電池ケースは本機専用です。

お手入れについて

表面が汚れたときは

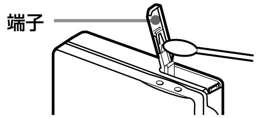
水気を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面をいためますので使わないでください。

ヘッドホンおよびリモコンプラグのお手入れ

プラグが汚れていると雑音や音切れの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、プラグをときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。

端子のお手入れ

定期的に各端子を綿棒ややわらかい布などできれいにしてください。



万一故障した場合は、内部を開けずに、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーのサービス窓口にご相談ください。（ディスクが本体に入っているときに故障した場合は、故障原因の早期解決のため、ディスクを入れたままご相談されることをおすすめします。）

故障かな?と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。ご不明な点があるときは裏表紙に記載されているテクニカルインフォメーションセンターへお問い合わせください。

症状	原因	処置
ふたが開かない	録音・編集中に電源をはずしたり電池が消耗している。	電源を入れ直し、消耗した電池は新しいものと交換する。
	ふたがしっかりと閉まっていない。	カチッと音がするまでふたを閉めてからOPENボタンを押す。
操作を受けつけない、または正しく動作しない	ホールド機能が働いている（本体の操作ボタンを押すと「HOLD」表示が出る）。	本体のHOLDスイッチを矢印と逆の方向にしてホールド機能を解除する（17、71ページ）。
	ふたがしっかりと閉まっていない。	カチッと音がするまでふたを閉めてからOPENボタンを押す。
	結露（内部に水滴が付着）している。	ディスクを取り出して、そのまま数時間おく。
	ACパワーアダプターがしっかり差し込まれていない。	DC IN 3Vジャックとコンセントにしっかり差し込む。
	充電池または乾電池が消耗している（「LOW BATT」表示が点滅または何も表示されない）。	充電池を充電するか、乾電池を新しいものと交換する（16、17ページ）。またはACパワーアダプターを本体につなぐ。
	乾電池が正しく入れられていない。	乾電池の⊕端子と⊖端子を正しく入れなおす（17ページ）。
	何も録音されていないディスクが入っている（「BLANK DISC」表示が出る）（再生・編集のとき）。	録音済みのディスクと取り換える。
	表示窓のディスク表示が早く回転しているときは操作を受け付けない。	ディスク表示がゆっくり回転してから次の操作をする。
	使用中、衝撃や過大な静電気、落雷による電源電圧の異常などのために強いノイズを受けている。	次の手順で操作しなおす。 1　すべての電源をはずす。 2　約30秒間そのままにする。 3　電源をつなぐ。
	損傷しているディスク、または録音や編集の内容などの情報が正しく入力されていないディスクが入っている。	ディスクを入れなおす。録音しなおす。それでもエラー表示が出るときは、他のディスクと取りかえる。
	充電スタンドに乗せて操作している。	充電スタンドからはずして使用してください。
	プログラム設定中にグループモードをONに切り換えようとした。	プログラム設定をする前に、グループモードにしてください。
通常の再生ができない	リピート再生を指定している。	本体ではジョグダイヤルを使って、リモコンではRPT/ENTボタンを押して、⮌（リピート）表示を消してから再生を始める（43、44ページ）。
	再生モードを変えた	本体ではジョグダイヤルを使って、リモコンではPLAYMODEボタンを押して、通常の再生に戻してから再生を始める。

症状	原因	処置
ディスクの1曲目から再生しない	前回再生したときディスクの途中で止めた。	一度停止させ、本体の►ボタンを2秒以上押したままにする。またはリモコンの►▶▶Iボタンを2秒以上回したままにする。
	グループモードがONになっている。	グループモードをOFFにしてから一度停止させ、本体の►ボタンを2秒以上押したままにする。またはリモコンの►▶▶Iボタンを2秒以上回したままにする。
	パーソナルディスクメモリーに登録した。	パーソナルディスクメモリーから削除する。
再生中に音がとぎれる	振動の多い場所に置いている。	振動の少ない場所で使う。
	ナレーションやイントロなど1曲の録音時間が極端に短い。	—
雑音が多い	テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。	テレビなどから離して置く。
充電ができない、または充分に充電ができない	充電スタンドの充電用端子が汚れている	充電用端子を乾いた布などで拭いてください。
上書き録音した	録音開始位置の設定（「REC Posi」）が「From Here」になっている。	録音開始位置の設定（「REC Posi」）を「From End」にする（30ページ）。
録音・編集できない	音源と正しくつながれていない。	つなぎなおす（19、25ページ）。
	ポータブルCDプレーヤーからデジタル出力が出ていない。	ポータブルCDプレーヤーを家庭用電源につなぎ、音飛びガード機能（ESPなど）を「切」にする。
	抵抗入りの接続コードを使っている（アナログ入力録音時）。	抵抗が入っていない接続コードを使う。
	ディスクの誤消去防止つまみが開いている（「PROTECTED」表示が出る）。	つまみを戻す。
	録音レベルが小さすぎる（手動調節時）。	ジョグダイヤルで録音レベルを調節する（33ページ）。
	再生専用ディスクが入っている（「P/B ONLY」表示が出る）。	録音用ディスクと取り換える。
	ディスクの残り時間が12秒（24秒または48秒）以下である（「DISC FULL」表示が出る）（78ページ）。	他の録音用ディスクと取り換える。
	録音、または編集中に電源が抜かれた、または停電になった。	それまでの録音の内容は消えているので、初めから録音しなおす。
頭出しマークのある位置を頭出しできない	I◀◀または▶▶I ボタンを押してから一時停止した。	IIボタンを押して一時停止してからI◀◀または▶▶I ボタンを押して頭出しする。
ヘッドホンから音が出ない	リモコン付きヘッドホンがしっかり差し込まれていない。	∩/LINE OUTジャックにしっかり差し込む。
		リモコン本体にヘッドホンプラグをしっかり差し込む。

症状	原因	処置
ヘッドホンから音が出ない	音量が小さすぎる。	VOL ＋/－ボタンで音量を調節する。
	リモコンプラグが汚れている。	リモコンプラグをからぶきする。
音が大きくならない	AVLSが働いている	ジョグダイヤルを使って「AVLS OFF」を選択する（70ページ）。
ヘッドホンからの音に雑音が入る	☊/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定が、「LINE OUT」になっている。	☊/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定を、「HeadPhone」にする。
時計が正確に動かない	3分以上、本体から電源が外れていたため、お買い上げ時の設定に戻ってしまった。	ACパワーアダプターをコンセントにつないで充電し、時計を合わせる（36ページ）。
時計表示が出ない（--y--m--dになる）または録音日時が記録されない	時計合わせをしていない。またはお買い上げ時の設定に戻ってしまった。	時計を合わせる（36ページ）。
CDテキストの文字が記録されない	光デジタルケーブルがつながれていない。	光デジタルケーブルをつなぐ（37ページ）。
	CDテキスト対応のCDウォークマン（D-E999など）とつながれていない。	CDテキスト対応のCDウォークマン（D-E999など）とつなぐ（37ページ）。
	CDテキスト対応のCDを入れていない。	CDテキスト対応のCDを入れる。
音量が調節できない、またはデジタルサウンドプリセットが働かない	☊/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定が「LINE OUT」になっている。	☊/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定を「HeadPhone」にする（23ページ）。または、リモコン付きヘッドホンをつなぐ。
他機種で編集ができない	ステレオ長時間録音モードに対応していない機器で編集しようとした。	本機、または他のステレオ長時間録音モードに対応している機器で編集する。
録音時、瞬間的なノイズが発生する	LP4ステレオ録音では、圧縮方式の特性上、録音元の音源によっては、ごくまれに瞬間的なノイズが発生する。	SPステレオ録音またはLP2ステレオ録音を行う。
早送りまたは早戻しをすると何曲か先または前の曲に飛んでしまう。	グループスキップモードが働いている。	何も操作せずに5秒以上待つと、自動的にグループスキップモードが解除される（41ページ）。
グループ機能またはグループスキップ機能が働かない	グループ情報が記録されていないディスクを使用している（「No Group」が表示される）。	グループ情報が記録されているディスクを使用する。
	プログラム設定中にグループモードをONに切り換えようとした。	プログラム設定する前に、グループモードにする。
液晶表示が通常表示と違う	電源を抜いた。	しばらく放置する。または電源を入れていずれかの操作ボタンを押す。

システム上の制約による症状と原因

ミニディスクシステムでは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

症状	原因
最大録音可能時間(60分、74分、80分)に達していなくても、「TR FULL」表示が出て録音が開始できない。	254曲録音されるとそれ以上の録音はできません。 さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音してください。
曲数も録音時間も余裕があるのに、「TR FULL」表示が出て、録音が止まる。	同じディスクで録音、消去をくりかえすと、1曲のデータが連続して記録されず、空いているところに分割して記録されることがあります。ミニディスクは、このような場合でも離れたデータをすばやく探し出し、順に再生します。ただし、分割したそれぞれのデータは曲の区切り（1曲）と同じ扱いになり、データが全部で254個になると、録音できなくなります。さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音してください。
頭出しマーク(曲番)が消せない。	つなごうとする曲のデータがディスク上に分散し、それぞれのデータの長さが12秒以下（ステレオ録音時）、24秒以下（LP2ステレオ録音、モノラル録音時）、または48秒以下（LP4ステレオ録音時）のとき、その曲の頭出しマーク（曲番）を消して前の曲とつなぐことはできない場合があります。異なる録音モードで録音された曲の間(LP2ステレオ録音された曲とLP4ステレオ録音された曲の間など)の頭出しマークは消すことができません。「SORRY」が表示されます。
曲を消しても、ディスクの録音できる残り時間が増えない。	ディスクの録音できる残り時間を表示するとき、12秒以下（ステレオ録音時）、24秒以下（LP2ステレオ録音、モノラル録音時）、または48秒以下（LP4ステレオ録音時）の部分は無視します。このため、短い曲を何曲消しても録音できる残り時間が増えないことがあります。
ディスクに録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間(60分、74分、80分)に一致しない。	通常、録音はステレオ録音時で約2秒、LP2ステレオ録音またはモノラル録音時で約4秒、LP4ステレオ録音時で約8秒を最小単位としてディスクに記録します。録音を止めたところでは、記録の最後の部分が実際には2秒（4秒または8秒）に満たない場合でも約2秒（4秒または8秒）分のスペースを使います。また、録音を止めた後再び録音を始めるときには、録音を始めたところで約2秒（4秒または8秒）分のスペースを空けて記録を始めます。これは、録音を始めるときに誤って前の曲を消さないためです。このため、実際に録音できる時間は録音を止めるたびに、最大録音可能時間よりも最大で6秒（12秒または24秒）短くなります。
編集した曲を再生しながら早送り、早戻しすると、音がとぎれる。	再生しながら早送り、早戻しするときは通常より高速で再生するため、短い曲がディスク上のいろいろなところに点在していると、探すのに時間がかかり、音がとぎれることがあります。

メッセージ一覧

本体の表示窓にメッセージが出たら、下の表にしたがってチェックしてみてください。

表示	意味	対策
BANK FULL	ネームバンクに登録されている文字が約600文字を超えた。	文字数を減らして入力しなおす。
BLANK DISC	何も録音されていないディスクが入っている。	—
BUSY	録音または編集の内容の処理をしている。	しばらく待つ。まれに1分ほどかかる場合があります。
Data Save	録音した情報（音声）をディスクに記録している。	しばらく待つ（衝撃を与えたり、電源を抜いたりしない）。
DISC ERR	損傷しているディスク、録音や編集の内容などの情報が正しく入っていないディスクが入っている。	ディスクを入れなおす。録音しなおす。
DISC FULL	ディスクの残り時間が12秒（24秒または48秒）以下である（録音時）（77ページ）。	他の録音用ディスクと取り換える。
EMPTY	ネームバンクに文字が登録されていないのに、削除しようとした。	—
Hi DC in	電源電圧が高い（指定のACパワーアダプターまたはカーバッテリーコードを使っていない）。	指定のACパワーアダプターまたはカーバッテリーコードを使う。
HOLD	ホールド機能が働いている。	本体のHOLDスイッチを矢印と逆の方向にしてホールド機能を解除する（17、71ページ）。
LINE OUT	☊/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定が「LINE OUT」になっている状態で、VOL +/– ボタンを押した。	ジョグダイヤルを使って、☊/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定を「HeadPhone」にする（23ページ）。
LOW BATT	電池が消耗した。	充電池を充電し直すか、新しい乾電池と入れ換える（16、17ページ）。
MEM OVER	振動のあるところで録音を始めた。	振動のないところで録音をする。
MENU	本体でメニューの選択中にリモコンキーのどれかを押した。	本体で操作する。
	リモコンでメニューの選択中に本体キーのどれかを押した。	リモコンで操作する。
NAME FULL	曲名やディスク名を200文字を越えて入力しようとした。 曲名とディスク名を合計1700文字を越えて入力しようとした。	ディスク名、グループ名、曲名を短くして入力する（52ページ）。またはMDLP録音時、曲名の最初に「LP:」をつけない設定にする（26ページ）。

表示	意味	対策
NO BATT	充電式電池が入っていない	充電式電池を入れる
NO COPY	シリアルコピーマネージメントシステム（SCMS）によりダビングは禁止されている。	アナログ入力（LINE IN）を使って録音する（25ページ）。
NO DISC	ディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
No Entry!	パーソナルディスクメモリーを登録していないディスクでパーソナルディスクを操作しようとした。	—
NO SIGNAL	デジタル入力信号が途切れた。	光デジタル入力の接続を確かめる。アナログ入力（LINE IN）するときは無視する。
NO TEXT	ジョイントテキスト機能を使おうとしたとき、録音もとのCDに曲名またはディスク名が入っていない。	—
P/B ONLY	再生専用ディスクが入っている。	録音用ディスクと取り換える。
PROTECTED	ディスクが誤消去防止状態になっている（84ページ）。	誤消去防止つまみを戻す。
SORRY	∩/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定が「LINE OUT」になっている状態で、デジタルサウンドプリセットを設定しようとした。	ジョグダイヤルを使って、∩/LINE OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定「HeadPhone」にする（23ページ）。
	ディスクの1曲目の頭で、頭出しマークを消そうとした。 種類の異なる曲と曲の頭出しマークを消そうとした（例えばステレオ録音された曲とモノラル録音された曲の間の頭出しマークを消そうとした）。 頭出しマークの上に頭出しマークを上書きしようとした。 シンクロ録音中、またはCDテキストの情報を記録しながらの録音中に❚❚ボタンまたはT MARKボタンを押した。	—
	プログラム設定中にグループモードを切り換えようとした。	プログラム設定する前にグループモードを切り換えてください。
TEMP OVER	本機の温度が高くなりすぎた。	涼しいところで本機をしばらく休ませてから使う。
TOC Edit	録音した情報（曲の開始・終了位置など）をディスクに記録している（83ページ）。	しばらく待つ（衝撃を与えたり、電源を抜いたりしない）。
TR FULL	曲番が254を超えた。	曲番を削除して254以下にする。
TrPROTECT	トラックプロテクト（曲の誤消去防止）がかかっている曲に録音・編集をしようとした。	他の曲で録音・編集する。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

- **調子が悪いときはまずチェックを**
  この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- **それでも具合の悪いときは**
  テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- **保証期間中の修理は**
  保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間経過後の修理は**
  修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- **部品の保有期間について**
  当社ではポータブルミニディスクレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、サービス窓口にご相談ください。

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ

海外での保証とアフターサービスについて

- 保証期間は、日本国内ではお買い上げ日より1年間、海外では90日です。
- 海外での修理やアフターサービスについてご不明な点は、保証書に記載の海外ソニーサービス特約店にお問い合わせください。

主な仕様

形式
ミニディスクデジタルオーディオシステム

録音方式
磁界変調光学方式

再生読み取り方式
非接触光学読み取り(半導体レーザー使用)

レーザー
GaAIAsMQWダイオード、
λ=790nm

録音再生時間
MDW-80使用時：
モノラル最大 160分
ステレオ最大 320分

回転数
約350rpm～2800rpm(CLV)

エラー訂正方式
ACIRC（アドバンスドクロスインターリーブリードソロモンコード）

サンプリング周波数
44.1kHz

サンプリングレートコンバーター
入力：32kHz/44.1kHz/48kHz

コーディング
ATRAC（アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング）
ATRAC3 — LP2
ATRAC3 — LP4

変調方式
EFM

チャンネル数
ステレオ2チャンネル
モノラル1チャンネル

周波数特性（光デジタル・アナログ入力時）
20～20,000Hz±3dB

ワウフラッター
測定限界以下

入力端子
MIC：ステレオミニジャック（最小入力レベル 0.25mV）
LINE IN：アナログ時　ステレオミニジャック（最小入力レベル 49mV）
光デジタル時 光ミニジャック

出力端子
🎧/LINE OUT[1]：ステレオミニジャック（専用リモコンジャック）、194mV (10kΩ)

実用最大出力（DC時）[2]
ヘッドホン：5mW+5mW（16Ω）

電源
充電式ニッケル水素電池
NH-14WM(A) 1.2 V, 1350 mAh (MIN) Ni-MH(付属)
乾電池　アルカリ単3形1本（別売り）

電池持続時間
「電池の持続時間」（72ページ）参照

本体寸法
約78.9 × 72.0 × 17.1 mm
（幅/高さ/奥行き、突起部を含まず）

最大外形寸法[2]
約80.0 × 75.5 × 20.5 mm
（幅/高さ/奥行き）

質量
約110g
使用時　約137g（充電式電池含む）

[1] ヘッドホンとLINE OUTは兼用ジャック
[2] JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

本機は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

別売りアクセサリー

日本国内用

充電式ニッケル水素電池NH-14WM
ガム型充電式ニッケル水素電池用充電器BC-9HM
光デジタルケーブル
　光角形プラグ←→光ミニプラグ
　POC-5/10/15AB
　光ミニプラグ←→光ミニプラグ
　POC-5/10/15B
　光ミニプラグ（入／出力）←→L型7
　ピンコネクターPOC-DA12SP
接続コード(アナログ)
　ステレオミニプラグ←→ピンプラグ
　(×2) RK-G129
　ステレオミニプラグ←→ステレオミニプラグ RK-G136
CDテキスト接続ケーブル RK-TXT1
カーコネクティングパックCPA-8
カーバッテリーコードDCC-E230
ステレオマイクロホンECM-717、ECM-MS907、ECM-MS957
ステレオヘッドホン*MDR-EX70SL、MDR-E888SP
アクティブスピーカーSRS-Z500/Z750/Z1000
ミニディスク(生ディスク)ESシリーズ
MDソフトキャリングポーチMD-4SCPL/N
車載用ロータリーコマンダーRM-WMC1**

MDラベルプリンターMZP-1**・ICメモリー・リピートラーニング・MDコントローラー RPT-M1は使用できません。**

海外用

ACパワーアダプターAC-E30HG
光デジタルケーブル
　光角形プラグ←→光ミニプラグPOC-15AB
　光ミニプラグ←→光ミニプラグPOC-15B
ステレオマイクロホンECM-717
ステレオヘッドホン*MDR-EX70SL、MDR-EX838SP
ミニディスク（生ディスク）ESシリーズ

ワールドモデルをお買い上げのお客さまへ

国によって扱っているアクセサリーが違います。詳しくはお買い上げ店、ソニーサービス窓口、海外ソニーサービス特約店にご相談ください。

* ヘッドホンは、本体の🎧/LINE OUTジャックに直接つなぐときも、リモコンにつなぐときも、ステレオミニプラグのものをお求めください。マイクロプラグのものは使えません。
**このリモコンでグループ機能は使えません。

解説

ここでは、技術用語やミニディスクの特徴的な動作について解説します。

ATRAC用DSP TYPE-Rとは？

MDサウンドの心臓部DSP (Digital Signal Processor) に、ソニーのハイスペックMDデッキなどに搭載されている「TYPE-R」を採用。信号処理能力が従来比約2倍にアップし、MDデッキに迫る高音質を実現しています。

「TOC EDIT」とは

TOCとはTable Of Contentsの略で、音声以外の情報を記録する、ミニディスク上の領域です。どの曲が何曲目でディスクのどこにあるかなどを記録しています。ミニディスクが本だとすると、索引や目次にあたります。
録音やトラックマークの記録・削除、曲の移動などのさい、ミニディスクレコーダーはTOCの書き換え作業を行います（「TOC Edit」が表示されます）。この間はディスクへの記録をしていますので、衝撃を与えたり、電源を抜いたりしないでください。記録が正しく行われないばかりか、ディスクの内容が失われることがあります。

サンプリングレートとは

サンプリングレートとは、1秒間の音声をどれだけの量のデジタル信号にするかを表す数値です。一般に数値が大きいほど高音質になります。サンプリングレートの異なる機器同士では、通常デジタル信号によるダビングはできません。これを可能にするのが、サンプリングレートコンバータです。コンバータは、デジタル信号を他のサンプリングレート用のデジタル信号に変換します。本機はこのコンバータを内蔵しています。光デジタル入力端子に入ってきたサンプリングレートの異なる信号（BSチューナ :32kHz,

DAT:48kHzなど）は、コンバータによって、ＭＤのサンプリングレート（44.1kHz）に変換されて録音されます。

MDの曲番のつきかた

CDなど曲番のついたメディアから録音した場合、レコーダーは次のような条件で 曲番を作成し記録します。
デジタル入力からの録音→入力ソースのトラック番号が変化したとき
アナログ入力からの録音→2秒間以上無音状態が続き、その後音声が入ってきたとき。
なお、CDで「-0:03」から新しい曲番が始まっているときは、0:00になった時点でMDに新しい曲番が記録されます。

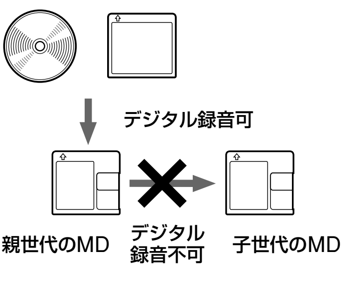
「無音」とは

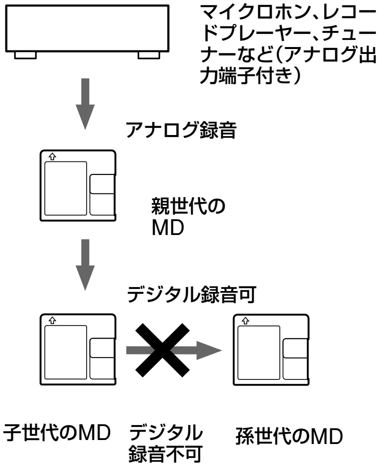
本機では、アナログ入力時は約4.8mV以下（マニュアル録音時を除く）、光デジタル入力時は、約–89dB以下（フルビットを0dBとした場合）の入力レベルを無音と認識します。

デジタル録音の制限について

本機は、音楽ソフトの著作権を保護するため、「シリアルコピーマネジメントシステム（SCMS）」に準拠しています。
CDや再生専用MDなどの市販ソフトから、光デジタル入力端子を使って録音したミニディスクは、さらに他の機器でデジタル録音することはできません。光デジタル入力で録音したミニディスクを別のミニディスクに録音するには、アナログ入力（LINE IN）を使ってください。

CDまたは再生専用MDなどの市販ソフト



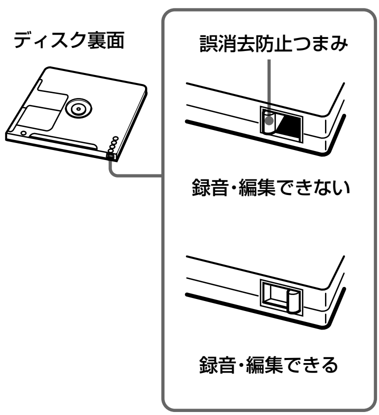


ご注意

著作権を保護するためのコピーコントロール信号を除去、改変してコピーを作成することは、個人として楽しむ目的であっても法律で禁止されています。

誤消去防止つまみについて

録音したものを誤って消さないために、誤消去防止つまみをずらして穴が開いた状態にします。つまみをずらして穴があいた状態にすると、録音・編集ができません。録音・編集するときはつまみを閉めます。



▶Operating Instructions

Looking at the controls

The numbers are keyed to the illustrations in the Japanese text (pages 5 to 7).

The recorder

1 Display window
2 T MARK button
3 END SEARCH button
4 Battery compartment
5 REC (record) switch
6 HOLD switch (at the rear)
7 Terminals for attaching dry battery case.
8 DC IN 3V jack
9 OPEN switch
10 ► (play/enter) button
   ❚❚ (pause) button
   ⏮/⏭ (REW/FF) button
   ■ (stop)/CHG (charge) button
11 GROUP/CANCEL button
12 Jog dial (MENU/ENTER)
13 LINE IN (OPT) jack
14 MIC (PLUG IN POWER) jack
15 VOL (volume) +/– buttons
16 🎧/LINE OUT jack

The display window of the recorder

1 Character information display
   Displays the disc and track name*, date, error messages, track numbers, etc.
   * Disc and track names appear only with MDs that have been electronically labeled.
2 Group indication
3 Alarm indication
4 Disc indication
   Shows that the disc is rotating for recording, playing or editing an MD.
5 Play mode indication
   Shows the play mode of the MD.
6 Battery level indication
   Shows approximate battery condition. While charging the rechargeable battery, this indication shows the charging condition.
7 SYNC (synchro-recording) indication
   Lights up while synchro-recording.
8 Level meter
   Shows the level of the MD being played.
9 SP stereo, LP2 stereo, LP4 stereo, MONO (monaural) indication
10 Pause indication
11 Sound indication
   Lights up when Digital Sound Preset is on.
12 REC indication
   Lights up while recording. Flashes when standing by for recording.

The headphones/earphones with a remote control

1 DISPLAY button
2 PLAY MODE button
3 RPT/ENT(repeat/enter) button
4 SOUND button
5 Clip
6 ❚❚ (pause) button
7 Control (⏮/►⏭)
   ►⏭: play, AMS, FF
   ⏮: REW
   Turn or turn and hold to play, fast forward, rewind, etc..
8 Control (VOL +/–)
   Pull and turn to adjust the volume.
9 Display window
10 HOLD switch
11 ■ (stop/enter) button

The display window of the remote control

1 Track number display
2 Character information display
3 Disc indication
4 Alarm indication
5 Play mode indication
6 Battery level indication
7 REC indication
8 SOUND indication

How to use the jog dial

See the illustrations in Japanese text (page 8).

The jog dial on the recorder can be used to perform various operations during playback, recording, editing, and when the recorder is stopped.

Display window while selecting the menu items

Press the jog dial to display menu items in the display window on the recorder. Turn the jog dial down to scroll downward, and turn it up to scroll upward. Press the jog dial while an item is flashing in the display to select it.

List of menus

Menu functions

To use menu items on the recorder, press the jog dial to enter the menu, turn the dial to select the item, and then press the dial again to confirm the menu.
To use menu items on the remote control, press DISPLAY for 2 seconds or more, turn the control towards ⏮ or ►⏭ to select the item, and then press ■ to confirm the menu.

menu of the recorder/the remote control	functions
EDIT/EDIT	Selecting editing operations (labeling tracks, groups, or discs, erasing tracks, groups, or discs, etc.) (pages 103 to 111).
DISPLAY/—	Displaying elapsed playing time, remaining playing time, etc..
PLAY MODE/—	Selecting the play mode (repeat play, shuffle play, etc.) (pages 98 and 99).
RecVolume/—	Selecting the automatic or manual recording level adjustment (page 94).
REC MODE/—	Selecting the recording mode (SP stereo, LP2 stereo, LP4 stereo, or monaural) (page 91).
M-TIMER/M-TIMER	Setting the alarm (Melody timer) (pages 111 and 112).
AUDIO OUT/—	Selecting 🎧/LINE OUT jack output (page 102).
SOUND/—	Selecting "SOUND1", "SOUND2," or "SOUND OFF" (Digital Sound Preset) (page 100).
—/SPEED	Changing the playback speed during play (page 101).
—/GROUP	Turning the group function on and off (page 92).
PERSONAL/PERSONAL	Entering or erasing the disc information in the Personal Disc Memory (page 101).
SYNC REC/—	Selecting "SYNC ON" or "SYNC OFF" when synchro-recording (page 93).
TIME MARK/—	Selecting the Auto Time Stamp setting (page 94).
MIC SENS/—	Selecting the microphone sensitivity (page 94).
—/SEARCH	Selecting the search mode (Index search/Time search) (page 97).
OPTION/OPTION	• AVLS (Automatic Volume Limiter System) Selecting "AVLS ON" or "AVLS OFF".
	• BEEP Selecting "BEEP ON" or "BEEP OFF" (headphones/earphones beep).
OPTION/—	• REC-Posi Selecting the start point when recording (page 93).
	• LP Stamp Selecting "Stamp ON" ("LP:" will be added when recording with MDLP mode) or "Stamp OFF" ("LP:" will not be added) (page 91).
	• CONTRAST Adjusting the contrast of the display.
	• CLOCK SET Setting the clock (page 95).

To check the menus and menu items that can be selected at each menu level, see the following pages in Japanese text.

Menus while the recorder is:
- — stopped, see pages 10 and 11.
- — playing, see page 12.
- — recording, see page 13.

Menus while the remote control is:
- — stopped, see page 14.
- — playing or recording, see page 15.

▶*Preparing*

Getting started!

See the illustrations in Japanese text (pages 16 and 17).

Charge the rechargeable battery before using. Even if the rechargeable battery is not charged, you can use the recorder as long as the AC power adaptor is connected.

1. Insert the supplied nickel metal hydride rechargeable battery into the recorder with the minus end first.
2. Assemble the battery charging stand, connect the AC power adaptor, and then place the recorder on the battery charging stand.
   When charging is completed, battery indication disappears.
   A completely discharged battery takes about 6 hours.
   To use the recorder with an alkaline dry battery, insert the dry battery into the supplied dry battery case and attach it to the recorder.
3. Connect the supplied headphones/ earphones with the remote control to the recorder and slide HOLD to unlock the control.
4. Insert an MD.
   ① Slide OPEN to open the lid.
   ② Insert an MD with the label side facing front, and press the lid to close.
   Insert an recordable MD when recording.

Notes on rechargeable battery

- The supplied battery charging stand can be used only with this recorder. Any other models cannot be charged.
- Do not use the recorder to charge any other battery besides the supplied one or the one designated for it (NH-14WM).
- Though the battery charging stand and the battery may become hot during the charging procedure, this poses no danger.
- Be sure to use the supplied AC power adaptor.
- When a rechargeable battery is charged for the first time or charged after a long period of disuse, battery life may be shorter than usual. Repeat discharging and recharging a few times. The battery life should return to normal. The rechargeable battery can be recharged approximately 300 times.
- When the battery life of a fully charged rechargeable battery becomes about half the normal life, replace it.
- Make sure to remove the recorder from the battery charging stand and disconnect the AC power adaptor from the wall outlet as soon as charging is complete. Keeping it connected to the power source for a long time may reduce the operating efficiency of the battery.
- Please note the following points when charging the battery directly with the supplied AC power adaptor.
  - — If you press ■/CHG immediately after charging has completed, charging will begin again. In this case, press ■/CHG to stop the recorder because the battery is already fully charged.
  - — Charging stops when you try to operate the recorder during charging.
- If you remove the recorder from the battery charging stand for more than 3 or 4 seconds while it is charging, and then return it to the stand, the CHARGE lamp will not go off until approximately 6 hours later, no matter how many hours the recorder had been on the stand till then. Please note, however, that the recorder will become full charged when the total time on the stand (the time up until you removed it and the time after you returned it to the stand) reaches approximately 6 hours, even if the CHARGE lamp does not go off.

Notes on dry battery

Incorrect battery usage may lead to leakage of battery fluid or bursting batteries. To prevent such accidents, observe the following precautions :

- Insert the + and – poles of the battery correctly.
- Do not try to recharge the battery.
- When the recorder is not be used for a long time, be sure to remove the battery.
- If a battery leak should develop, carefully and thoroughly wipe away battery fluid from the battery compartment before inserting new ones.

▶MD recording

Recording an MD right away!

See the illustrations in Japanese text (pages 19 and 20).

Connect to a digital source using an optical cable to make digital recordings. Digital recording is possible even from digital equipment with different sampling rates, such as a DAT deck or a BS turner, using the built-in sampling rates converter. To record from an analog source, see "Recording with analog input (line cable required)." To record a track into an existing group, see "Recording tracks using the group function" (page 92). It is recommended to use the supplied the AC power adaptor when recording.

1 Make connections. (Insert the cables firmly and completely into the appropriate jacks.)
   ① Connect the LINE IN (OPT) jack of recorder to the DIGITAL OUT jacks of the source with a optical cable. The recorder switches to analog input automatically.
   ② Connect the DC IN 3V jack of the recorder to a wall outlet with the supplied AC power adaptor.
   When the recorder has different sound sources connected at the same time, the recorder switches to the digital, microphone, or analog input in this order of priority.
2 Specifying the recording position.
   Set the "REC-Posi" setting to "From End" (recording starts from the end of the current contents) or "From Here" (recording starts overwritting the current contents).
3 Start recording.
   ① Press and slide REC to the right. "REC" lights up and recording starts .
   ② Play the sound source. The level of the recorded sound is adjusted automatically.

To stop recording, press ■.
After you press ■ to stop, the recorder will automatically turn off in about 10 seconds (when using batteries) or about 5 minutes (when using AC power adaptor).

To	Do this
Record from the end of the current contents[1]	Press END SEARCH and then press and slide REC to the right.
Record over partway through the previous recording	Press ►, ►►I, or I◄◄ to find the start point of recording and press ■ to stop. Then press and slide REC to the right.
Pause	II.[2] Press II again to resume recording.
Remove the MD	■, then slide OPEN to open the lid.[3]

[1] By setting "REC-Posi" to "From End," recording operations will always start from the end of the previously recorded material.

[2] A new track mark is added at the point where you pressed again to resume recording while pausing, and the recording will be marked with the new track number when you resume recording.

[3] If you open the lid while "REC-Posi" is set to "From Here", recording will begin with the first track the next time you record, the point to start recording will change to the beginning of the first track. When recording on a recorded MD, check the point to start recording on the display.

If the recording does not start

- Make sure the recorder is not locked.
- Make sure the MD is not record-protected.
- Premastered MDs cannot be recorded over.

Notes

- "Data Save" or "TOC Edit" flashes while data of the recording (the track's start and end points, etc.) is being recorded. Do not move or jog the recorder or disconnect the power source while the indication is flashing in the display.
- The lid does not open until "TOC Edit" disappears in the display.
- If the power supply is disrupted (i.e. the battery is removed or becomes exhausted or the AC power adaptor is disconnected) during a recording or editing operation, or while "TOC Edit" appears in the display, then it will not be possible to open the lid until power is restored.
- You can make a digital recording only from an optical type output.
- When recording from a portable CD player, set the CD player to pause, and then do the recording procedure on the recorder.
- Note the following when recording from a portable CD player:
  — Some portable CD players may not be capable of digital out unless powered by the AC power. If this is the case, connect the AC power adaptor to the portable CD player and use it on AC power as the power source.
  — On some portable CD players, optical output may not be possible when using an anti-skip function (e.g., ESP*). If this is the case, turn off the anti-skip function.

* Electronic Shock Protection

►MD playing

Playing an MD right away!

See the illustration in Japanese text (page 22).

If you want to use the rechargeable battery, be sure to recharge them before playing (page 87).

1 Start playing.
① Press ►. Turn the control towards ►►► on the remote control.
A short beep sounds in the headphones/earphones.
② Press VOL +/– on the recorder to adjust the volume. Pull and turn the control towards VOL + or towards VOL – on the remote control.

Playback starts from the point you last stopped playing. To start playback from the beginning of the disc, press ► for 2 seconds or more on the recorder, or turn and hold the control towards ►►► for 2 seconds or more on the remote control.

To stop play, press ■.

To	Do this (Beeps in the headphones/earphones[1)])
Find the beginning of the current track[2)]	Press ◄◄. Turn the control towards ◄◄ on the remote control. (Three short beeps)
Find the beginning of the next track[3)]	Press ►►. Turn the control towards ►►► on the remote control. (Two short beeps)
Go backwards while playing	Keep pressing ◄◄. Turn and hold the control towards ◄◄ on the remote control.
Go forward while playing	Keep pressing ►►. Turn and hold the control towards ►►► on the remote control.
Pause	Press ❚❚. (Continuous short beeps) Press ❚❚ again to resume play.
Remove the MD	Press ■, then slide OPEN to open the lid.[4)]

Operating Instructions

1) You can turn off the beep sound.
2) If you press ⏮ during the first track of the disc, the recorder goes to the beginning of the last track on the disc.
3) If you press ⏭ during the last track of the disc, the recorder goes to the beginning of the first track on the disc.
4) Once you open the lid, the point to start play will change to the beginning of the first track (except when the disc information has been stored in the Personal Disc Memory).

If the playback does not start

Make sure the recorder is not locked. If it is locked, slide the HOLD switch in the opposite direction of the arrow.

When using the headphones/ earphones connect them directly to the recorder

The VOL +/– buttons and the Digital Sound Preset function may become inoperative. In this case, do the procedure below.

1. Press the jog dial, turn the dial until “AUDIO OUT” flashes in the display, and then press the dial again.
2. Turn the jog dial until “HeadPhone” appears in the display.
3. Press the jog dial again.

Note

If the power supply is disrupted (i.e. the battery is removed or becomes exhausted or the AC power adaptor is disconnected) when the recorder is operating, the lid will not open until the power is restored.

▶*Various ways of recording*

Connecting digital (optical) and analog (line) inputs

The recorder selects digital or analog input according to how the sound source is hooked up.

Input / Difference	Digital (optical) input	Analog (line) input
Connectable source	Equipment with an digital (optical) output jack	Equipment with an analog (line) output jack
Usable cord	Optical cable (with an optical or an optical-mini plug)	Line cable (with 2 phono plugs or a stereo-mini plug)
Signal from the source	Digital	Analog Even when a digital source (such as a CD) is connected, the signal sent to the recorder is analog.
Recorded track numbers	Marked (copied) automatically • at the same positions as the source[1]. • after more than 2 seconds of blank or low-level segment [2]. • when recording is paused while synchro-recording[3].	Marked • after more than 2 seconds of blank or low level segment. • while the recorder is paused while recording. • automatically at specified intervals when the Auto time stamp is on. You can erase unnecessary marks after recording.

Recorded sound level	Same as the source. You can also adjust it manually (Digital REC level control).	Adjusted automatically. You can also adjust it manually.

[1] When the sound source is a CD or an MD.
[2] With a sound source other than a CD or an MD.
[3] The recorder pauses automatically when it encounters a section with no audio signal for 3 seconds or more.

Notes

Track marks may be copied incorrectly:
- when you record from some CD players or multi disc players using digital (optical) input.
- when the source is in shuffle or program play mode while recording using digital (optical) input. In this case, play the source in normal play mode.
- when recording BS or CS programs through digital (optical) input.

Recording with analog input (line cable required)

See the illustration in Japanese text (page 25).

The sound will sent from the connected equipment as analog signal but will be recorded digitally on the disc.

1 Connect the LINE IN (OPT) jack of the recorder to the line output jack of the source with an line cable (not supplied). The recorder switches to analog input automatically.
2 Connect the power source. To use on AC power, see “Recording an MD right away!.” To use on other power sources, see page 88.
3 Press and slide REC to the right. “REC” and the REC indicator lights up and recording starts.
4 Play the sound source.

Note

If you temporarily stop a recording operation by pressing ❚❚, a new track mark will be added at that point where you pressed ❚❚ again to resume recording. The recording continues from a new track.

Recording for long times

See the illustration in Japanese text (page 26).

Select each recording mode according to the recording time that you want.
Stereo recording is possible at 2 times (LP2) or 4 times (LP4) the normal recording time (MDLP mode).

1 Press the jog dial, turn the dial until “REC MODE” flashes in the display, and then press the dial again.
2 Turn the jog dial to select the desired recording mode. The recording mode can be selected from “(none)”(standard stereo mode), “LP2” (2 × normal recording mode), “LP4” (4 × normal recording mode), and “MONO” (monaural).
3 Press and slide REC to the right. Recording starts.
4 Start the sound source.

When you do not want “LP:” added at the beginning of the track

The recorder is factory set to add “LP:” at the beginning of tracks recorded in MDLP mode. If you do not want “LP:” to be added , do the procedure below.

1 While the recorder is stopped, press the jog dial, turn the dial until “OPTION” flashes in the display, and then press the dial again.
2 Turn the jog dial util “LP Stamp” flashes in the display, and then press the jog dial.
3 Turn the jog dial until “Stamp OFF” flashes in the display, and then press the jog dial. If you want “LP:” added, select “Stamp ON” in step 3, and then press the jog dial.

Notes

- It is recommended that you use the supplied AC power adaptor for long recordings.

Continued

- During monaural recording of a stereo sound source connected through the digital (optical) input jack, you can still monitor the recorded sound in stereo by using headphones/earphones connected the 🎧/ LINE OUT jack.
- When you record in LP4 stereo mode, momentary noise may be produced on very rare occasions with certain sound sources. This is because of the special digital audio compression technology that enables a recording time 4 times longer than normal. If noise is produced, it is recommended that you record in normal stereo or LP2 stereo mode to obtain better sound quality.

Recording tracks using the Group Function (Group mode recording)

See the illustration in Japanese text (pages 27 and 28).

What is the group function (group mode)?

It is a function that allows you to separate tracks on a disc into different groups for playback, recording and editing.
It is convenient for managing multiple CD albums recorded in MDLP (LP2 stereo/ LP4 stereo) mode onto a single MD.

How is group information recorded?

When recording in group mode, the group information is written to the disc name recording area.
Therefore, the character string written in the disc name recording area is displayed in its entirety as the disc name if you load an MD recorded in group mode into a system that does not support group mode, or if you try to edit the contents of a disc on this recorder with the group mode turned off.
Note that if you perform the procedure for "Relabeling recordings" of "Labeling recordings" (page 105) and rewrite this character string by mistake, you may be unable to use the group function of that MD.

Notes
- The group function setting is stored even if you eject the MD or turn off the recorder.
- In group mode, the recorder treats all tracks without group settings as belonging to the last group on the disc. The last group is indicated in the display window on the recorder as "Group – –." Within a group, the tracks appear in their order on the disc, not their order within the group.

To activate the group mode

To record tracks in group mode, you must first turn the group mode on before the start of recording.

On the recorder

1 Press GROUP for 2 seconds or more. "🗀" lights up in the display and the group mode turns on.
  To cancel the group mode, press GROUP for 2 seconds or more again.

On the remote control

1 Press DISPLAY for 2 seconds or more, turn the control towards ⏮ or ►⏭ until "GROUP" flashes in the display, and then press ■.
2 Turn the control towards ⏮ or ►⏭ until "GROUP ON" flashes in the display, and then press ■.
  To cancel the group mode, select "GROUP OFF" in step 2.

Recording a track into a new group

1 While the recorder is stopped, press GROUP for 2 seconds or more.
2 Press END SEARCH.
3 Press and slide REC to the right.
4 Play the source sound.

To stop recording, press ■.

The material that was recorded up until ■ was pressed is entered as a new group.

Recording a track into an existing group

1 While the recorder is stopped, press GROUP for 2 seconds or more.
2 Press GROUP slightly.
  You can select a group directly (group skip mode).
3 Within 5 seconds, press ⏮ or ⏭ repeatedly until the group you want the track to belong to appears.
4 Press and slide REC to the right.
5 Play the source sound.

Notes
- Even if "REC-Posi" is set to "From Here", newly recorded tracks are inserted after the existing tracks in the specified group without recording over the current contents.
- The group skip mode turns off automatically in step 3 if nothing is done within 5 seconds. To continue the procedure, do step 2 again.

Synchro-recording from a digital source

See the illustrations in Japanese text (pages 29 and 30).

You can easily make a digital recording of a digital source on an MD.
Before synchro-recording, be sure to make digital connection and insert a recordable MD. Note that track marks are automatically marked at the same positions as the source.

1 While the recorder is stopped, press the jog dial, turn the dial until "SYNC REC" flashes in the display, and then press the dial again.
2 Turn the jog dial until "SYNC ON" flashes in the display, and then press the jog dial.
  "SYNC" lights up in the display.
3 Press and slide REC to the right.
  "REC" lights up in the display.
  The recorder starts recording when you start playing the source player.
4 Start the sound source.

To cancel synchro-recording
Select "SYNC OFF" in step 3.

Notes
- The pause function cannot be turned on or off manually during synchro-recording.
- Do not switch the "SYNC REC" setting while recording. Recording may not be done properly.
- Even when there is no recorded sound on the sound source, there may be cases when recording does not pause automatically during synchro-recording due to the noise level emitted from the sound source.
- If a silent portion is encountered for about 2 seconds during synchro-recording from a sound source other than a CD or an MD, a new track mark is automatically added at the point where the silent portion ends.
- Synchro-recording cannot be done if the connecting cord is not an optical cable, or if the cable is connected to the MIC (PLUG IN POWER) jack.
- You cannot change the recording mode during recording.

Recording without overwriting existing material

See the illustration in Japanese text (page 30).

If you wish to avoid overwriting the current contents of an MD, do the following procedure. All new material will then be recorded from the end of the current contents.

1 While the recorder is stopped, press the jog dial, turn the dial until "OPTION" flashes in the display, and then press the dial again.
2 Turn the jog dial repeatedly until "REC-Posi" flashes in the display, and then press the dial.
3 Turn the jog dial repeatedly until "From End" flashes in the display, and then press the dial.

To start recording from the current point.
Select "From Here" in step 3.

Notes
- If you start recording while the recorder is in play-pause mode, the recording will begin from the point at which it is paused.
- The setting will remain even after the power is turned off.

- When the group mode is on, recording always starts after the current contents.

Recording from a microphone

See the illustration in Japanese text (page 31).

1. Connect a stereo microphone (ECM-717, ECM-MS907, ECM-MS957, etc., not supplied) to the MIC (PLUG IN POWER) jack.
2. Press and slide REC to the right.

To select microphone sensitivity

1. Press the jog dial while the recorder is stopped, turn the dial repeatedly until "MIC SENS" flashes in the display, and then press the dial again.
2. Turn the jog dial repeatedly to select "SENS HIGH" or "SENS LOW", and then press the dial.

Notes
- You cannot record through the microphone while an optical cable is connected to the LINE IN (OPT) jack. In this case, disconnect the optical cable from the LINE IN (OPT) jack. The recorder automatically switches input in the following order; optical input, microphone input, and analog input.
- Do not use a microphone with a short connecter connected directly to the recorder, as this may cause the operation sound of the recorder to be picked up.

Adding track marks automatically at specified intervals (Auto Time Stamp)

See the illustration in Japanese text (page 32).

Use this feature to add track marks automatically at specified intervals when recording through the analog input connector or a microphone.

1. While the recorder is recording or in recording pause, press the jog dial.
2. Turn the jog dial repeatedly until "TIME MARK" flashes in the display, and then press the dial again.
3. Turn the jog dial repeatedly until the desired time interval flashes in the display.
   Select one of the following intervals:
   "OFF"
   "5 min. ON" (track marks are added in every 5 minutes.)
   "10 min. ON" (track marks are added in every 10 minutes)
   "15 min. ON" (track marks are added in every 15 minutes)
   To cancel the setting, select "OFF" in this step.
4. Press the jog dial.

Notes
- Automatic track marking by Auto Time Stamp starts when you add a normal track mark to the disc (i.e., by pressing T MARK or ❚❚, etc.).
- The setting will be lost when the recording stopped.

Adjusting the recording level manually (Manual recording)

See the illustrations in Japanese text (page 33).

When you record, the sound level is adjusted automatically. If necessary, you can set the level manually.

Note
Adjust the recording level while the recorder is in standby mode. You cannot adjust it while recording.

1. While holding down ❚❚, press and slide REC to the right.
   The recorder stands by for recording.
2. Press the jog dial, turn the dial until "RecVolume" flashes in the display, and then press the dial again.
3. Turn the jog dial until "ManualREC" flashes in the display, and then press the dial.
   To switch back to the automatic level adjustment, repeat the procedure from step 2 and press the dial while "Auto REC" flashes in the display.
4. Play the program source.

5 While observing the level meter in the display, adjust the recording level by turning the dial.
Set the level so that the meter segments light up between Ⓐ (the fifth segment) and Ⓑ (the ninth segment). If Ⓑ lights up, reduce the input level.
The upper level meter shows the L channel input level, the middle meter shows the R channel input level, and the the lower meter shows the recording level.
Recording does not start in this step.
If your source is an externally connected component, be sure to cue the source to the begining of the material to be recorded before you start playback.
6 Press ❚❚ again to start recording.

Notes

- If you press ■ during recording operation, the recorder will revert to automatic recording level adjustment mode the next time you start a recording operation.
- "RecVolume" cannot be selected in step 2 during synchro-recording. To set the recording level manually during synchro-recording, do the procedure below.
  1 Select "SYNC OFF" in step 2 of "To start/stop recording in sync with the source player (Synchro-recording)" (page 93).
  2 Do steps 1 to 5 of manual recording procedure. Then do the procedure from step 1, and select "SYNC ON" in step 2 of of the synchro-recording procedure (page 93).
  Recording starts automatically whenever the source sound is played.

Setting the clock to stamp the recorded time

See the illustrations in Japanese text (page 36).

To stamp the date and time on the MD when you record, you first need to set the clock.

1 Press the jog dial while no disc is inserted or the recorder is stopped.
2 Turn the jog dial until "OPTION" flashes in the display, and then press the jog dial.
3 Turn the jog dial until "CLOCK SET" flashes in the display, and then press the dial.
The digits of the year flash.
4 Change the current year by turning the jog dial and press to enter.
The digit of the month flashes.
5 Repeat steps 4 to enter the current month, date, hour, and minute.
When you press the jog dial to enter the minute, the clock starts operating.

If you make a mistake while setting the clock

Press CANCEL, and set the clock again from step 1. You can skip a step by pressing the jog dial.

To display the current time

When the recorder is not operating or while recording, press the jog dial, turn the dial until "DISPLAY" appears in the display, and then press the dial again.
Turn the jog dial until "Clock" flashes in the display, and then press the dial again.
The current time appears in the display.

To display the time in the 24-hour system

Press T MARK while setting the clock. To change the clock to the 12-hour system, press T MARK again.

To maintain the correct time

Once you set the clock, it will keep correct time as long as the recorder is connected to a power source, such as the rechargeable battery, alkaline dry battery, or AC power adaptor. However, if no power source is connected, the clock setting will change back to the factory setting after about 3 minutes. When changing the rechargeable battery or alkaline dry battery, make sure to do it within 3 minutes.

Notes

- Make sure the time is correctly set if you want the time stamp to be accurately recorded for an important recording.
- Under normal conditions, the clock may vary by about plus or minus 2 minutes per month.

Copying CD text information while recording (Joint Text)

CD text connecting cable, CD that support CD-TEXT, and CD player that support Joint Text required.

See the illustrations in Japanese text (pages 37 and 38)

By connecting the recorder to a Sony portable CD player that supports Joint Text (the CD text copying function) (D-E999, etc.), you can copy track and disc names automatically during recording. In addition to the CD text connecting cable (RK-TXT1), make sure to connect the recorder to the portable CD player with an optical cable.

1. Press and slide REC to the right to start recording on the recorder, and start playing the CD in the portable CD player.
   "SYNC" and "REC" light up in the display.
   "CD TEXT" appears for a few seconds, then "001 TEXT?" lights up and "PushENTER" flashes in the display.
   "NO TEXT" appears at this time if no track name information exists in the CD. In this case, the track name will not be copied.
2. Press the jog dial.
   Track name scrolls, and then the track name lights up and "PushENTER" flashes in the display.
3. Press the jog dial.
   Track name scrolls in the display while the name is copied.
4. Follow steps 2 and 3 to copy each new track name that appears.
5. Press ■ on the recorder at the point you want to stop recording.
   "000 TEXT?" lights up and "PushENTER" flashes in the display.
   If you don't want to copy the disc name information, press ■ again. The disc name is not copied and the operation ends.
   "NO TEXT" appears at this time if no disc name information exists in the CD. In this case, the operation ends without copying the disc name.
6. Press the jog dial.
   Disc name scrolls, and then disc name lights up and "PushENTER" flashes in the display.
7. Press the jog dial.
   "TOC Edit" flashes.
   Afterwards, the disc name scrolls in the display.

Notes

- If you copy disc name information to a disc with a previously recorded disc name, the old disc name will be overwritten with the new one.
- When the CD text copying function is on, various settings and editing functions cannot be accessed with the jog dial.
- To record CD text information as a single group using the CD text copying function, turn the group mode on before step 1 (page 92). The disc name will be copied as the name of the group.
- The CD text copying function (joint text) can only be used with component (D-E01, D-E999, D-E990, D-E888, D-E880, D-E777, D-E770, D-F700) with the joint text logo.
- The CD text copying function can only be used with CDs and component (D-E999, etc.) that support CD-TEXT.
- The RK-TXT1 CD text connecting cable is designed for exclusive use with this recorder and Sony portable CD player (D-E999, etc.). Do not use a connecting cable of another make to copy CD text information.
- The remote becomes inoperative when the CD text connecting cable (RK-TXT1) is connected to the recorder.
- Stopping or pausing playback on the CD player automatically causes recording on the recorder to pause. A new track mark is automatically added when you resume recording.
- The track name of the track currently played will not be recorded if you stop or pause CD playback in the middle of the copying process on the recorder.
- The name of the source CD is copied as the name of the disc when group mode is off, and as the name of a group when group mode is on.

►*Various ways of playback*

Searching for a specific track or a position quickly (Quick Search)

See the illustrations in Japanese text (page 39).

You can do two kinds of quick search.
- Index search — Searching quickly while monitoring the track numbers or track names.
- Time search — Searching quickly while monitoring the elapsed time.

Selecting the search mode

The search mode can be selected only on the remote control while the recorder is stopped, playing, or play-paused.

1. Press DISPLAY for 2 seconds or more.
2. Turn the control towards ⏮ or ►⏭ until "SEARCH" flashes in the display, and then press ■.
3. Turn the control towards ⏮ or ►⏭ until "Index"(index search) or "Time"(time search) flashes in the display, and then press ■.

The recorder is factory set to "Index".

Searching for a specific track while monitoring track numbers or track names (Index Search)

To do an index search, do the procedures "Selecting the search mode" and select "Index" in step 3.

On the recorder

1. Turn the jog dial until the desired track appears in the display, and then press the dial.
   The selected track name appears in the display and the recorder starts playing by pressing the jog dial.
   If the track has no name, the track number appears in the display.

On the remote control

1. Press ❚❚ while playing a disc.
2. Turn and hold the control towards ⏮ or ►⏭ until the desired track number or track name appears in the display.
3. Press ❚❚ to cancel the pause.
   Playback starts from the selected track.

Searching for a specific point while monitoring the elapsed time (Time Search)

To do a time search, do the procedures of "Selecting the search mode" and select "Time" in step 3.

On the recorder

1. Press ❚❚ while playing a disc.
2. Keep pressing ⏮ or ⏭ until the desired point appears in the display.
3. Press ❚❚ to cancel the pause.
   Playback starts from the selected point.

On the remote control

1. Press ❚❚ while playing a disc.
2. Turn and hold the control towards ⏮ or ►⏭ until the desired point appears in the display.
3. Press ❚❚ to cancel the pause.
   Playback starts from the selected point.

Using the Group Function

See the illustrations in Japanese text (page 40).

The recorder can operate various playback with a disc which has group setting.

Listening to tracks in a specific group (Group mode playback)

On the recorder

1. Insert a disc which has group settings into the recorder and play the disc.
2. Press GROUP for 2 seconds or more.
   "🗀" lights up and the group mode turns on.
   Playback stops at the end of the last track in the selected group.
   For details on selecting another group, see "Selecting and playing desired groups (Group skip function)" (page 98).

On the remote control

1 Insert a disc which has group settings into the recorder and play the disc.
2 Press DISPLAY for 2 seconds or more, turn the control towards ⏮ or ▶⏭ until "GROUP" flashes in the display, and then press ■.
3 Turn the control towards ⏮ or ▶⏭ until "GROUP ON" flashes in the display, and then press ■.
The elapsed time of the track and "G" (group mode) appears in the display and then group mode turns on.
Playback stops at the end of the last track in the selected group.
For details on selecting another group, see "Selecting and playing desired groups (Group skip function)" (this page).

To turn off the Group function

On the recorder, press GROUP for 2 seconds or more again.
On the remote control, select "GROUP OFF" in step 3, and then press ■.

Note

In group mode, the recorder treats all tracks without group settings as belonging to the last group on the disc. The last group is indicated in the display window on the recorder as "Group – –." Within a group, the tracks appear in their order on the disc, not their order within the group.

Selecting and playing desired groups (Group skip function)

With a disc which has group settings, you can skip from the currently playing group to any other group on the disc. You can select a desired group directly using the jog dial on the recorder.

On the recorder

1 Insert a disc which has group settings into the recorder and play the disc, and then press GROUP slightly.
The group skip mode turns on.
2 Within 5 seconds, turn the jog dial to select your desired group, and then press the jog dial.
The recorder starts playing from the first track in the group.

On the remote control

1 Insert a disc which has group settings into the recorder and play the disc.
2 Press and hold PLAYMODE until "– – –" flashes in the display.
The group skip mode turns on.
3 Within 5 seconds, turn the control towards ⏮ or ▶⏭ to select your desired group.
During playback on group mode, playback of the desired group starts with the first track in the group and stops with the last track in the group.
During normal playback, playback of the selected group starts with the first track in the group and stops with the last track on the disc.

Notes

- If no operation is performed within 5 seconds after step 1, the group skip mode will be canceled and you will not be able to perform step 2 thereafter. To continue with step 1 at this point, repeat from the beginning of the procedure.
- The group skip mode cannot be used with a disc that has no group settings.

Changing a play mode

See the illustrations in Japanese text (pages 42 to 44).

Steeings can be stored to the Personal Disc Memory.

On the recorder

Selecting a play mode

1 While the recorder is playing, press the jog dial, turn until "PLAY MODE" flashes in the display, and then press the dial again.
2 Turn the jog dial to select the play mode, and then press the dial.
Each time you turn the dial, the play mode changes and when you press the dial to select, indication appears in the display as follows.

play mode/indication

"Normal"/"(none)" (All the tracks are played once)

↓

"AllRepeat"/"⮌" (All the tracks are played repeatedly)

↓

"1 Track"/"1 " (A single track is played)

↓

"1 Repeat"/"⮌ 1 " (A single track is played repeatedly)

↓

"Shuffle"/"SHUF " (After currently selected track finishes playing, the remaining tracks are played in random order)

↓

"Shuf. Rep"/"⮌ SHUF "(After currently selected track finishes playing, the remaining tracks are played repeatedly in random order)

↓

"PGM"/"PGM " (Tracks are played in the order that you specified)

↓

"PGMRepeat"/"⮌ PGM " (tracks are played repeatedly in the order that you specified).

Creating a Program (Program play)

1. Press the jog dial while "PGM" flashes in the display at step 2 of "Selecting a play mode."
2. Turn the jog dial to select a track.
3. Press the jog dial to enter a track number.
4. Repeat Step 2 and 3 to program more tracks.
5. Press the jog dial for 2 seconds or more.

On the remote control

You can select variouse play mode using the PLAYMODE and RPT/ENT buttons on the remote control.

Selecting a play mode

Press PLAYMODE during playback.
Each time you press this button, the play mode changes as follows.

"(none)" (All the tracks are played once)

↓

"1 " (A single track is played)

↓

"SHUF "(After currently selected track finishes playing, the remaining tracks are played in random order)

↓

"PGM " (Tracks are played in the order that you specified).

Creating a Program (Program play)

1. While the recorder is playing, press PLAYMODE repeatedly until "PGM " flashes in the display.
2. Turn the control towards ⏮ or ▶⏭ to select a track.
3. Press RPT/ENT to enter a track number.
4. Repeat Step 2 and 3 to program more tracks.
5. Press RPT/ENT for 2 seconds or more.

Repeat play

Press RPT/ENT on the remote control during playback.
"⮌" appears in the display.

Notes

- All program settings are lost when the lid of the recorder is opened.
- If the recorder is stopped and left inactive for 5 minutes in the middle of a programming operation, the tracks selected up to that point are entered as the program.
- You cannot turn the group mode on or off while programming tracks.
- If you turn the group mode on during program play, the program play is canceled.

To adjust the sound quality (Digital Sound Preset)

See the illustrations in Japanese text (pages 45 and 46).

You can make adjustments to the sound quality to suit your taste, and then store two sets of these adjustments.
The sound can be adjusted in 8 steps (–4, –3, ...±0, ...+2, +3).
Settings can be stored to the Personal Disc Memory.

Selecting the sound quality

Factory settings of the Digital Sound Preset

Factory settings of the Digital Sound Preset are the followings:
- "SOUND1": bass +1, treble ±0
- "SOUND2": bass +3, treble ±0

To select a preset sound

- **On the recorder**
  1. Press the jog dial, turn the dial until "SOUND" flashes in the display, and then press the dial again.
  2. Press the jog dial, turn the dial until "SOUND1" or "SOUND2" flashes in the display, and then press the dial again.
- **On the remote control**
  1. Press SOUND repeatedly to select "SOUND 1" or "SOUND 2."

Adjusting the sound quality

On the recorder

1. While playing, press the jog dial, turn the dial until "SOUND" flashes in the display, and then press the dial again.
2. Turn the jog dial until "SOUND 1" or "SOUND 2" flashes in the display.
   The display shows the currently selected T (treble) and B (bass) settings.
   Select "T" or "B" pressing ■ (to move the cursor downward) or ❚❚ (to move the cursor upward).
   You can change the adjust the item in which the cursor is flashing.
3. Turn the jog dial to adjust the sound level.
   Press ■ to move the cursor from "T" to "B" (from the middle row to the bottom row in the display) and press ❚❚ to move the cursor from "B" to "T" (from the bottom row to the middle row in the display).
   To switch between "SOUND 1" to "SOUND 2", move the cursor to the top row by pressing ❚❚ while the cursor is flashing on the "T" row, and then turn the jog dial.
4. Press the jog dial.
   The sound settings are saved and the playback display appears again.

On the remote control

1. Press SOUND on the remote control repeatedly to select "SOUND 1" or "SOUND 2".
2. During playback, press SOUND for 2 seconds or more.
   The recorder changes to B (bass)-setting mode. Pressing the SOUND button for 2 seconds again changes the recorder back to T (treble)-setting mode.
3. Turn the control on the remote control towards ⏮ or ►⏭ to adjust the B (bass) or the T (treble).
   Pressing the SOUND button for less than 2 seconds toggles the display between "SOUND 1" and "SOUND 2".
   When you press SOUND slightly while adjusting bass or treble, the setting for that sound is entered and the display switches to the other sound setting.
4. Press RPT/ENT .
   The sound settings are saved and the playback display appears again.

Notes
- Digital Sound Preset becomes inoperative when the "AUDIO OUT" parameter for the 🎧/LINE OUT jack is set to "LINE OUT". In this case, set the "AUDIO OUT" to "HeadPhone" (page 90).
- When you use the Digital Sound Preset, the sound may break or become distorted depending on the settings or the track. In this case, change the settings of the sound quality.
- Changing to another Digital Sound Preset during a recording operation will not affect the quality of recorded sound.

To change playback speed (Speed Control)

See the illustrations in Japanese text (pages 47 and 48).

The playback speed can be adjusted in 7 steps (80%, 85%, ...100%, 105%, 110%). Setting can be stroed to the Personal Disc Memory.

1 Press DISPLAY on the remote control for 2 seconds or more during playback.
2 Turn the control on the remote control towards ⏮ or ►⏭ until “SPEED” flashes in the display, and then press ■ on the remote control.
   The recorder changes to speed-setting mode.
3 Turn the control towards ⏮ or ►⏭ to select the playback speed.
   “+” shows the normal speed and the cursor shows the playback speed you are selecting.
4 Press ■ to set the playback speed.
   “S” appears in the display when the speed is changed.

Notes
- You cannot change playback speed with the recorder.
- The playback sound will be affected by the playback speed.
- All settings will be lost when you remove the disc from the recorder (except when the settings of the disc has been stored to the Personal Disc Memory).

Storing the settings for individual discs (Personal Disc Memory)

See the illustrations in Japanese text (pages 48 and 49).

The recorder can store the various settings for each disc, and then retrieve them automatically whenever the disc is inserted. Do the following procedure to store the volume, playback mode, group mode playback, playback order, sound quality (Digital Sound Preset), and playback speed (Speed control) settings for a disc.

On the recorder

1 While the recorder is stopped, playing, or play-paused, press the jog dial.
2 Turn the jog dial until “PERSONAL” flashes in the display, and then press the dial.
   “Entry?” flashes in the display.
3 Press the jog dial.
   “Entry OK” appears in the display and the disc settings are stored in the recorder.

On the remote control

1 While the recorder is stopped, playing, or play-paused, press DISPLAY for 2 seconds or more.
2 Turn the control towards ⏮ or ►⏭ until “PERSONAL” flashes in the display, and then press ■.
   “Entry?” flashes in the display.
3 Press ■.
   “Entry OK” appears in the display and the disc settings are stored in the recorder.

Erasing the disc information

Insert the disc whose information is to be erased and verify its contents. Do steps 1 and 2, then turn the jog dial on the recorder or turn the control towards ⏮ or ►⏭ on the remote control until “Erase?” flashes in the display, and then press the jog dial on the recorder or ■ on the remote control. “Erase OK” appears in the display and the disc information is erased. If you try to erase the disc information of a disc that have never been stored, “No Entry!” appears in the display for 2 seconds.

Notes
- The settings for up to 20 discs can be stored. Any settings stored afterwards will replace the settings for the least used disc among the 20.
- If you use another minidisc recorder to edit or add tracks to a disc whose settings have been stored on the recorder, the disc will no longer be recognizable by the recorder and the stored information will become useless.

Connecting to a stereo system (LINE OUT)

See the illustration in Japanese text (page 51).

Connect the 🎧/LINE OUT jack of the recorder to the LINE IN jacks of an amplifier or a tape recorder with a line cable (RK-G129 or RK-G136, not supplied). The output is analog. The recorder plays the MD digitally and sends analog signals to the connected equipment.

When connecting a line cable to the 🎧/LINE OUT jack

When connecting a line cable (not supplied), be sure to set the "AUDIO OUT" parameter for the 🎧/LINE OUT jack.

1 Press the jog dial, turn the dial until "AUDIO OUT" flashes in the display, and then press the dial again.

2 Turn the dial until "LINE OUT" flashes in the display, and then press the dial.

Notes
- If the "AUDIO OUT" parameter for the 🎧/LINE OUT jack is set to "LINE OUT", VOL +/– or Digital Sound Preset will not function.
- The "AUDIO OUT" parameter for the 🎧/LINE OUT jack cannot be set to "LINE OUT" when the supplied remote control is connected.
- When you connect the headphones/earphones directly to the recorder, set the "AUDIO OUT" parameter for the 🎧/LINE OUT jack to "HeadPhone".

▶*Editing recorded tracks*

You can edit your recordings by adding/erasing track marks or labeling tracks and discs.
Premastered MDs cannot be edited.

Notes on editing
- Do not move or jog the recorder while "TOC Edit"* is flashing in the display.
- You cannot edit tracks on an MD that is record -protected. Before editing tracks, close the tab on the side of the MD.
- If you perform an editing operation while playing, be sure not to turn the power off until "TOC Edit" disappears in the display.
- The lid does not open until "TOC Edit" disappears in the display after editing.
- When the group mode is on, editing can be performed only for the tracks registered into the selected group.

* TOC = Table of Contents

Labeling recordings

See the illustrations in Japanese text (pages 52, 53 and 55).

You can name tracks during playback, discs during stop, and both during recording. Each name can be as long as 200 letters. Each disc can hold up to 1,700 alphanumeric letters or 800 katakana characters during playback or stop.

Available characters

- Katakana characters (Japanese model only)
- Capital and small letters of the English alphabet.
- Numbers 0 to 9
- ! " # $ % & ( ) * . ; < = > ?
  @ _ ` + – ' , / : _(space)

Notes
- "NAME FULL" appears when you try to enter more than 1,700 characters on a disc. Enter a shorter name for the track, group, or disc, or set the "LP Stamp" setting to "Stamp OFF" so that "LP:" is not be added at the beginning of the track name.
- When labeling a disc which has been recorded using the group function, be sure to turn the group function on to avoid misoverwrite the group management information.

• If you enter the symbol "//" between the characters in disc names such as "abc//def," you may be unable to use the group function.

About the character palette

The character palette appears in the display when the recorder is ready to accept character input.
For configulation of the character palette, see page 53 in Japanese text.

On the recorder

Labeling a disc during stop

To label a disc that contains group settings, you must turn the group mode on before doing the labeling procedure.

1 Insert a disc.
2 Press the jog dial, turn the dial until "EDIT" flashes in the display, and then press the dial again.
"💿 : Name" flashes in the display.
3 Press the jog dial again.
The disc is ready to be labeled.
The cursor flashes in the letter input area and the character palette appears in the display.
4 Press ■ to move the cursor form the letter input area to the character palette.
5 Press ⏮ or ⏭ repeatedly to select a letter and press ► to enter.
The selected letter appears in the letter input area and the cursor moves to the next input position. The buttons used for character input and their functions are listed below.

Buttons (Press/ Turn)	Functions
❚❚	To move the cursor from the character palette to the letter input area. To move the cursor upward in the character palette.
■	To move the cursor from the letter input area to the character palette. To move the cursor downward in the character palette.
⏮ / ⏭	To move the cursor to the left or right.
►	To enter a letter in the character palette. To enter the text string in the letter input area (Press for 2 seconds or more).
VOL +	To insert a blank space before the cursor in the letter input area. To move the cursor to the right in the character palette.
VOL –	To delete a letter in the letter input area. To move the cursor to the left in the character palette.
Jog dial	To select a character in the letter input area (Turn). To scroll the character palette by turning (Turn). To enter a letter (Press). To enter a name (Press for 2 seconds or more).
GROUP/ CANCEL	To cancel labeling in the letter input area. To m the cursor from the character palette to the letter input area,
T MARK	To display ":", "–" and "/" repeatedly at the input position in the letter input area.

6 Repeat step 4 and 5, and then enter all characters of the label name.
7 Press down the jog dial for 2 seconds or more.
The disc is labeled.

Labeling a track or a group during playback

1 To label a track, insert a disc and play the track you want to label.
To label a group, insert a disc, turn the group mode on, and then play the group you want to label (page 97).
2 Press the jog dial, turn the dial until "EDIT" flashes in the display, and then press the dial again.
"♫ : Name" flashes in the display.

Continued

3 To label a track, press the jog dial while "♫ : Name" is flashing.
To label a group, turn the jog dial until "🗀 : Name" flashes in the display, and then press the dial.
The track or group is ready to be labeled.
4 Follow steps 4 to 6 of "Labeling a disc during stop."

Labeling a track, a group, or a disc during recording

To label a group, you must first turn the group mode on before the start of recording (page 92).

1 While recording, press the jog dial, turn the dial until "EDIT" flashes in the display, and then press the dial again.
"♫ : Name" flashes in the display.
2 To label a track, press the jog dial while "♫ : Name" is flashing.
To label a group, turn the jog dial until "🗀 : Name" flashes in the display, then press the dial.
To label a disc, turn the jog dial until "💿 : Name" flashes in the display, then press the dial.
The track, group, or disc is ready to be labeled.
3 Follow steps 5 to 7 of "Labeling a disc during stop".

To cancel labeling

Press CANCEL to cause "CANCEL?" to light up and "PushENTER" to flash in the display, and then press the jog dial.

On the remote control

Labeling a disc during stop

To label a disc that contains group settings, you must turn the group mode on before doing the labeling procedure.

1 Insert a disc.
2 Press DISPLAY for 2 seconds or more.
3 Turn the control towards |◀◀ or ▶▶| until "EDIT" flashes in the display, and then press ■.
"💿 : Name" flashes in the display.
4 Press ■.
The disc is ready to be labeled.
5 Turn the control towards |◀◀ or ▶▶| to select a letter and press ■ to enter.
The selected letter stops flashing and the cursor moves to the next input position.

Buttons (Press/Turn)	Functions
❚❚	To switch between katakana, the alphabet (capital letters and small letters), symbols/numbers, and phrases.
Control (VOL +/–)	To move the cursor to the left or right.
Control (|◀◀ /▶▶|)	To change the letter to the one before/next one.
DISPLAY	To insert a blank space to type in a new letter (Press within 2 seconds). To cancel labeling by (Press for 2 seconds or more).
PLAYMODE	To delete a letter and move back all following letters to the left.

6 Repeat step 4 and enter all characters of the label name.
7 Keep pressing ■ for 2 seconds or longer.
The track or disc is labeled.

Labeling a track or a group during playback

1 To label a track, insert a disc and play the track you want to label.
To label a group, insert a disc, turn the group mode on, and play the group you want to label (page 98).
2 Press DISPLAY for 2 seconds or more.
3 Turn the control towards |◀◀ or ▶▶| until "EDIT" flashes in the display, and then press ■.
"♫ : Name" flashes in the display.
4 To label a track, press ■ while "♫ : Name" is flashing.
To label a group, turn the control towards |◀◀ or ▶▶| until "GP : Name" flashes in the display, and then press ■.
The track or group is ready to be labeled.

5 Follow steps 5 to 7 of “Labeling a disc during stop”.

Labeling a track, a disc, or a group during recording

To label a group, you must turn the group mode on before the start of recording (page 92).

1 Press DISPLAY for 2 seconds or more during recording.

2 Turn the control towards ⏮ or ⏭ until “EDIT” flashes in the display, and then press ■.
“♫ : Name” flashes in the display.

3 To label a track, press ■ while “♫ : Name” is flashing.
To label a group, turn the control towards ⏮ or ⏭ until “ GP : Name” flashes in the display, then press ■.
To label a disc, turn the control towards ⏮ or ⏭ until “💿 : Name” flashes in the display, then press ■.
The track, group, or disc is ready to be labeled.

4 Follow steps 5 to 7 of “Labeling a disc during stop.”

To cancel labeling

Press DISPLAY for 2 seconds or more.

Notes

- When the recording is stopped while labeling a track, a group, or a disc during recording, or when the playback moves on to the next track while labeling a track during playback, the input at that point is entered automatically.
- “LP:” has automatically been added at the beginning of the track names for tracks recorded in MDLP mode.

Relabeling recordings

Follow the steps corresponding to the labeling method until the track, group, or disc is ready to be labeled. Enter a new character over the one you want to change, then press the jog dial for 2 seconds or more (keep pressing ■ for 2 seconds or more on the remote control).

Notes

- Track and disc titles that were entered in Japanese katakana characters will appear in Roman letters on minidisc players that do not support the display of katakana characters. Such titles will be marked with a “^” at the beginning and the end.
- You cannot relabel premastered MDs or label MDs that have not been recorded.
- The recorder cannot rewrite a track, group, or disc name of more than 200 letters that was created by another device.

Storing phrases frequently used in labeling

See the illustrations in Japanese text (pages 57 and 59).
Phrases that you often use in track or disc labeling can be stored in the recorder’s memory. Approximately 40 phrases of about 10 characters each (with a total character count of about 600) can be stored in the phrase bank. The actual number will depend on the length of each phrases.

On the recorder

Storing phrases into the name bank (Name Bank function)

1 Press the jog dial, turn the dial until “EDIT” flashes in the display, and then press the dial again.

2 Turn the jog dial until “Name Bank” flashes in the display, and then press the dial.

3 Enter the phrase you want to store, and then press the jog dial for 2 seconds or more.
“Entry!” appears in the display and the phrase is stored.

Storing phrases while labeling a track or disc

1 Do the procedure “On the recorder” in “Labeling recordings” (page 103) to enter a phrase.

2 After entering the phrase, press END SEARCH for 2 seconds or more.
“Entry!” appears in the display and the cursor flashes after the phrase you just stored. You can then continue with labeling operation.

Retrieving phrases

You can retrieve a phrase stored in the recorder's memory anytime you want to use it in a track, group, or disc name.

Note

Phrases stored in the name bank cannot be retrieved by the procedure described in "Searching for a phrase by displaying the stored phrase one by one." To retrieve a phrase from the name bank, follow the procedure described in "Searching for a phrase by its first letter."

Searching for a phrase by displaying the stored phrase one by one

1 Do the procedure "On the recorder" in "Labeling recordings" (page 103) until "♫ :Name," "▭ :Name," or "⊖ : Name" flashes in the display. Then press the jog dial.
2 Press END SEARCH so that the phrase stored in the recoder's memory appears in the display.
3 Press ■ to move the cursor from the letter input area to the character palette, and then turn the jog dial until the desired phrase flashes in the display.
Turning the jog dial causes the phrases stored in the recoder's memory to appear one by one in sequential order.
4 Press the jog dial while the phrase you want flashes in the display.
The phrase is selected and lights up in the letter input area.
5 Press the jog dial for 2 seconds or more.
The phrase is retrieved.

Searching for a phrase by its first letter

1 When labeling a track, group, or disc, turn the jog dial in the letter input area until the first letter of the desired phrase appears.
2 Press END SEARCH to search so that the phrase corresponding to the letter appears.
3 Press ■ to move the cursor from the letter input area to the character palette, and then turn the jog dial until the desired phrase flashes in the display.
4 Press the jog dial while the desired phrase flashes in the display.
The phrase is selected and lights up in the letter input area.
5 Press the jog dial for 2 seconds or more.
The selected phrase is retrieved.

Erasing phrases

1 While the recorder is stopped, press the jog dial, turn the dial until "EDIT" appears, and then press the dial again.
2 Turn the jog dial until "BankErase" appears, and then press the dial.
3 Turn the jog dial until the phrase you want to erase appears, and then press the dial.
"Erase!" appears and the phrase is erased.

To cancel the operation

Press CANCEL to cause "CANCEL?" lights up and "PushENTER" flashes in the display, and then press the jog dial.

On the remote control

Storing phrases into the name bank (Name Bank function)

1 Press DISPLAY for 2 seconds or more, turn the control towards ⏮ or ⏭ until "EDIT" flashes in the display, and then press ■.
2 Turn the control towards ⏮ or ⏭ until "Name Bank" flashes in the display, and then press ■.
3 Enter the phrase you want to store, then press ■ for 2 seconds or more.
"Entry!" appears in the display and the phrase is stored.

Storing phrases while labeling

1 Do the procedure "On the remote control" in "Labeling recordings" (page 104) to enter a phrase.
2 After entering the phrase, press ❚❚ for 2 seconds or more.
"Entry!" appears in the display and the cursor flashes after the phrase you just stored. You can then continue with labeling operation.

Retrieving phrases

Note

Phrases stored in the name bank cannot be retrieved by the procedure described in "Searching for a phrase by displaying the stored phrase one by one." To retrieve a phrase from the name bank, follow the procedure described in "Searching for a phrase by its first letter."

Searching for a phrase by displaying the stored phrase one by one

1 Do the procedure "On the remote control" in "Labeling recordings" (page 104) until "♫ :Name," "GP: Name," or " :Name" appears in the display. Then press ■.
2 Press ❚❚ repeatedly until the first phrase stored in the recoder's memory appears in the display.
3 Turn the control towards ⏮ or ▶⏭ repeatedly.
   Turning the control causes the phrases stored in the recoder's memory to appear one by one.
4 Press ■ while the phrase you want is shown in the display, and then press ■ for 2 seconds or more.
   The cursor flashes after the phrase you just retrieved.

Searching by the first letter of a phrase

1 When labeling a track, group, or disc, turn the control towards ⏮ or ▶⏭ to move the cursor to the letter which the desired phrase begins with.
2 Press ❚❚ to search so that the phrase corresponding to that letter appears.
3 Turn the control towards ▶⏭ until the desired phrase flashes in the display.
   Turning the control causes all the other phrases stored in the name bank appear one by one.
   After all the phrases have appeared, the characters in the character palette appear in the display one by one.
4 Press ■ while the phrase you want is shown in the display, and then press ■ for 2 seconds or more.
   The cursor flashes after the phrase you just retrieved. You can then continue with labeling operation.

Erasing phrases

1 Press DISPLAY for 2 seconds or more, turn the control towards ⏮ or ▶⏭ until "EDIT" flashes in the display, and then press ■.
2 Turn the control towards ⏮ or ▶⏭ repeatedly until "BankErase" appears in the display, and then press ■.
3 Turn the control towards ⏮ or ▶⏭ repeatedly until the phrase you want to erase appears, and then press ■.
   "Erase!" appears in the display and the phrase is erased.

To cancel the operation

Press DISPLAY for 2 seconds or more.

Registering tracks or groups as a new group (Group setting)

See the illustrations in Japanese text (pages 60 and 61).

Do the following procedure to register tracks (or groups). A series of tracks (or groups) can be registered by selecting the starting and ending tracks (or groups). The tracks (or groups) must, however, be sequential. If the desired tracks (or groups) are not consecutive, you must move them to make them consecutive before you can register them ("Moving recorded tracks", page 108). This function can be used at any time, whether group mode is on or off.

1 While the recorder is stopped, press the jog dial, turn the dial until "EDIT" flashes in the display, and then press the dial again.
2 Turn the jog dial until "🗀 : Set" flashes in the display, and then press the jog dial.
   "001" flashes in the display.

Continued

3 Turn the jog dial until the number or name of the desired first track flashes in the display, and then press the jog dial.
   This selects the first track of the new group.
   Even when the group mode is on, track numbers appear according to their order on the disc, not their order within the group.
4 Turn the jog dial until the number or name of the desired last track flashes in the display, and then press the jog dial.
   This selects the last track of the new group.
5 Follow steps 4 to 7 of “Labeling recordings” (page 103) to label a group.

Notes
- In step 3, the first track must either be the first track of an existing group or a track that does not belong to a group.
- When selecting the last track in step 4, make sure the track comes after the one selected in step 3. The last track must either be the last track of an existing group or a track that does not belong to a group.

To release a group setting

See the illustration in Japanese text (page 61).

1 Press GROUP for 2 seconds or more.
   The group mode turns on.
2 Follow steps 1 and 2 of “On the recorder” in “Selecting and playing desired groups (Group skip function)” (page 98) and check the contents of the group you want to release. Then press ■.
3 Press the jog dial, turn the dial until “EDIT” flashes in the display, and then press the dial again.
4 Turn the jog dial until “🗀 : Release” flashes in the display, and press the jog dial.
   “Release?” appears and “PushENTER” flashes in the display.
5 Press the jog dial.
   The group setting of the selected group is released.

Moving recorded tracks

See the illustrations in Japanese text (page 62).

You can change the order of the recorded tracks.

On the recorder

1 While playing the track you want to move, press the jog dial, turn the dial until “EDIT” flashes in the display, and then press the dial again.
2 Turn the jog dial until “♫ : Move” flashes in the display, and then press the dial.
   The selected track number or name of the froup that the selected track belongs flashes in the display. If the track has been labeled, press ►►I to make the track name appear in the display. Press I◄◄ to display the track number again.
3 Turn the jog dial until the destination track number flashes in the display.
4 Press the jog dial again.
   The track moves to the selected destination track.

On the remote control

1 Press DISPLAY for 2 seconds or more, turn the control towards I◄◄ or ►►►I until “EDIT” flashes in the display, and then press ■.
2 Turn the control towards I◄◄ or ►►►I until “♫ : Move” flashes in the display, and then press ■.
3 Turn the control towards I◄◄ or ►►►I to select the destination track number.
4 Press ■.
   The selected track moves just before the destination track.

To cancel moving

Press CANCEL on the recorder.
Press DISPLAY for 2 seconds or more on the remote control.

Moving a track to a different group

See the illustration in Japanese text (page 63).

On the recorder

1 Press GROUP for 2 seconds or more.
2 While playing the track you want to move, press the jog dial, turn the dial until "EDIT" flashes in the display, and then press the dial again.
3 Turn the jog dial until "♫ : Move" flashes in the display, and then press the dial.
4 Turn the jog dial until the destination group flashes in the display, and then press the jog dial.
5 Turn the jog dial until the number of the destination track within the group flashes in the display, and then press the jog dial.

On the remote control

1 Follow the procedure of "To activate the group mode" (page 92) to turn the group mode on
2 Press DISPLAY for 2 seconds or more while the track you want to move is playing.
3 Turn the control towards ⏮ or ⏭ until "EDIT" flashes in the display, and then press ■.
4 Turn the control towards ⏮ or ⏭ until "♫ : Move" flashes in the display, and then press ■.
5 Turn the control towards ⏮ or ⏭ until the destination group flashes in the display, and then press ■.
6 Turn the control towards ⏮ or ⏭ until the number of the destination track within the group flashes in the display, and then press ■.

Changing the order of a group on a disc (Group move)

See the illustrations on Japanese text (page 64).

On the recorder

1 Press GROUP for 2 seconds or more.
2 While playing a track within a group whose order you want to change, press the jog dial, turn the dial until "EDIT" flashes in the display, and then press the dial again.
3 Turn the jog dial until "🗀 : Move" flashes in the display, and then press the jog dial.
4 Turn the jog dial to select the destination point on the disc, and then press the dial.

On the remote control

1 Follow the procedure of "To activate the group mode" (page 92) to turn the group mode on.
2 While playing a track within a group whose order you want to change, press DISPLAY for 2 seconds or more.
3 Turn the control towards ⏮ or ⏭ until "EDIT" flashes in the display, and then press ■.
4 Turn the control towards ⏮ or ⏭ until "GP : Move" appears in the display and then press ■.
5 Turn the control towards ⏮ or ⏭ to select a destination point on the disc, and then press ■.

Adding a track mark

See the illustrations in Japanese text (page 65).

You can insert a track mark into a track.

1 While playing or pausing an MD, press T MARK on the recorder at the point you want to mark.
"MARK ON" appears in the display, and the track mark is added.

To add track marks while recording (except while synchro-recording)

Press T MARK at the point you want to add a track mark. You can use Auto Time Stamp to add track marks automatically at specified intervals (except while digital recording).

Erasing a track mark

See the illustrations in Japanese text (page 65).

When you record with analog (line) input, unnecessary track marks may be recorded where recording level is low. You can erase a track mark to combine the tracks before and after the track mark.

1. While playing the track with the track mark you want to erase, press ❚❚ to pause.
2. Find the track mark by pressing ⏮ slightly.
   "MARK" appears in the display for 2 seconds.
3. Press T MARK to erase the mark while "MARK" appears in the display.
   "MARK OFF" appears in the display. The track mark is erased and the two tracks are combined.

Notes

- When you erase a track mark between the two tracks that are registered into different groups, the second track is re-registered into the group containing the first track. In addition, if you combine a track that is registered to a group with a track that is not registered to a group, the second track takes the same registration setting as the first track. However, when the group function is on, you can only combine tracks within the selected group.
- You cannot erase track marks according to the system limitations.

Erasing tracks or groups

See the illustration in Japanese text (page 66).

You can quickly erase a recorded tracks, all the tracks and data of the MD, or groups. **Note that once a recording has been erased, you cannot retrieve it. Make sure of the contents you are erasing.**

Erasing a track

1. While playing the track you want to erase, press the jog dial, turn the dial repeatedly until "EDIT" flashes in the display, and then press the dial again.
2. Turn the jog dial until "♫ : Erase" flashes in the display, and then press the dial.
   "Erase OK?" appears and "PushENTER" flashes in the display.
3. Press the jog dial again.
   The track is erased and the next track starts to play. All the tracks after the one erased are automatically renumbered.

To erase a part of a track

Add track marks at the beginning and the end of the part you want to erase, then erase the part.

Erasing a whole disc

1. While the recorder is stopped, press the jog dial, turn the dial until "EDIT" flashes in the display, and then press the dial again.
2. Turn the jog dial until "💿 : Erase" flashes in the display, and then press the dial.
   "AllErase?" appears and "PushENTER" flashes in the display.
3. Press the jog dial again.
   "TOC Edit" flashes in the display, and all the tracks will be erased.
   When erasing is complete, "BLANKDISC" flashes and "00:00" appears in the display.

To erase a group

1 Press GROUP for 2 seconds or more.
2 Follow steps 1 and 2 of the procedure described under "On the recorder" in "Selecting and playing desired groups (Group skip function)" (page 98) to check the contents of the group you want to erase. Then press ■.
3 Press the jog dial, turn the dial until "EDIT" flashes in the display, and then press the dial again.
4 Turn the jog dial until "🗀 : Erase" flashes in the display, and then press the jog dial.
   The group name and "GP Erase?" appear and "PushENTER" flashes in the display.
5 Press the jog dial again.
   The group is erased.

To cancel erasing

Press CANCEL.

►Other operation

G-PROTECTION function

The G-PROTECTION function was developed to provide a higher level of shock resistance than that of existing players in order to allow the recorder to be used while jogging.

Note

The playback sound may skip if:

- the recorder receives stronger continuous shock.
- a dirty or scratched MiniDisc is played.

Setting the alarm (Melody Timer)

See the illustrations in Japanese text (pages 68 and 69).

You can set the alarm to go off in 1 to 99 minutes.
The following sounds can be selected:

"TIMER 1"	Classical music 1
"TIMER 2"	Classical music 2
"TIMER 3"	Beeps

On the recorder

1 While the recorder is stopped, playing, or play-paused, press the jog dial.
2 Turn the jog dial until "M-TIMER" flashes in the display, and press the dial.
3 Turn the jog dial until "ON" flashes in the display, and then press the dial.
   ((•)) lights up in the display and the alarm sound can be selected.
4 Turn the jog dial repeatedly to select the alarm sound.
5 Press the jog dial.
   The alarm sound is set.
6 Turn the jog dial repeatedly to select the elapsed time.
   One rotation of the control changes the elapsed time setting (TIME :) by 1 minute, within a range of 1 to 99 minutes. To change the time quickly, keep turning the jog dial.

Continued

7 Press the jog dial.
Melody timer is set.
The time remaining until the alarm is shown in the display while the recorder is stopped or play-paused.
To show the remaining time during play, do steps 1 to 3. After verifying the time, press CANCEL.

On the remote control

1 While the recorder is stopped, playing, or play-paused, press DISPLAY for 2 seconds or more, and then press ■.
2 Turn the control towards ⏮ or ►⏭ until "M-TIMER" flashes in the display, and then press ■.
3 Turn the control towards ⏮ or ►⏭ until "ON" flashes in the display, and then press ■.
((•)) lights up in the display and the alarm sound can be selected.
4 Turn the control towards ⏮ or ►⏭ to select the alarm sound.
5 Press ■.
The time is set.
6 Turn the control towards ⏮ or ►⏭ to select the elapsed time.
One rotation of the control changes the elapsed time setting (TIME :) by 1 minute, within a range of 1 to 99 minutes. To change the time quickly, turn and hold the control towards ⏮ or ►⏭.
7 Press ■.
The alarm is set.
The time remaining until the alarm is shown in the display while the recorder is stopped or play-paused.
To show the remaining time during play, do steps 1 to 3. After verifying the time, press DISPLAY for 2 seconds or more.

To cancel setting the alarm.
Press CANCEL on the recorder, or press DISPLAY for 2 seconds or more on the remote control.

To cancel Melody Timer.
Select "OFF" in step 2, and then press the jog dial on the recorder or ■ on the remote control.

To stop the alarm.
Press any button.

Notes
- The settings will be lost when you start recording.
- The timer will begin counting down (using the factory setting) from the moment you select "ON" in step 3. The recorder will begin counting down again from the moment you change the elapsed time in step6.

►*Power sources*

You can use the recorder on …
– house current.
– a nickel metal hydride rechargeable battery (supplied).
– dry battery (not supplied).

It is preferable to use the recorder on house current when recording for a long time.

Battery life[1)]
When recording[2)] (JEITA[3)])

(Unit: approx. hours)

Batteries	Stereo	LP2	LP4
NH-14WM nickel metal hydride rechatgeable battery[4)]	8.5	11	14
LR6 (SG) alkaline dry batttery[5)]	7.5	12	15
NH-14WM nickel metal hydride rechargeable battery[4)] + one LR6 (SG)[5)]	20	28	37

When playing (JEITA[3])

(Unit: approx. hours)

Batteries	Stereo	LP2	LP4
NH-14WM nickel metal hydride rechatgeable battery[4]	24	27	31
LR6 (SG) alkaline dry batttery[5]	34	40	45
NH-14WM nickel metal hydride rechargeable battery[4] + one LR6 (SG)[5]	64	75	84

[1] The battery life may be shorter due to operating conditions and the temperature of the location.
[2] When you record, use a fully charged rechargeable battery.
[3] Measured value by the standard of JEITA(Japan Electronics and Information Technology Industries Association).
[4] When using a 100% fully charged rechargeable battery.
[5] When using a Sony LR6 (SG) "STAMINA" alkaline dry battery (produced in Japan).

When to replace the batteries

When the dry battery or rechargeable battery are weak, flashing ▭ or "LOW BATT" appears in the display. Replace the dry battery or charge the rechargeable battery.
The battery level indicator is approximate. It may be more or less than the indication depending on the operating condition.

Note

Stop the recorder before replacing battery.

►*Additional information*

Messages

If the recorder cannot carry out an operation, error messages may flash in the display window as follows.

BANK FULL :
: The phrase bank is almost full and cannot store the phrase you tried to enter.Delete some phrases from the phrase bank, and then reenter the new phrase.

BLANK DISC :
: You tried to play an MD with no recording on it.

BUSY :
: You tried to operate the recorder while it was accessing the recorded data. Wait until the message goes out (in rare cases, it may take a few minutes).

Data Save :
: The MD recorder is recording information (sounds) from the memory to the disc. Wait until this process is completed. Do not expose the recorder to any physical shock, nor disrupt power supply.

DISC ERR :
: The recorder cannot read the MD (it is scratched or dirty). Reinsert the MD. If the same message still appears, replace the MD.

DISC FULL :
: There is no more space to record on the MD.

EMPTY :
: You tried to erase data in the phrase bank but no data have been recorded.

Hi DC in :
: The power supply is higher than required. Use the recommended power sources.

HOLD :
: You tried to operate the recorder with the HOLD switch slid in the direction of the arrow. Slide back the switch.

LINE OUT :
You pressed VOL +/– while the "AUDIO OUT" parameter is set to "LINE OUT." Use the jog dial to set the "AUDIO OUT" parameter to "HeadPhone."

LOW BATT :
The rechargeable battery or dry battery is weak. Charge the rechargeable battery or replace the dry battery.

MEM OVER :
You started recording with the recorder receiving continuous vibration. Put the recorder on the stable place and start recording again.

MENU :
You pressed a key on the remote control while selecting a menu on the recorder.

NAME FULL :
You tried to enter more than 200 letters to label a single track or disc.
You tried to enter a total of more than 1700 letters for track or disc names.

NO BATT :
The rechargeable battery is not inserted. Insert a rechargeable battery.

NO COPY :
You tried to make a copy from a disc that is protected by the Serial Copy Management System. You cannot make copies from a digitally connected source which was itself recorded using the digital connection. Use the analog connection instead.

NO DISC :
You tried to play or record with no disc in the recorder.

No Entry! :
You tried to erase a setting in the Personal Disc Memory on a disc that contains no settings in the Personal Disc Memory.

No Group:
You tried to turn the group function on with a disc which has no group information. Use a disc which the group information has been recorded.

NO SIGNAL :
The recorder could not detect digital input signals. Make sure that the source is connected firmly. If the message appears while recording, press ■ to end recording.

NO TEXT
You tried to use the CD text copying function to copy a track or disc name from a CD that has no text data.

P/B ONLY :
You tried to record or edit on a premastered MD (P/B stands for playback).

PROTECTED :
You tried to record or edit on an MD with its tab in the record-protect position.

SORRY :
You tired to set Digital Sound Preset while the "AUDIO OUT" parameter is set to "LINE OUT." Use the jog dial to set the "AUDIO OUT" parameter to "HeadPhone."
You tried to erase a track mark while playing the MD or at the beginning of the first track.
You tried to erase a track mark to combine tracks the recorder cannot combine (a track recorded in different recording mode such as in LP2 and LP4, or a track recorded through analog connection and digital connection)*.
You tried to overwrite a track marrk.
You tried to press ❚❚, T MARK or REC MODE while synchro-recording or the joint text function is active.

* If you have recorded or erased many times on the same MD, the data of a single track may be scattered throughout the MD. When the data is scattered in groups of less than 12 seconds long, the recorder will not be able to combine the tracks.

TEMP OVER :
Heat has built up in the recorder. Wait until the recorder cools down.

TOC Edit :
The MD recorder is recording information (track start and end position) from the memory to the disc. Wait until this process is completed. Do not expose the recorder to physical shock, nor disrupt power supply.

TR FULL:
You tried to record more than 254 tracks.

TrPROTECT :
You tried to record over or edit a track which has been protected from being recorded over*.

* Track-protected MiniDiscs — Some MD recorders will let you protect individual tracks from being recorded over. This recorder, however, does not offer this feature.

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として
「テクニカルインフォメーションセンター」
を開設しています。
お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター
電話：048 － 794 － 5194
受付時間：月～金　午前9時から午後6時まで
（祝日、年末、年始、弊社休日を除く）

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- **型名**
- **ご相談内容：できるだけ詳しく**
- **お買い上げ年月日**

http://www.sony.co.jp/

この説明書は100％古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

ソニー株式会社〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル…………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311
● Fax ……………………………… 0466-31-2595

受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

Printed in Japan